

# 第 11 回東アジア市民社会フォーラム

## ーポストパンデミック時代、市民社会組織の役割と責務ー

(2020 年 11 月 20 日開催)

### 報告書

2021 年 3 月

公益財団法人 公益法人協会

2020 年度公益財団法人庭野平和財団助成事業

## 主 催



## 日本側主催団体



## 中国側主催団体



## 日本側協力団体



## 助成協力



## 目 次

---

|                                             |    |
|---------------------------------------------|----|
| 1. 挨拶-----                                  | 1  |
| ・主催団体                南 英 燦 / NAM YOUNG-CHAN | 1  |
| ・日本側挨拶                雨宮孝子 / TAKAKO AMEMIYA | 2  |
| 山岡義典 / YOSHINORI YAMAOKA                    | 3  |
| ・中国側挨拶                王 香 奕 / XIANYI WANG   | 4  |
| 2. 基調講演-----                                | 6  |
| 2.1 コロナ後の社会の変革（変容）と市民社会の役割                  |    |
| 内山 節 / TAKASHI UCHIYAMA                     | 6  |
| 2.2 パンデミック時代、市民社会組織の役割と責務                   |    |
| 柳 鍾 一 / YOO JONG-IL                         | 13 |
| 2.3 中国の非営利組織の現状と発展動向                        |    |
| 徐 家 良 / JIALIANG XU                         | 29 |
| 3. 特別報告-----                                | 45 |
| 3.1 大邱医療ボランティアの事例とメンタルデミク                   |    |
| 司空正奎 / SAGONG JEONG-GYU                     | 45 |
| 3.2 中国の市民社会組織による新型コロナウイルス感染症の対応措置           |    |
| 金 炳徹 / KIM BYUNG-CHUL                       | 56 |
| 3.3 コロナ感染症拡大と寄付動向                           |    |
| 岸本幸子 / SACHIKO KISHIMOTO                    | 67 |
| 3.4 伝染病予防及び統制の社会的力量                         |    |
| 劉 飛 / FEI LIU                               | 75 |
| 3.5 ポストコロナ時代の親子関係の形成と民間団体の指導サービス方式          |    |
| 趙 剛 / ZHAO GANG                             |    |
| 王 大 龍 / WANG DALONG                         |    |
| 李 学 義 / LI XUEYI                            | 85 |

4. 事例報告 -----113

4.1 COVID-19 が「予現」させた 2030 年代の日本に備えるために  
川北秀人 / HIDETO KAWAKITA 113

4.2 NGO に世界の変化、激変と地殻変動は巨大な機会  
朴 英 淑 / PARK YOUNG-SOOK 128



## プログラム

---

### 第 11 回東アジア市民社会フォーラム「ポストパンデミック時代、市民社会組織の役割と責務」

2020 年 11 月 20 日(金) ビデオ映像による公開

#### ◇ 挨拶

(韓国) 南 英 燦 / 東アジア市民社会フォーラム(韓国側)実行委員会 委員長  
韓国ボランティアフォーラム 会長

(日本) 雨宮孝子 / 公益財団法人公益法人協会 理事長  
山岡義典 / 東アジア市民社会フォーラム(日本側)実行委員会 委員長  
公益財団法人助成財団センター 理事長

(中国) 王 香 奕 / 東アジア市民社会フォーラム(中国側)実行委員会 委員長  
中国国際民間組織協力促進会(CANGO) 副理事長&実行委員長

#### ◇ 基調講演「ポストパンデミック時代、市民社会組織の役割と責務」

(日本) 内山 節 / 特定非営利活動法人森づくりフォーラム 代表理事  
「コロナ後の社会の変革(変容)と市民社会の役割」

(韓国) 柳 鍾 一 / KDI 国際政策大学 院長  
「ポストパンデミック時代、市民社会組織の役割と責務」

(中国) 徐 家 良 / 上海交通大学 教授(資料のみ)  
「中国の非営利組織の現状と発展動向」

#### ◇ 特別報告

(韓国) 司空正奎 / 東国大学医学部精神健康医学科 教授  
「大邱医療ボランティアの事例とメンタルデミク」

(韓国) 金 炳徹 / 中国人民大学社会保障学科 教授  
「中国の市民社会組織による新型コロナウイルス感染症の対応措置」

(日本) 岸本幸子 / 公益財団法人パブリックリソース財団 代表理事・専務理事  
「コロナ感染症拡大と寄附動向」

(中国) 劉 飛 / 成都市チョンドイユシオペラ共同体開発センター 主任(資料のみ)  
「伝染病予防及び統制の社会的力量」

(中国) 趙 剛 / 東北師範大学 家族教育研究院 院長(資料のみ)

王 大 龍 / 東北師範大学 家族教育研究院 研究院

李 学 義 / 東北師範大学 家族教育研究院 研究院

「ポストコロナ時代の親子関係の形成と民間団体の指導サービス方式」

#### ◇ 事例報告

(日本) 川北秀人 / IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 代表  
「Covid-19 が「予言」させた 2030 年代の日本に備えるために」

(韓国) 朴 英 淑 / UN 未来フォーラム 会長  
「NGO に世界の変化、激変と地殻変動は巨大な機会」

# 第 11 回東アジア市民社会フォーラム実行委員会名簿

(五十音順、敬称略)

|    | 参加者           | 所 属                                                      |
|----|---------------|----------------------------------------------------------|
| 1  | 雨宮 孝子         | (公財)公益法人協会 理事長                                           |
| 2  | 太田 達男         | (公財)公益法人協会 会長                                            |
| 3  | 楠田 健太         | 東京藝術大学 准教授、ボランティア活動国際研究会 理事                              |
| 4  | 白石 喜春         | (公財)公益法人協会 調査部主任、ボランティア活動国際研究会 理事長                       |
| 5  | 清水みゆき         | (認定特活)日本 NPO センター                                        |
| 6  | 鈴木 勝治         | (公財)公益法人協会 副理事長                                          |
| 7  | 高谷 忠嗣         | (公財)庭野平和財団 専務理事                                          |
| 8  | 高宮 洋一         | 城西国際大学環境社会学部 教授                                          |
| 9  | 長沼 良行         | (公財)公益法人協会 理事                                            |
| 10 | 花崎 和彦         | 助成財団センター 理事・事務局長                                         |
| 11 | 藤井 衛          | ぐりーんろーど 理事                                               |
| 12 | 本多 史朗         | (公財)助成財団センター プログラム・アソシエイト                                |
| 13 | 村上 徹也         | 国立青少年教育振興機構 センター長、ボランティア活動国際研究会 理事                       |
| 14 | 山岡 義典<br>※委員長 | (特活)市民社会創造ファンド 理事長、(公財)助成財団センター 理事長、<br>ボランティア活動国際研究会 理事 |
| 15 | 山田 絵美         | (特活)市民社会創造ファンド プログラムオフィサー                                |
| 16 | Bang Jina     | 日本社会事業大学 博士課程                                            |

# 1. 挨拶

---

南 英 燦(韓国ボランティアフォーラム 会長)

雨宮孝子(公益法人協会 理事長)

山岡義典(助成財団センター 理事長)

王 香 奕(中国国際民間組織協力推進会副理事長)

## ■南 英 燦 (NAM YOUNG-CHAN)

### 韓国ボランティアフォーラム 会長

皆さん、こんにちは。私は韓国ボランティアフォーラムの会長のナム・ヨンチャンです。

韓国ボランティアフォーラム (KVF) が主管し、中国の民間交流協力促進会 (CANGO) と日本公益法人協会と共に、第11回東アジア市民社会・ボランティア国際ウェブフォーラムを開催することになり、とても嬉しく光栄に思っています。



今年このウェブフォーラムに参加してくださった、日本側実行委員会の山岡義典委員長をはじめ日本の専門家の方々、および中国側実行委員会の Ms. Wang Xiangyi 委員長をはじめ中国の専門家の方々に、改めて深く感謝致します。

今年で11回目を迎える国際フォーラムは、2009年に日本の東京で最初の一步を踏み出し、日本、中国、韓国を巡回しながら、市民社会の様々な問題に向い合って、ボランティアの意味のある変化を創出してきました。過去十年間の日中韓3カ国の緊密な民間交流と協力の旅は、アジアの平和と市民社会の発展はもちろん、アジア人の友情を深めることにも寄与してきました。

時折、日中韓3カ国が、政治と経済の問題で葛藤が生じるときもありますが、私たちは、市民社会の自発的組織という自負心を忘れずに、お互いのビジョンとミッションを共有しながら、持続可能な社会の発展のために共に進む必要があります。

コロナパンデミック以降、全世界は嫌悪、差別、疎外、またうつ病や自殺など、コロナ・ブルーのような社会病理的問題に脅かされており、アンコンタクト環境ともいえる非対面状況が、ボランティア活動を困難にしています。我々は、すべての知恵と力を合わせて、この困難を克服しなければなりません。

韓国でも、コロナ・ブルーに対する「希望ワクチン」は、まさにボランティアであるという確信を持って、市民社会と手をとって「K-ボランティアリング文化運動」を展開し、ボランティアの精神的価値を、オンラインとオフラインを通じて継続的に展開していく計画です。

したがって、今回のフォーラムのテーマである「パンデミック時代、市民社会組織の役割と責務」は私たちにとっての挑戦という意味で適切なテーマと考え、非常に大きな期待を持っています。

今回の 2020 アジア市民社会・ボランティア国際ウェブフォーラムのために準備し、努力してくださった中国と日本のパートナーに感謝を申し上げ、一緒に苦勞してくださったすべての方にもう一度、深い尊敬と感謝の念をお伝えします。まことにありがとうございます。

■雨宮孝子 (TAKAKO AMEMIYA)

公益財団法人公益法人協会 理事長

はじめに、東アジア市民社会フォーラムの日本側主催団体を代表して、地域フォーラムが韓国で開催されますことに、まずはお祝い申し上げます。

今回の世界的なコロナウイルス感染拡大を受けて、2020 年 9 月に済州島で開催予定だった第 11 回東アジア市民社会フォーラムが延期になりましたが、これに代わってソウル市で地域フォーラム「Post-pandemics period, role and responsibility of civil society」が開催されるということは大変時機を得た画期的なことです。



現在のような緊急時において、市民社会組織の役割および責任とは何か、市民社会組織はパンデミックなどの緊急事態に対してどう向き合い、対応すべきなのか、今後も起こりうることとしてあらかじめ検討しておく必要がある重要なテーマであると思います。今回は中国および日本から参加はできませんが、地域フォーラムで話し合われたことは、各国においても大きな学びの機会となることでしょう。

特に今回は、韓国でのコロナウイルス感染拡大を防止する取り組みが功をなし、ウイルスを抑えることに成功していると伺っております。そこには、韓国の市民社会組織も少なからずウイルスの感染拡大により混乱した社会の安定化や感染防止対策を行うなど、それぞれの市民社会組織の貴重なご努力があったのではないかと思います。このような貴重な経験も含め、地域フォーラムで話し合われた内容は、是非とも韓国、中国、日本の 3 か国だけではなく、より多くの国々と共有してほしいと心から願っております。

第 11 回東アジア市民社会フォーラムは、別途開催していただけると伺っております。今回の地域フォーラムで話し合われた内容は第 11 回フォーラムの時にお話しいただけるのではないかと期待しております。その時に中国と日本の経験も共有し、3 か国で市民社会組織による緊急時への対応、役割等について大いに議論ができますことを念じております。

最後に、今回の貴重な地域フォーラムの開催準備、運営にあたって下さった韓国ボランティアフォーラムを中心とした韓国側の実行委員会関係者の皆様に深く感謝の意を表しますとともに、本日の地域フォーラムが皆様の今後の活動にとって有意義なものとなりますことを祈念いたします。

■ 山岡義典(YOSHINORI YAMAOKA)

日本側実行委員会 委員長、公益財団法人助成財団センター 理事長

アンニョン・ハセヨ！皆さん、こんにちは。日本で東アジア市民社会フォーラムの実行委員長を務めています助成財団センター理事長の山岡です。このように日本からも挨拶の機会をお与えいただき、誠に有難うございます。

先の見えにくい困難な状況の中を、企画や準備と運営に力を尽くされた韓国の市民社会組織の皆さんに、心から感謝申し上げます。



私たち日本・韓国・中国の市民社会組織に携わる有志は、これまで10回にわたり、市民社会のあり方について、各国持ち回りで議論を重ねてまいりました。今回は新型コロナウイルス感染症の世界的な広がりによって3国の社会が今後どのように変化していくのか、そういったことについて議論するものです。

このフォーラムとしては、初めてのオンラインによるものです。初めての慣れない経験ですから、どのように議論が展開できるのか心配もありますが、このタイミングだからこそ可能な、臨場感のある議論をいたしましょう。

さて、昨年12月に発生した新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界に広がりました。発症から約9か月を経過した9月10日現在、世界中で2800万人の感染者と90万人の死者を記録しています。前日に比べた1日当りの感染者発生数は28万人で、6万人が死亡していることとなります。死亡率も3.2%と高めです。

8月に入ってから1日当りの感染者発生数は増加が止まり横ばいになってきましたが、減少傾向には至っていません。北アメリカが減少に向かいつつある一方、アジア、特にインドで急増しつつあるなど、地域によっても動きは異なります。しかし世界全体としては衰えることなく広がりつつあるのが現状で、収束の光は未だ全く見えてきません。

さて、9月10日現在の日本・韓国・中国の3国の感染状況についてみますと、日本の感染者は7万4000人で、7月に始まった大きな第2波が、漸く収まってきた状況にあります。

同じく韓国は2万1700人で日本の1/3弱、いち早く第1波を抑え込みましたが日本にやや遅れて第2波を迎え、今そのピークを過ぎたところかと思えます。中国は9万人で日本の1.2倍、第1波の封じ込めに成功して第2波の兆候は見えていないと言ってよいでしょう。

いずれにしても世界全体から見れば、3国とも感染者数も死者も相対的には低く保たれています。開催日まで未だ2か月以上ありますから、開催時点でどうなっているか分かりませんが、収束に至っていることをお祈りしています。しかし油断をすると、突然の感染拡大に見舞われるかもしれませんので、注意が必要です。

このように新型コロナウイルスの感染状況は、国によってもかなり異なっています。医療的な対応はもとより、政治的な対応や経済的な対応、文化的な対応にいたるまで異なっているように思います。

恐らく今後の新型コロナウイルス感染症の収束への対応も、異なる政治や異なる文化のもとで異なる政策が推進され、異なる経過をたどることでしょう。それに対する各国の人々の

反応も異なり、それぞれの国で異なる接触自粛型の生活文化が生まれるのではないのでしょうか。世界が均一の方向に向かって集約されるわけではありません。多元的な未来があり、多元的なプロセスを経験するということが重要です。

その中で、東アジア3国の市民社会はどうすれば前向きに新しい人間社会を築いていくことができるのか、このフォーラムでは多様な経験を交換しあい、それぞれの未来への思いを語りあえればと願っています。

簡単ですが、私のビデオ・メッセージといたします。実りある会にいたしましょう。

## ■王 香 奕(XIANYI WANG)

### 中国国際民間組織協力促進会 副理事長

尊敬する韓国の主催者の皆さん、そして参加者の皆さん、こんにちは。

私は、中国国際民間組織協力促進会(CANGO)の副理事長兼事務局長の王香奕です。第11回東アジア市民社会フォーラムに参加できる機会をととても嬉しく思っております。

2020年は平坦でない年でした。コロナウイルスが汎世界的に蔓延し、すべての人たちが衛生的な危機に直面することになりました。このような流れの中、コロナウイルスは、われわれに協力の重要性を、さらに深く認識させることになりました。



伝染病発生防止統制の常時化の背景の下、韓国はこの国際フォーラムを作った機構の一つとして、柔軟な方法でフォーラムを開催しました。私は中国民促会を代表して、謹んでフォーラム開催の成功を熱烈に願い、韓国と日本の合作パートナーに心から感謝を表わすところです。

中国民促会は、韓国と日本と持続的友好関係を築き、親密な疏通を維持し、防疫経験を共有し、地域発展及び全世界の公衆衛生安全維持のために応当の貢献することを願っています。

今年のフォーラムが11回目です。これまでの11年間、韓中日3か国の合作パートナーたちは、災害復旧と予防、民間組織能力建設と支援メカニズム、企業の社会的責任と奉仕精神、地域社会建設と自願奉仕、高齢化社会での社会組織の役割など、数多いのトピックについてフォーラムを開催してきました。

今までのフォーラムが成功裏に終わったことを振り返った時、私は最近の3か国の友好的関係を信頼し、3か国の市民社会が東アジアの民心を合わせるのに寄与できると信じています。

東アジアは発展の活力が充満しており、市民社会の発展趨勢が良好です。社会組織が安定的に発展するためには、必ず社会環境と公共安全環境の安定がなければなりません。

隣に住んでいる友人として、我々は、今後の伝染病時代における社会組織の発展を、共同で研究討論すべきであって、お互いに3か国の社会発展の優秀な成果を鏡見って 自国での社会組織のポスト伝染病時代の発展に、絶え間なく動力を提供しなければなりません。

これからの伝染病防止の観点から、中国民促会も以下のように努力します。



## 1. 連邦年功 (=連合して防御して制御する)

いつ完全に消えるかわからないが、3カ国が力を合わせ伝染病に抵抗して、日中韓の協力を促進するきっかけを作りました。中国の伝染病発生の後、日韓の指導者は、何度も感染症に対する中国の措置を支持すると表明しました。

東京、ソウルなどの都市通りに、「中国ファイティング」、「武漢ファイティング」という標語が登場しました。日韓の社会各界から中国に寄付した物品は、「青山には一緒に雲や雨を伴っているが、明月はかつて両郷だった」のような、中国の古詩が印刷されていました。

中国の民促会はこれからも、3カ国の社会組織が連携して防御し、制御するにあたり、ますますそれを強化する方向に積極的に取り組みます。国境を行き来する伝染病の発生を抑制するために、共同で努力し、互いに連携し合えるような社会組織について、まさに伝染病に直面している場面での国際交流のガイドラインについて検討していきます。

## 2. 交流合作

日中韓三国の伝染病防疫措置は、「良い隣人は金には換えることができない」という諺が表す通りです。世界的な伝染病防疫のために有益な経験を積み、協力の模範を示しました。この模範的な意味は、東アジア地域では特に重要です。伝染病の状況下での日中韓の対応協力の経験と、伝染病の効率的な管理方法の両方とも、重要な東アジアの共同的な生産物とすることができます。

中国の民促会は、ずっと東アジア市民社会フォーラムの開催を支持するものであり、中国の社会組織が継続して外に出て、国際プロジェクトの協力を展開することができるようにアドバイスしたり、各種の支援を提供し、北東アジア民間交流のブリッジ（仲介者）の役割を実行しています。

最後になりますが、2020年の特別な東アジアの市民社会フォーラムの開催のために、韓国主催側の素晴らしいご準備に対し、再度お礼申し上げます。

また、このフォーラムを開催することができるよう支持してくれた日中韓の支持機構についても、心から感謝申し上げます。今までの協力の成果と勢いを大切に、民心が疎通できるように支援し、東アジアが予期せぬ世界的な伝染病のもと、百年の間に前例のなかった世界的な変化の中で、安定的に進むように支援していきます。

今回のフォーラムが円満に成功を収めることを願っています。来年に韓国で再び会えることを期待します。皆さまに感謝申し上げます。

## 2. 基調講演

---

### 2.1 日本側基調講演

#### コロナ後の社会の変革（変容）と市民社会の役割

内山 節 (TAKASHI UCHIYAMA)

特定非営利活動法人森づくりフォーラム 代表理事

皆さん、こんにちは。内山節という者です。今日は、コロナ後の社会をどうつくったらいいかというテーマでお話しさせていただきます。

日本では、この 30 年間ぐらいの間に大きな地震があったり、津波があったり、台風があったり、実にいろんな災害に見舞われてきました。その時の教訓としては、何かが発生して社会が危機に立たされたときには、その危機と一番近いところにある組織で、行政でいえば、国ではなくて地方であったり、地域であったり、そういうところが実権を持って動いていかないと、被害を最小限に食い止めることができないという。それが何度かの災害に遭った日本の教訓でもありました。

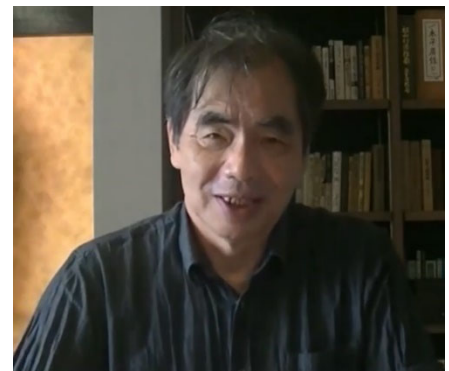
ところが、この教訓が今回のコロナウイルスの問題で生かされたのかというと、残念ながらそうではなかったという気がいたします。日本でいえば、全てを国の政府が取り仕切ろうとしている。その結果として、あまり効果のないような政策が次々打ち出されてくるという、そんな結果を生んでしまいました。

本来でいいますと、危機が発生したときは、できるだけ被害者の人たちに寄り添えるところで決定権があったり、あるいは、行動したりすることができるという、そういう体制をつくらないといけない。

そうしますと、被害者に一番近いところというと、その人を支えることができるようなコミュニティ、共同体。それが一つの基盤でなければいけないし、そのコミュニティ、共同体とその地域の政治というものがどういうふうに相互補完的な協力関係を結ぶかという、それが課題であるということだったと思うのです。

ところが、残念ながら、今回のコロナウイルスの動きというのを見てみると、多くの国でそういうことができなかったという気がいたします。

国のほうで全てを取り仕切っていこうとするから、上からの統制がかかって、それに不安を感じる人々が今度は下からの統制を行っていこうとする。その上と下からの統制の中に、今度は専門家とか、マスコミとかそういうところに加わってきて、全体として非常に統制色の強い社会ができあがっていく。僕は、今回のコロナの動きを見てみると、もうほとんどコ





ロナファシズムと言ってもいいのではないかという、そういう気さえしています。

ですから、これからの社会のあり方を考えていくときに、大前提として中央の政府、それから地方の政治、地域の政治、さらには人々に寄り添うことができるようなさまざまな共同体連、それがどういうふうな連携を持ちながら社会を動かしていくのかと。そのことを真剣に考えていかなければいけないという気がいたします。

本来、社会の基盤としては、そういうコミュニティとか、共同体というものが基盤にあって、そして、そこと連携を取っていけるような地域の政治があって。そこがまた動けるように国はいろんな支援をしていく。その場合には、国は地域の人たちが判断できるように、できるだけ迅速に情報を流したりする。それからまた何かをしようとすれば、ある程度財源が必要になったりもしますから、その財源を国が補償したりする。そういうふうな地域の人たちが動ける体制をつくるために、むしろ国はその道具を提供するという。そういう地方と国との関係というものをつくっていかなければいけないという気がしています。

日本はかつて、韓国を植民地にしたり、アジアに侵略するという誤った歴史を持っている国でもあります。その時に何が問題かという、その一つは、国家、さまざまな国の対立の中で世界を捉えようとした。その対立している国家の中で自分たちの国の権益を拡大していこうとしたと言えます。そういう発想が結局あの時代をつくりあげてしまったわけで、その結果は、もう言うまでもありませんけれども、実に多くの人たちに大きな犠牲を強いて、また結果的にも多くの悲劇を生んだという気がいたします。

この教訓をどう生かしていくのかということになったときに、やはり、この数十年間の世界というのは、その教訓を生かしてこなかったという気がいたします。やはり世界というのは、国家間の対立構図の中で捉えられ、またそういう中で自分たちの利益を拡大していこうとする。そういうふうな世界ができあがってしまった。

そういう中で、絶えず中央の政府は国民を扇動しながら、その扇動を通して国民を統制支配しようとする。強い国家をつくりあげることが国民全体の利益になるのだという、そういう方向でこの間世界は動いて来たという気がします。ですから、こういう構造の中で、何か起きる度に国が主導権を持って、そして国の下に社会全体を統制しようとする。それが今回のコロナでも発揮されてきて、何とも言えないような統制社会がいろんなところでできあがっていくと。ますます、コミュニティとか、共同体とか、地域の人たちが逆に権限を失っていくような、そういう動きが残念ながら世界にまん延してしまったという気がいたします。

そう考えていきますと、このコロナ後に、これからのいろんな感染症とか、いろんな自然災害とかがやはり起きてくるでしょうから、そういうふうな危機にきちんと向き合うことができる社会をどうつくるのかということと、それから国家を中心にしながら世界を見て、強い国家をつくるのが目標であるかのような、この世界観です。それをどう克服していくのかというのは、同じ課題だという気がしています。

ヨーロッパでは、近代革命を経て、社会としては市民社会がつくられた。ただ、この時に、ヨーロッパ近代革命というのは、2つの誤りを犯しているという気がいたします。

1つは、ヨーロッパの近代革命が起きる前というのは、絶対王制の時代ですけれども、絶対王制の時代というのは、それまでの歴史の中では王様の権力と中央権力が最も拡大した時

代だったのだ。だから強大な王権を、その王様の支配は近代革命によって終了させたいけれども、その中央が持っている強大な権限はそのまま残してしまった。

当時の人たちの、近代革命を行った人たちの気持ちとしては、中央の強大な権力を今度は人民のために使うのだと。人々のために使えば、その強大な権限というものは、かえって有効な役割を果たすことができるのだという、そういう気持ちだったのだろうと思います。

しかし、そのために結局、全てを中央は仕切る時代ができてしまったし、そして人々もまた、絶えず国を意識して国家の下で自分たちの位置を考えていくような、そういう世界をつくってしまったというのです。これはやはり近代革命が持っている一つの誤りだったのだろうという気がします。

ですから、本当で言うと、近代革命が起きたときに、これからどういう形で政治的な権力というものを配置していったらいいのか。中央はどのような権限を持つのかとか、地方はどのような権限を持つのかとか。それからその地方といったときに、単に行政組織ではなくて、その地方の一番人々に寄り添うところには、コミュニティとか、共同体があるわけですから、そこがどんな権限を持ち、どんな力を発揮していくことができるのかとか、そういうことをもう一度見直して再検討しなければいけなかった。

ところが、その再検討がなされないままに、先ほど言ったように、中央が持っている大きな権限を王様や貴族のために使うのではなくて、今度は人々のために使えばよいことができるのだという、そういう気持ちになったのですね。これが失敗の一つだっただろうという気がします。

それからもう一つは、近代革命は、近代的な市民社会をつくったのですけれども、その近代的な市民社会は、個人の社会としてつくられた。だから、個人の社会ということは、別の言い方をすれば、人間たちがばらばらになりながら大きなシステムの中に組み込まれていくような、そういう社会をつくったということでもある。

この個人の社会が結局、その後になってくると、固定化された階級社会をつくったり、あるいは、格差社会をつくったり、そして社会の中では絶えず対立があったり、分断があったり、あるいは差別があったりする。そういうふうなことを生み出しながら展開するような市民社会というものを形成してしまって、そこに本当に人間たちが助け合ったり、協力し合ったり、社会をみんなで協力してつくっていくようにしたり、そういうことができないような仕組みがその時にできあがってしまったということです。

ですから、そういうことを考えていくと、現在、私たちはこの近代革命以降の負の部分をもう一度克服できるような社会のあり方を再検討しなければいけなくて、そういう社会を考えることと、それからかつて日本が行ったような侵略の時代を総括すること、そしてまたこのコロナ以降の社会のあり方を考えること。そういうことは全て一つの共通の課題、一体的な課題だという感じがいたします。

そういうことを考えていきますと、ヨーロッパが近代につくり出したような市民社会ではない、新しい市民社会の形をやはり提起していかなければいけない。その新しい市民社会とは何かというと、共同体的な結び付きを多様な形で内部に内蔵させているような、そういう市民社会の形なのだろうと思います。だから、共同体というのは一つだけのものじゃなくて、

地域にもいろんな共同体があってもいいし。それから地域だけではなくて、いろんな結びつきによって、いろんな共同体があつていいと。そういうものが社会の基盤として機能するよ  
うな、そういう市民社会だと。

その市民社会と地域の行政というものが、どういう連携をつくっていったときに、本当に  
平等で、そしてみんなが幸せになれるような社会のあり方が考えられるのか。そこで、やは  
り国家というものは、先ほど言ったように、そういう動きができるように情報を提供したり、  
特に財源を提供したりする。もちろん国家がやらなければいけないものというのは、どうし  
ても残るわけで、それは例えば、外交にしても、防衛にしても、地域社会が全てやるという  
ことはできないわけです。だけれども、そういう共同体的な結びつきを持った市民社会が非  
常に重層的につくり上げられていきながら、国境を越えた市民社会の連帯をつくっていくこ  
とはできるだろうという気がします。

だから、外交とか、防衛とかいう問題でも、全てを国家の手に委ねていくのではなくて、  
国家にやってもらわなければいけないことはあったとしても、市民レベルでの平和の構築と  
か、連帯の構築とか、それも一つの重要な外交であると、そんなふうに考えることができる  
という気がします。

ですから、これからの社会のあり様としては、国家が社会の上に立つような社会ではな  
く、国家は市民社会がうまく機能するための道具であると。そういうふうな社会像を打ち立  
てていくことが、ヨーロッパから始まった近代革命を超えていく一つの問題提起になってい  
くのだろうという気がいたします。

先ほど、僕はコロナファシズムという言葉を使っただけですけども、例えばナチズムの形  
成過程というのを見ていっても、決してナチスという党組織が一方的に統制社会をつくっ  
たわけではなかった。その時には、ナチスを軸とした上からの統制があり、そしてそれに呼  
応する下からの統制があり、そしてそれをまた促していくような当時のいろんなレベルの専  
門家たちがいて、さらにそれをあおっていくマスコミの存在というのもまたあったといいま  
す。だから、そういうものが全部一体となりながら、気が付いたら国家の下に統制されてい  
るファシズム型社会ができあがっていたという気がいたします。

僕は今回、コロナが広がっていく中で、いろんな国の動きなんかを見ていて、私たちの社  
会はこんなにファシズム的だったのかということに、むしろあらためてびっくりしたと言いま  
すか。それは日本を見ていても、上からの統制をむしろ国にお願いするというか、そうい  
うふうな下からの動きもあります。そして非常に怪しげな話をする専門家たちというものが  
跋扈しながら、その統制社会を補強する。そして、日本でもマスコミがそれをあおり続ける。  
もっと統制しなければ駄目だというような、そういうものがやはりかなりまん延してしまっ  
たといえますか。これはコロナだから気が付かないだけであって、このあり様というのは、  
本当にファシズム的だという気がいたします。

たぶん、こういう社会があるからこそ、こんにちでも国家間の対立が絶えなくて、そして  
何かあると自国の権益を最大化しようとする。そのためによその国をたたこうとするみたい  
な、そういう図式の中に私たちが飲み込まれてしまう。そういう危険性もあるような気がし  
ています。

ですので、そういうものをこれからどう克服するのかということが私たちの課題であり、それをしていかないと、この格差が広がったり、いろんな差別があったり、いろんな人間たちの分断があったりする、そういうふうなこの社会のあり様が克服できないし、またコロナのようなものが発生した社会の中で、みんながうまくそれと向き合いながら生きていく社会をつくるという、それもまたできないような気がしています。

ですから、私たちのこれからの課題は、やはり新しい市民社会をつくる。それは、共同体的なものに支えられた市民社会であるというよりも、それを軸にして政治のあり方を再検討する。あるいは、国家のあり方も含めて再検討する。そういうことをこれから考えたり、行動したりしていく上で、国境を越えたいろんな連帯が生まれていくことを、心から私は願っています。

## コロナ後の社会の変革(変容)と市民社会の役割

Post-Corona, Social Change Prediction and the Role of Civil Society

内山 節 (TAKASHI UCHIYAMA)

日本はこの30年の間に、幾度かの大地震、津波、台風・豪雨被害などを経験してきた。その教訓のひとつは、危機が発生したときには基礎的自治体や地域社会が決定権をもって機敏に動けなければ、被害を最小限に食い止めることはできないということであった。人々に寄り添えるところが決定権をもたなければいけないのである。中央政府はすべてを取り仕切ろうとするのではなく、基礎的自治体やコミュニティ＝共同体が的確に動けるように情報を提供し、必要な財源を用意する役割を果たさなければいけない。

だがその教訓は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大の下で活かされることはなかった。中央政府がすべてを決定しようとし、その結果、効果のない政策が次々に打ち出されることになった。

これからの世界では、大きな自然災害も、新しい感染症も次々と発生していくことだろう。そういう時代と向き合って暮らすには、現代の国家、政治、社会のあり方を検証し、根本的に改革する努力が欠かせなくなったといってもよい。

国による上からの統制がすすめられ、それに呼応して国民による下からの統制が強められていく。さらにこの動きを専門家と称する人たちが、科学的という名のもとに後押しし、マスコミがそれらをあおっていく。こうして統制社会ができあがっていくかたちは、構造的にはファシズムの成立過程と近似している。私たちは、このようなコロナファシズムとでもいうべき構造に陥らないで、コロナと向き合うことのできる社会のかたちを見つけ出さなければならぬのである。

中央権力と地方権力、地域権力の間では、どのような分担がなされなければいけないのか。さらに、地域社会を担うコミュニティ＝共同体と基礎的自治体は、どのような相互補完的関係をつくりだせばよいのか。それらを検討しながら、これからは、多様なコミュニティ＝共同体が社会を支え、可能なことは小さな単位が決定権をもって動ける柔軟な社会をつくっていく必要があるだろう。

日本は韓国を植民地にし、アジアを侵略した誤った歴史をもっている。その背景には、世界を国家間対立という図式のなかでとらえ、自国中心主義的に歴史を動かそうとする考え方があった。強い国家の下に国民を統合し、自国の権益を拡大しようとしたのである。そしてその結果は、アジアの人々に多大な犠牲と悲劇を強いることになった。

だが残念なことに、現在もなおこの教訓は活かされていない。国家間対立という図式のなかで世界をとらえるという発想も、強い国家を形成しながら権益を拡大しようとする動きも、今なお私たちの世界を支配している。中央政府が国民を扇動しながら統制、支配していこう

とする政治が、日本をふくむ世界のさまざまな国々でおこなわれているといってもよい。

この構造を改革することと、さまざまな自然災害や感染症などの危機に対応できる社会をつくることは、一体的な課題なのである。

近代革命によって生まれたヨーロッパの市民社会は、個人の社会としてつくりだされた。

その社会は今日では格差が固定化された階級社会をつくり、社会の内部からはたえず対立、分断、差別が発生している。コロナの欧米における爆発的な感染拡大も、この構造が生み出したものであった。貧しい人たちが暮らすスラム街の存在や、にもかかわらずそこで暮らす人々が都市機能を維持する肉体労働を担っていることが、感染の広がりをもたらした。

コロナは、現代社会の脆弱性、問題点を表面化させたのである。ゆえに、現代社会の問題点を冷静に考察し、それを克服しようとする努力と、さまざまな危機に対応できる社会をつくることは、内容的には同一の課題なのである。

私たちはヨーロッパが生み出した市民社会とは異なる、新しいかたちの市民社会を創造しなければいけない。それは共同体的な結びつきを多層的に内蔵させた市民社会のかたちである。この社会の基盤は共同体的市民社会だと言えるような、助け合い、共存、共有、連帯が多様に根付いた社会をつくることである。

この市民社会と地域の政治が相互補完的に結び合うとき、本当の地域主権も生まれていくだろう。中央権力は地域主権のための道具でなければならない、すなわち、共同体的な市民社会が機能するための補助的な機関でなければならないのである。もちろん国のレベルでおこなわなければならないことは数多くあるが、考え方は国が上に立つのではなく、新しい市民社会やそれと結ぶ地域権力がこの社会の基盤であることを明確にできる、そういう社会をこれからつくっていかなければならないだろう。

私はそれが、これからも発生するであろうさまざまな危機と向き合える社会のかたちではないかと思う。国家が統制する社会ではなく、共同体的市民社会の道具に国家になる。そういう社会が生まれないと、私たちは国家に飲み込まれ、国家間対立のなかに引きずり込まれる時代を克服することはできない。さらには市民社会的連帯で解決しないかぎり、現在のような格差が広がり、人々が分断、差別されていく社会を乗り越えることもできないだろう。

私たちの課題は、これからの国家のかたちを見つけ出すことであり、地域主権のかたちやそれと結ばれていく共同体的市民社会のかたちを創造することにある。その実現に向けて、国境を越えた連帯が生まれることを、私は心から願っている。

## 2.2 韓国側基調講演

### パンデミック時代、市民社会組織の役割と責務

柳 鍾 一 (YOO JONG-IL)

KDI 国際政策大学 院長

皆様、お元気ですか。私は KDI 国際大学院政策大学院の院長を務めているユジョンイルです。今日は皆さんと一緒にパンデミック時代の市民社会の役割について話したいと思います。

話を大きく 3 つに分け、まずパンデミックが触発して深刻化している危機の時代、すなわち私達が今日生きている危機の時代を見て、次にこの危機を克服する上で、最も基本的な力としての連帯の重要性を申し上げ、最後に連帯の力を集めて育て、市民社会組織がどのようにパンデミック時代を克服するのか、その役割に関して話させていただきます。



何よりもこのパンデミックは、まさに保健の危機に近づいています。全世界でみると、確定感染者が 5 千万人、そして死者は 120 万～130 万人を超えると予想されます。実質的な感染者はそれよりも 10 倍以上であり、実際の死亡者も 1.5 倍以上と推定されています。最も気になるのは、この拡散傾向が下降になるどころか、北半球に冬がきて、今では再拡散の兆しがアメリカやヨーロッパで現れているという点です。

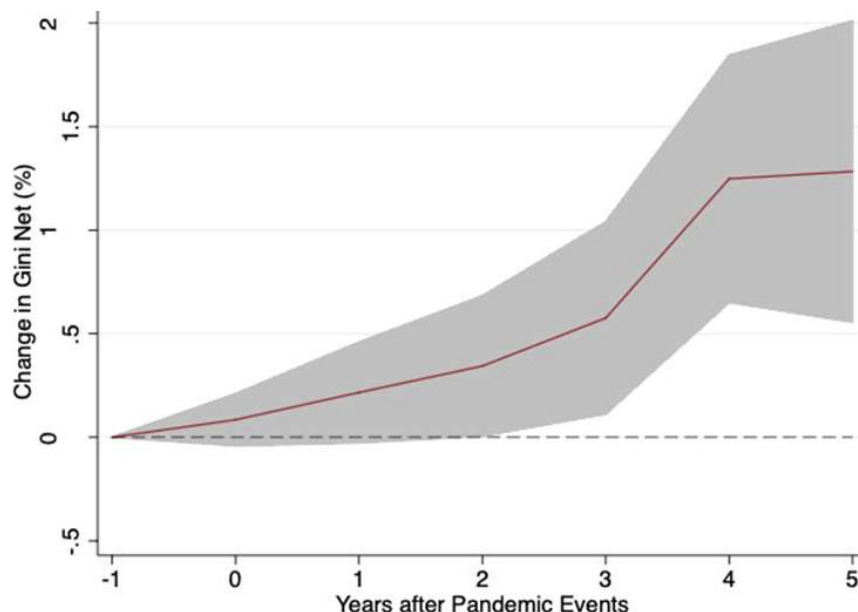
ワクチンの開発の成功がそんなに遠くはないとも見えますが、ワクチンの有効性や持続性、またどれだけ迅速に普及できるかなど、いろいろな不確実性のために、今後も相当期間、パンデミックの終息は、期待することが困難です。ワクチンが出ても、このウイルスが定期的、反復的に流行する可能性が高いと専門家たちが言っています。

この医療危機によって経済危機が触発されました。全世界的に、前代未聞の景気下落が、特に前の第 2 四半期にありました。それ以降、緩やかに回復していますが、それでも世界経済は、過去に経験したことがなかったような大きな景気後退を経験するように予測されていますし、今、私たちがそれを経験しています。

特に、先ほど申し上げた 2 次拡散のために、再びいくつかの封鎖措置が取られています。6 月に OECD が見通しですが、そのような二番目の打撃が来ると、今年の経済成長率は -7% 以下に下がり、回復も大幅に遅くなる心配があるとしています。そのような状況になるのではないのでしょうか。そして、このような中で、世界的に失業者、貧困に陥る人々、飢餓に苦しむ人々が、信じられないほど増えるだろうと警告しています。

経済危機だけでなく、社会的危機さらに政治的危機までパンデミックにより触発されてい

ます。ご存知のように、不平等と感染症は互いに相乗作用をします。社会的・経済的弱者たちが感染症の主な犠牲者となり、またそれによって、感染の拡散経路になったりします。また、経済危機の被害もこの人たちに集中します。すでに新自由主義の時代に、不平等が深刻化し、そのような不平等がますます増加しています。

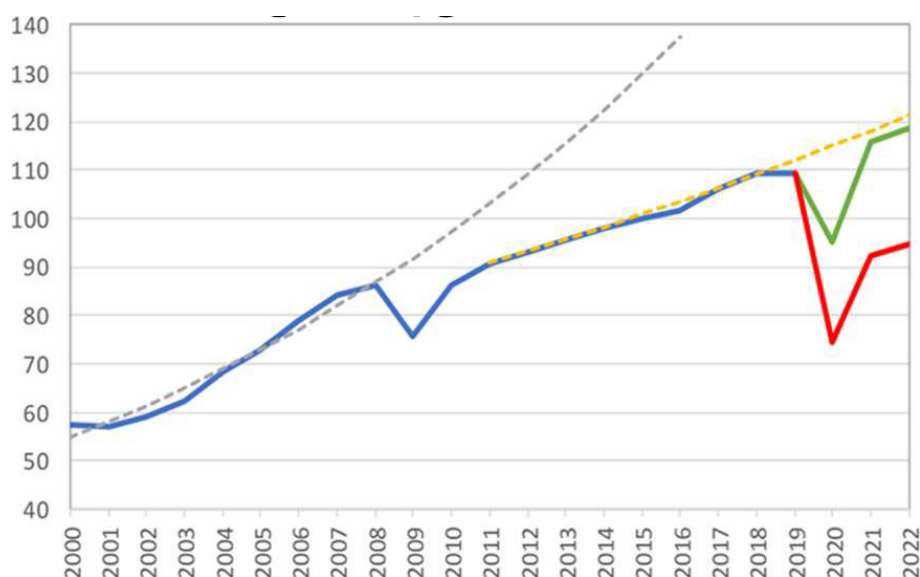


この写真でご覧のように、貧しい人々にとっては、このような封鎖措置は、ほとんど死とも同じことなので、抗議デモが起こる一方で、富裕層が見るフォーブス (Forbes) という雑誌では、金持ちの社会的隔離をこのように写真に描写しています。

過去にもパンデミックがあるときは、常に不平等が大きく増加したことがグラフに示されていますが、このようなことにより政治的な葛藤、ポピュリズムのような現象が多く登場しています。さらに、国際協力にも危機が発生します。生存の危機を迎えて各国が国境を閉鎖し、輸出規制などによりグローバルバリューチェーンが大きな打撃を受けます。世界的な金融危機の後に、保護貿易主義とか米中覇権競争のようなものが現れたましたが、このパンデミックでは、そのような問題がはるかに深刻化しているという、そんな面を見えます。

ここにご覧になってるグラフでは、世界の商品貿易量の増加傾向が、過去の世界的な金融危機以前よりも高かったのが、パンデミックにより信じられないほど大幅に下がり、赤線で示すように、とても大きな打撃を受けています。人類共通の敵を前にして、自国優先主義のために、現在の国際協力は崩壊している状況です。

また、このパンデミックは、環境の危機を私たちに劇的に見せつけています。このパンデミックが、環境破壊の恐ろしい結果にあらわれたことも皆さんがよくご存知でしょう。





ここのグラフに示すように、我々が聞く多くのウイルス、即ち、ジカウイルス、エイズ、エボラ、SARS、MERS など、～このようなものすべてが人獣共通感染症ですが～、環境破壊の結果、登場したものであり、しかも増え続けています。今年は特に世界各地で記録的な山火事が連発しています。今年初めにオーストラリアの山火事が全世界の人々を驚かせており、シベリア凍土から山が焼け、アマゾンでは巨大な山火事が起きて、アメリカ西部でも歴史的に最大の山火事など、このようなことは今の気候の危機を集約的に見せてくれています。

一方でパンデミックは、我々がうまく行けば環境を回復することができるという可能性も見せてくれました。あのインドの黒かった空が青い色になったのですが、このパンデミック状況で、化石燃料ベースの産業が萎縮し、人々が一斉にロックダウンに応じて、あんな急激な変化が起こったのです。

皆さんが映画を通じて、また有名なビル・ゲイツが行ったテッド講義や、様々な本を通じて、このようなパンデミックの危険性への警告は今までにもありました。特にCIA(アメリカ中央情報局)では、2019 年にも強力な危険の警告を発しています。これまでダボスフォーラム (Davos Forum) で議論されてきたことは世界経済の問題についてですが、それを見ると、このような話もこれまで継続して話し合われてきました。しかし議論だけであり、実質的な対策を立てなかったことです。そんなことから、今回のパンデミックは、このような危機への正しい対応を促す自然から警告ではないか、私は考えています。

このパンデミックへの対応、さらには関連する危機克服のために最も基本となることは、「連帯-Solidarity」、連帯の精神であるということをおちょっと申し上げたいと思いま



す。私がいま働いている職場が世宗市にありますが、私はこのパンデミックの非常に早い段階で、世宗市と近い地域である鎮川(ジンチョン)、牙山(アサン)であった事件にとっても深い印象を受けました。

何の話かという、最初にパン

ミックが発生して拡散が爆発的に進行した中国の武漢にいた私たちの同胞を帰国させました。そして政府では鎮川と牙山という中小都市の施設が安全だと判断し、その地域にその人たちを隔離しようとしてしました。しかし、この右に出ている写真は、2020年1月30日の様子です。トラクターで道を閉ざし、ヘッドバンドを巻いて、絶対反対！私たち住民の安全が脅かされている！なぜその人をここに連れて来るのか、と言いながら反対デモをしたのですが、右側の写真(前頁)は、まさにその次の日です。

「ここでゆったり過ごして帰りなさい、歓迎します」というプラカードを掲げ、そんなに激しい反対が、一日にして積極的な歓迎に変わりました。この内容と状況を見ながら、私はこれがとても重要な反転と考え、それがまさに私としては大きな意味のある出来事だったと思いました。

その後もパンデミックに対応する過程で、韓国では連帯の精神を発揮した事例が、本当にたくさんあります。韓国では今、武漢市のような規模ではないのですが、世界で二番目に大きいアウトブレイクが大邱(テグ)でありました。その時、大邱を封鎖しなければならないという話も出ていましたが、国民は封鎖ではなく、むしろ訪ねてみる、即ち、医療スタッフとかボランティアが訪問して、さらには多くの物品も送りながら、力を合わせて一緒に克服したという事例があります。

このとき大邱に行った人々の中には地域間の感情がありましたが、お互いにライバルとしていた光州市民が大邱に救いの手を差し出したし、後に光州が困難に直面したときは、大邱市民が行って助けるような美しいこともありました。

そして、韓国では多くの不安がありますが、国境封鎖は最小限に抑え、なるべくこのような科学的な対応をするように努力をしました。また、外国人労働者や海外の入国者などについても、検査や治療措置を積極的にとるような方針をとりました。事実、このような政策は私が政府のパンデミック対応について助言をする、生活防疫委員会の委員として私が提案したものです。そのようにして、政府が、不法滞在者の場合にもそのことを全く問わず、必要な場合はマスクも配って検査も実施し、治療もできるように措置するようにしたのです。だから、このような連帯の精神がとても重要な防疫成功要因と見るのですが、なぜそうなのかにについて簡単に説明をしてみましょう。

パンデミックに対応するには三段階、3つの要素があります。私たちがよく耳にした‘曲線を平らにする’、英語で「flattening the curve」と言うもので、これは医療システムが余



裕があるレベル以内で感染の広がりを抑えることです。そして第二に、そういう風に抑制しても感染された人たちについては医療的対応をしなければならでしょう。つまり、患者を治療することです。そして最後に、研究開発ですが、診断キットとか治療、最終的にはワクチンを開発して、このパンデミックを征服することですが、最も基本的なことは、スタートラインの曲線を平らにすることです。

個人的には、手をよく洗い、マスクをきちんと着用して距離をとることであり、このようなものを社会的に義務化することが社会防疫であり、防疫当局、即ち政府は、検査し追跡して隔離することです。ところが、個人視点で防疫を考える際になぜ連帯が重要なのか言うと、実は個人防疫が最も基本的で、最も効率的であるためです。社会的費用も少なく、防疫の効果も高いのに、よくならないというのが問題です。文化的な理由で、または私の体は自分自身が一番知っているとか、あるいは政治的な理由で反対するという部分もあり、ただ利己的な行動である場合も多いですね。

私は若く健康だからウイルスにかかっても大丈夫とか、実際には我々が手をよく洗い、マスクも着用していることが自分自身を保護するための仕事でもあるが、人を保護するためのものでもあるのです。私を介して他の人にウイルスが伝播することが大きな問題であり、実際にはそのような部分がとても大きいはずなのに、自分のことだけを考えています。

また、個人防疫をよくしたいがそうすることができない条件もあります。勤務環境自体が換気がよくない、密集場所で話しながら勤務をしなければならないとか、例えばコールセンターのようなところがそのような場合でしょう。経済的な難しさから、このような予防措置や距離を置くのをちゃんとしない場合もあります。このような場合には他人のせいばかりするのではなく、連帯の精神を発揮し、配慮し、支援して、一緒に行動するという、そのような連帯の精神が整えば、防疫をよくすることができるでしょう。社会防疫というのは、実はそういうことです。

強力な社会的距離を置く封鎖とか、外出や営業を停止するとかになると、貧困層や経済的脆弱階層に耐えられない被害・負担をもたらすことになります。また、一日稼いで一日生きて行く労働者の場合は、大きな不安の中で仕事をしなければならないになります。これらについて配慮し、サポートしていかなければ、このような手段が、継続的に効果をあげるのは難しいということです。そして、国家防疫の追跡検査や社会的隔離戦略が成功するためには、正確かつ迅速に実行される必要がありますが、そのためには社会的疎外階層がその措置を信じる必要があります。そうでないと、それらが早く履行されることができません。全世界的に移住労働者が多い国や、中東地域やアジア地域、シンガポールなど、このような国は感染率が非常に高くなります。

米国の場合には、不法移民をいい加減に追放する過程で、実は世界中に何千人のウイルス保菌者を送るスーパー伝道者の役割を果たしたのです。移民取締局に関してのニューヨーク・タイムズの暴露記事もありました。

研究開発は、連帯の精神が基本です。科学研究において、近代の科学が急速に発展することができた最も基本的な理由の一つは、オープンサイエンスということです。科学者たちは、新しい知識を常に公開し、共有し、そしてその上で、新たな知識を作り上げることになるの



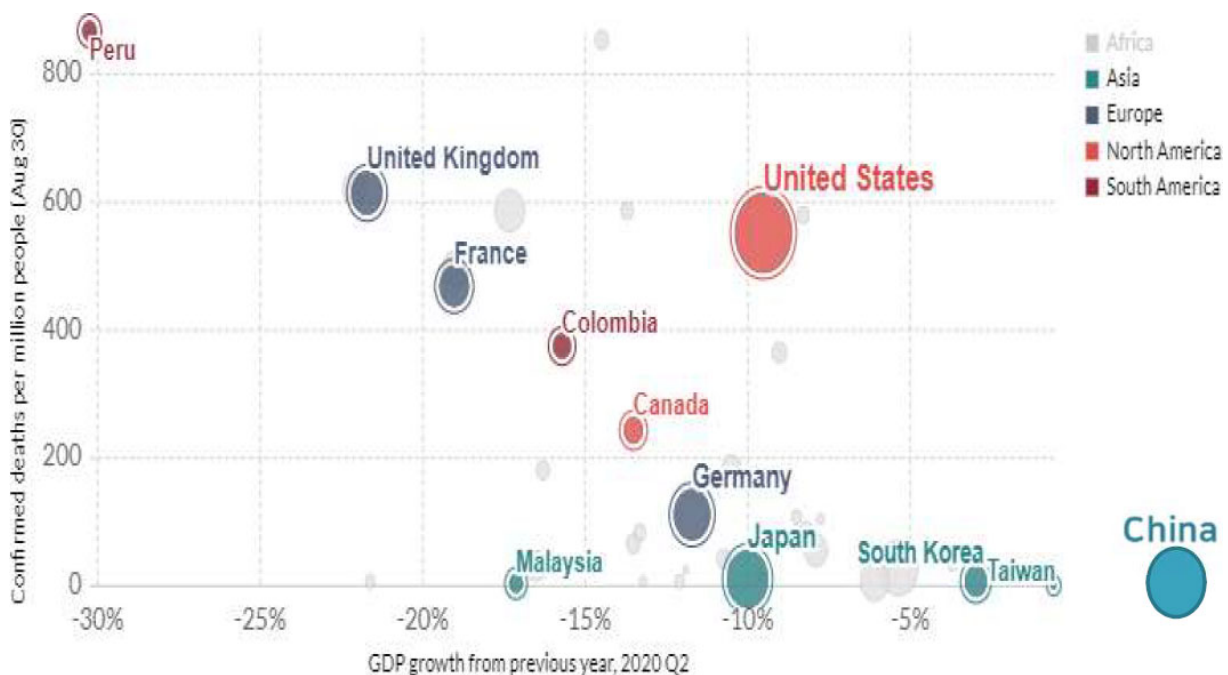
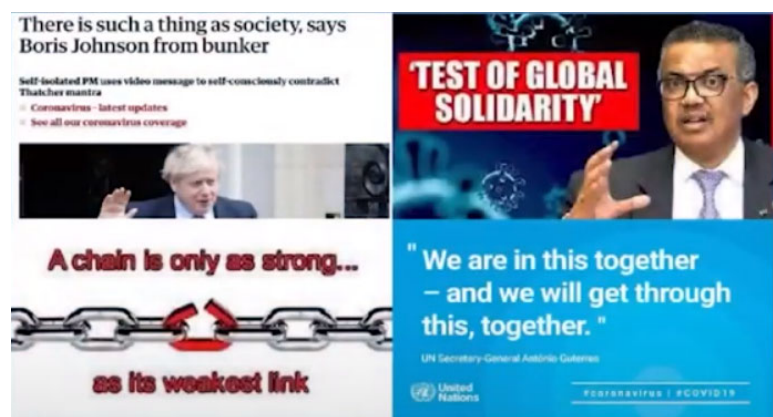
です。それは漠然とした理想主義ではなく、実際に過去 50 年の間に、インフルエンザワクチンを生産するときもすべての世界科学者たちの知識をまとめて、今年はどうようなワクチンが必要である等の決定をしてきたのですが、最近のコロナ関連の研究も全部そういう風に進行してきました。

診断、治療ワクチンの開発に関しては、関連するすべての研究者の国際的な協力体制があり、その中で COVAX はワクチンを購入する同盟を言うのです。そこでは連帯の精神が基本ですが、しかし、政治的には特に、米国、中国、英国などの大国がワクチンを政治的に利用しようとする部分が多く、豊かな国が先にワクチンを確保しようとする競争とか、そんな類の危険が存在しています。

このコロナウイルスが私たちに見せてくれる基本的な教訓は何かというと、私一人だけ安全というわけにはいかず、つまり、社会的なコミュニティが安全でなければ、私一人を安全にするということができないということです。

英国のボリス・ジョンソン首相が、苦労をたくさんしたでしょう。集中治療室に入って治療まで受けたが、その後言ったのが「過去、党の先輩首相であったサッチャー首相は「社会というのは存在しない、個人だけがある」としたが、私は今回の経験から、そうではなく、社会が本当に重要だ」とそんな話をしました。

社会の最も弱い者を保護して、いなくては、社会全体を保護することができないということです。だから国連事務総長が、今、



世界に訴えているのです。私たちは協力し合わなければならない、これを克服するための連帯が危機克服の最も基本的なものということです。

これはパンデミックの被害について示すグラフです。横軸はコロナによる死亡者が人口比例でどのくらいかを示しています。高いところにあるほど死亡者が多数であり、そして縦軸は、経済的な被害を示しています。左側に行くほど経済的被害が激しいですね。ところが、ご覧のように世界的にみて、アジア諸国、特に東アジア諸国のコロナによる死亡者の人口に占める割合が極めて低いことがわかります。しかし、経済的な被害は国ごとに少し違いがあります。日本、中国、韓国などの東アジアの国々は概してほとんど良好な方でしょう。シンガポールやマレーシアの場合には、打撃の被害がもっとひどい方です。

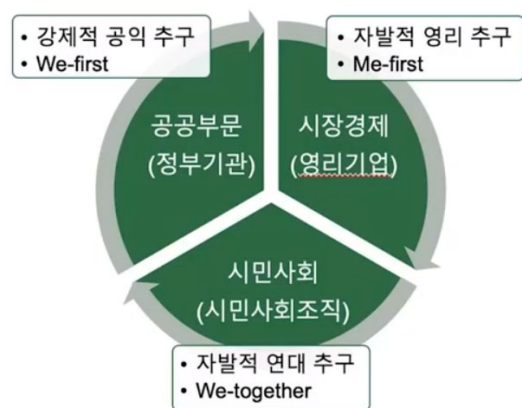
なぜでしょうか。重要なのは経験の差です。被害が少ない国は、以前に経験したことがあったので、早期に対応したということが非常に役立ったようです。SARS や MERS のような経験からであり、もう一つは、市民の連帯の精神、あるいはいくつかの社会的圧力のようなものが作用して、防疫に多くの市民の協力があったことです。

現代社会は政府を中心とした公共部門、企業を中心とした市場部門、市民社会組織が活動する市民社会、このよう3つのエリアで構成されていますが、市場と政府もそれぞれの役割があります。市場は自由営利活動をしなが、競争をするところであり、政府は強制力をもとに、公的に必要なことをするところです。ところが、それだけでは社会が安全ではありません。また、市場が間違ったとき、政府が間違ったときに、それをどのようにするのかということです。そこで市場と政府を注視し、仕事が失敗した場合にはそれを補完する、そのような役割をすることが市民社会の機能であり、それは自発的な市民精神、連帯の精神に基づいた社会的協力ということになります。

東アジアの国々が防疫に比較的 success しているという話が出てくることから、有名なフランスの学者であるキース・ソルマン氏が週刊誌ルプエンとのインタビューでこのような話をしました。「東アジアの国々は儒教文化であって、とても集団主義文化だから市民がよく協力して防疫に成功したのではないか」と話ですが、そのような側面もあるでしょう。

しかし私は、東アジアの国々はコミュニティに対する責任感を持つ個人の市民意識に基づいている、そんな連帯精神がたくさん成長したからである、そういう風に考えています。

そのようなことが、ある意識調査で明らかになりました。私はここで詳細な説明をする時間はありませんが、権威主義的な性向や、順応・集団主義的傾向を見せた人々より、民主的な市民性、水平的な個人主義性向を持つ人々がより防疫に積極的に参加した、というそのような調査結果ですが、示唆する点が多いと思います。私が先ほど申し上げた、牙山と鎮川であった奇跡のように、どのようにして、一日だけで絶対反対が積極的歓迎に変化することができたのか、正確な理由を知ることができません。しかし、マスコミに多く報道されたのは、「We are Asan(牙山)」というキャンペーンでした。



牙山にいるあるおばさんが SNS にこういう文章を載せたことがあります。

「我々が政府に対して不満を語るとは別に、今ここに來た僑民たちが信じられないほどの恐怖に脅えて苦勞をされた方たちなのに、こういう方たちを私たちがここで反対して突き放すとどうなるのですか。我々が温かく迎え入れなければならいでしょう。」

多くの人がこれに呼応しながら世論が急変しました。だから本能的に危険に置かれると、私たちはまず私が生きていかないという風に考えるが、少しじっくり考えると、私たちは理性と共感能力に基づいて合理的な反応、連帯精神に基づいた反応が可能になります。そういうふうに誰かが率先して、これらのことをもっと、そして、より効果的にするようにすることが市民社会組織の役割だと私は思います。

市民社会の機能をより効果的に学習して活性化するために、市民社会の力の元となる市民精神、連帯精神を広げて、それをより効果的に發揮するように組織化して、市民社会の力を強化する、そのような役割を果たしていかなければならないのです。そのためには、真正性と透明性、そして独立性を持って信頼を確保することが重要です。

そして、いつもいつものようにしないで、証拠に基づいてどのようにすればより効果的な活動をすることができるか、そして従来の方法と領域を飛び越えて常に新しい試みをする革新的な運営を行い、このような活動を通じて、市民社会組織の役割を拡大していかなければならいと申し上げたいです。

最後になりますが、パンデミックに関する危機克服の 5 大出発点がまさに連帯精神であり、そのために私たちの社会の弱者と防疫と社会的セーフティネットの死角地帯を守るだけではなく、今のリソースが不足して十分な対応ができないのですが発展途上国への支援とか、ワクチン連帯とか、国際的な連帯がとても重要であると申し上げたいと思います。

傾聴いただきまして本当にありがとうございました。

## パンデミック時代、市民社会組織の役割と責務

柳 鍾 一 (YOO JONG-IL)

KDI 国際政策大学 院長

### 1. パンデミックと危機の時代

#### A. コロナ保健危機

- (現況パンデミックの宣言後 7 ヶ月ぶりに感染者 3,700 万、死亡者 107 万を超える。
  - 実際の感染者約 4 億人、公式感染者の 10.5 倍
  - 実際の死亡者約 160 万人、公式死亡者の 1.5 倍
  - 北半球冬のインフルエンザの流行とともに 2 次の大爆発の兆し
- (展望) ワクチンの開発に成功しても、1 年以内にパンデミックの終息は難しい見通し。

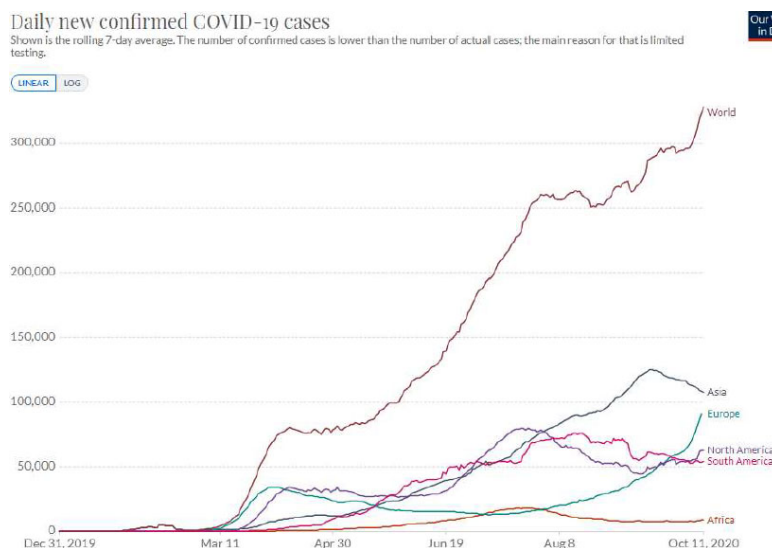


図 1 世界コロナ确诊者数推移

#### WHAT HAPPENS NEXT?

To predict how COVID-19 might come and go in temperate regions such as North America and Europe, researchers have modelled the influence of factors including how long immunity to the coronavirus might last, the role of seasons and whether other coronavirus infections might give some immunity to it.

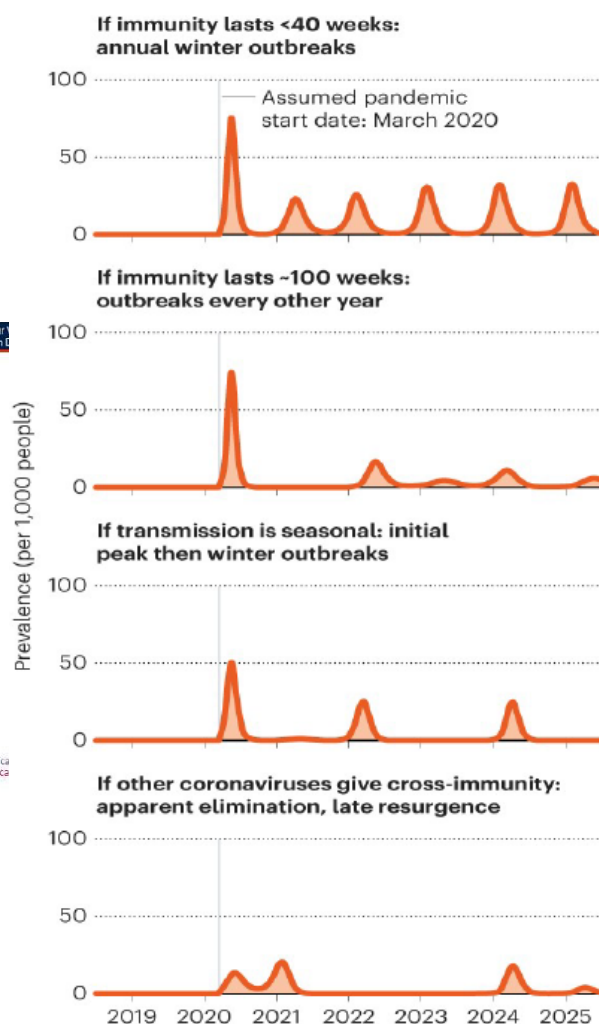


図 2 Nature の COVID-19 の長期予測図

## B. 大封鎖と経済危機

- （経済の現状）第1四半期以来のGDP成長率の急落、第2四半期急落、第3四半期に緩やかな回復
- ・（OECDの6月の見通し）GDP成長率-6.0%、または-7.6%予想（2次拡散の場合）
- ・（IMFの10月の展望）成長率-4.4%（ただし、最近の2次の拡散と封鎖の兆しあり）
- ・大恐慌以来の最悪の景気後退（2009年の大沈滞時には-1%）
- ・コロナ以降の失業者3億人、貧困者5億人、飢餓2.7億人発生予想

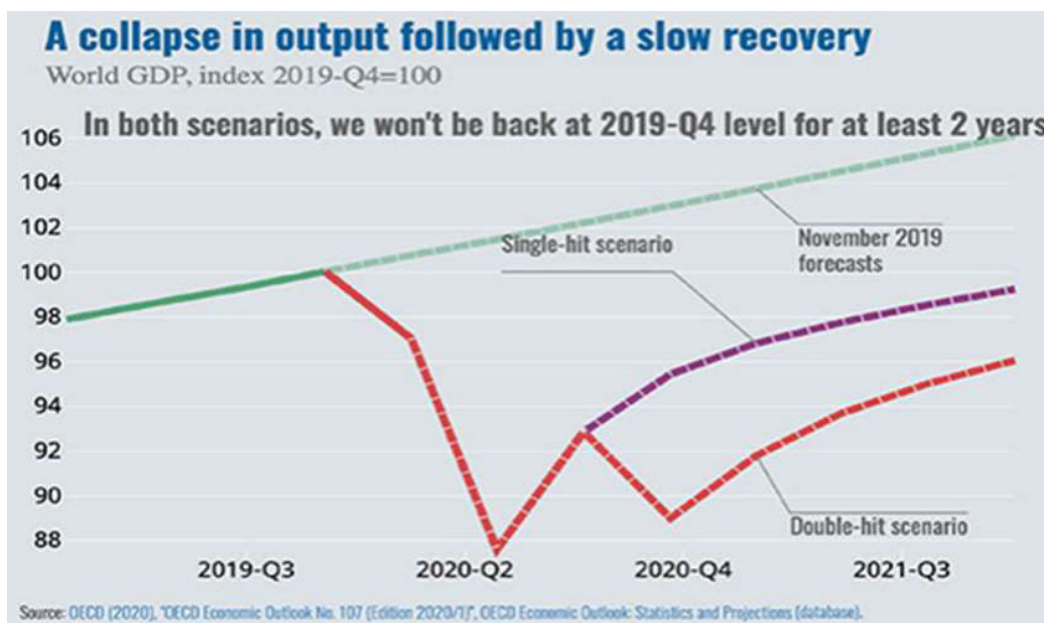
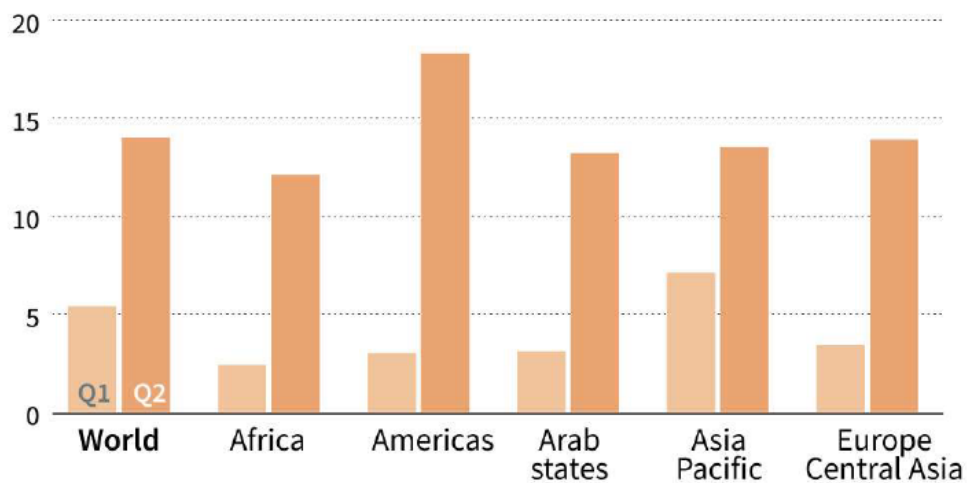


図3 OECDの経済見通し

## COVID-19 impact on jobs

In Q2, 2020, the equivalent of 400 million full-time jobs were lost

% of lost working hours in Q1 and Q2, 2020, compared to Q4 2019



Source: International Labour Organisation

AFP

図4 COVID-19による大陸別の失業率



## □パンデミックにより深刻化した社会の危機

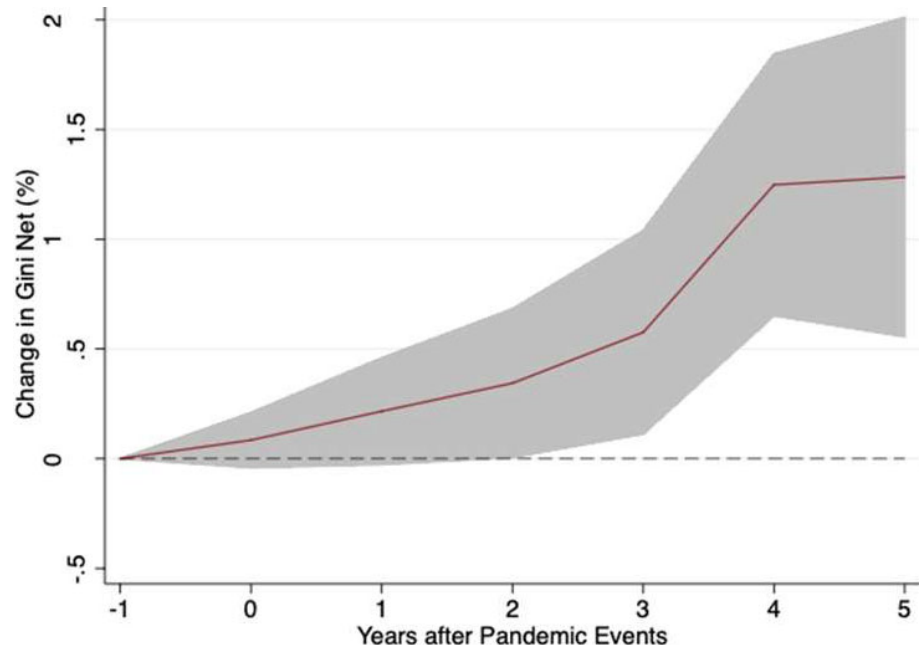
### ○ 不平等の拡散

- 社会・経済的弱者が感染症の主な犠牲者と拡散の経路となり、感染症に起因する経済危機の被害もこの人たちに集中

- すでに新自由主義の時代に深化された不平等がさらに劇的に増大する

### ○ 政治葛藤とポピュリズム、権威主義の拡散

- 黒人の生命尊重 (Black Lives Matter) 抗議デモ、強制防疫措置に反対するデモなどの拡散



## □自国優先主義と国際協力の危機

図5 ファンデミックの後、ジニ係数の推移

### ○ 生存の危機が煽る自国優先主義

- 国境閉鎖、輸出規制などで、グローバルバリューチェーン (Global Value Chain) の脆弱性浮上。
- グローバル金融危機以降浮上した保護貿易主義と、米中覇権競争がパンデミックによりさらに深刻化。

### ○ 人類の共通の敵の前で、国際協力の崩壊

- 米国の WHO 脱退脅威と分担金納付の中断など、パンデミック対応のための国際協力の瓦解。

## □パンデミックにより明らかになった環境危機

### ○ パンデミックが環境破壊の恐ろしい結果を浮き彫りに

- コロナは、人獣共通感染症の増加傾向の必然の結果
- 2020 の記録的な山火事で、気候変動の危機の発生：オーストラリア、アマゾン、シベリア、アメリカ西部など地球のあちこちで記録的山火事の発生。

### ○ パンデミックは環境回復の可能性も示す

- 化石燃料ベースの産業の縮小
- 環境保護のための集合的行動の可能性拡大

## 인수공통감염병 증가



図6 人獣共通感染症の増加推移

### □予告された災い、コロナの警告

#### ○ コロナは、予告された災い

- 生態系の破壊に起因する人獣共通感染症の増加の危険性についてビル・ゲイツなど数多くの警告
- CIAは、毎年、世界の脅威評価書（World Threat Assessment Report）でパンデミック危険警告  
「米国と世界は、巨大な人命被害をもたらし、世界経済を強打する大規模な感染症の事態を迎える危険にさらされている」

-2019年の世界の脅威評価書, CIA-

#### ○ パンデミックは5大危機に対する自然からの警告

- 5大危機：医療、経済、社会、国際協力、環境

## 2. パンデミックの対応と連帯

### □パンデミック対応と連帯 - 韓国の事例

- 鎮川(チンチョン)と牙山(アサン)地域の武漢韓国人の受け入れに反対世論が賛成に転換
- 大邱地域拡散当時のボランティアと物品サポートの波
- 国境封鎖の最小化
- 外国人労働者は、入国者などの検査と治療をサポート

「約 38 万人の未登録外国人が、不安定な社会的状態にあることから、COVID-19 の疑い症状があっても選別診療所を探さない可能性が高いので、常に感染症が地域に広がる可能性がある防疫の死角地帯」とし「外国人密集地域の防疫強化とともに、この人たちが自分の身分を気にせず、マスクの供給を受け、保健所や医療団体の診療を受けることができるよう措置してほしい」と注文した。

- チョン・セギョン総理大臣（COVID-19 の中央災難安全対策本部会議（4./29））

### □パンデミック対応の3段階

- 曲線を平らにする\*：医療システムが耐えられるレベル以内に感染拡散の抑制
  - 個人防疫：手の洗淨、マスクの着用、距離を置く
  - 社会防疫：マスクの着用が義務付けられ、社会的距離を置くの義務化（集会、営業、外出などの制限）
  - 国の防疫：検査-追跡-隔離
- 医療的対応
  - コロナ感染患者の治療
- 研究開発
  - コロナ診断キット、治療剤およびワクチン開発
- \*曲線を平らにする  
(Flattening the Curve)

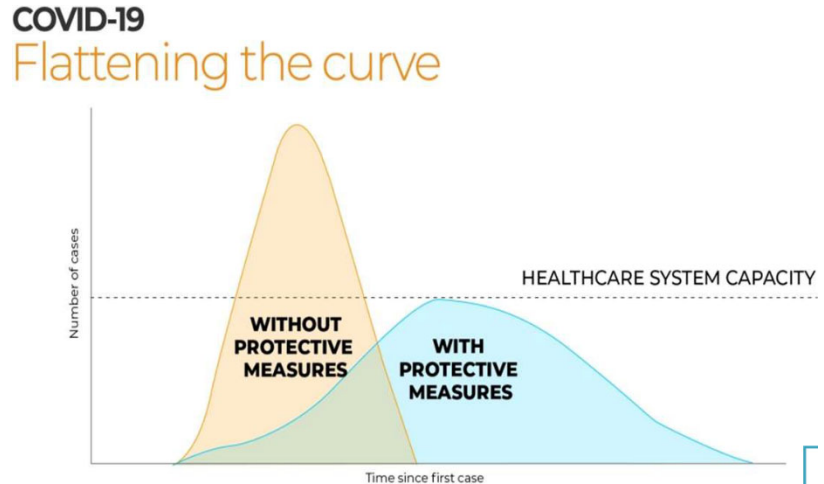


図7 Flattening the Curveを通じたCOVID-19の対応

### □ 個人防疫と連帯の重要性

- 低コスト - 高効率防疫である個人防疫がよく守られていない理由
  - 文化的あるいは政治的反対、政府あるいは防疫当局への不信
  - 利己主義：他人の保護は考慮せず、私は大丈夫だと判断
  - 貧困、職場条件など経済的な不可避性が存在
- 連帯の精神の必要性
  - 利己主義的行動を克服し、他人への配慮から、個人防疫実施
  - 防疫脆弱階層への支援と配慮が必要

### □ 社会と国家防疫と連帯の重要性

- 国境閉鎖、都市封鎖、外出制限、営業制限など、強力な社会的距離を置くには莫大な経済的犠牲を強要
  - 貧困層と経済的被害階層に対するサポートなしで継続するのは困難
  - 在宅勤務者と必須労働者（エッセンシャルワーカー）との間の差別が浮上し、必須労働者の安全のための配慮が必要
- 検査 - 追跡 - 隔離戦略の成功は、情報の正確性や迅速性に依存する
  - 移住労働者など社会的疎外階層のための適切なサポートにより、これら防疫体制について信頼できる必要があること
  - 中東諸国とシンガポールなどでは、移住労働者中心の感染の拡散が深刻であり、米国が移民取り締まり局（I.C.E.）の粗末な管理と不法移民の追放により、世界各国に数千の感染者を送ったスーパー伝搬者の役割をしたこと

## □研究開発と連携精神

### ○ コロナ対応の研究開発関連の国際協力

- 近代科学の発達を促進した Open Science の伝統：公共財である知識を産み出す研究過程で、専門家が情報や知識を共有し、協力して、科学技術の発達を促進。
- 過去 50 年間のインフルエンザワクチンの生産をはじめ、最近コロナの関連研究に至るまでに、科学界は共有と連帯の精神。

ATP (Access to COVID-19 Tools)

Accelerator: CIVID-19 の診断キット、治療剤、ワクチン開発を加速するためのグローバルな協力体制。

COVAX: ATP のワクチンの分野の協力体制として、CIVID-19 のワクチン開発と生産を加速し、世界のすべての国に公平な普及を確保するためのワクチンの同盟。

- ワクチン民族主義など、自国優先主義による研究開発の遅れと、不合理なワクチン普及のリスクが存在
- 特に米国、中国、英国など強大国のワクチン先取りのための競争

## □コロナウイルスの教訓

### ○ 連帯は防疫の基礎

- ウイルス感染症は、コミュニティ全体の安全が確保されない場合、個人の安全も保障されていないことを思い起こさせる
- 特に最も脆弱なリングを保護する必要性

“A chain is only as strong as its weakest link.”

- 国際的連帯の必要性

“We are in this together and we will get through this, together.”

- 国連事務総長 (UN Secretary-General) アントニオグテレス (Antonio Guterres) -

## 3. 市民社会組織の役割

### □パンデミック対応の国際比較

- パンデミック対応で概ね、東アジア諸国が優れた成果を見せる

- SARS、MERS などの経験をベースにした早期対応
- 市民の防疫協力（連帯の精神、社会的な圧迫感、強制力などが作用）

| Rank | Country         | Covid Index | Deaths Per Million | Effective Reproduction Rate (ERR) | Epidemic Control Efficiency (ECE) | ERR Decline | Mobility Decline |
|------|-----------------|-------------|--------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|-------------|------------------|
| 1    | South Korea     | 0.90        | 5.00               | 0.76                              | 0.63                              | 0.36        | 0.10             |
| 2    | Latvia          | 0.78        | 9.34               | 0.95                              | 0.29                              | 0.63        | 0.24             |
| 3    | Australia       | 0.76        | 3.88               | 1.06                              | 0.27                              | 0.67        | 0.24             |
| 4    | Lithuania       | 0.75        | 17.85              | 0.90                              | 0.15                              | 0.61        | 0.36             |
| 5    | Estonia         | 0.75        | 46.14              | 0.94                              | 0.21                              | 0.73        | 0.31             |
| 6    | Japan           | 0.73        | 5.08               | 1.25                              | 0.29                              | 0.70        | 0.16             |
| 7    | Slovenia        | 0.72        | 49.18              | 0.83                              | 0.07                              | 0.78        | 0.46             |
| 8    | Slovak Republic | 0.72        | 4.77               | 0.96                              | 0.07                              | 0.74        | 0.42             |
| 9    | New Zealand     | 0.71        | 4.34               | 0.80                              | -0.03                             | 0.86        | 0.44             |
| 10   | Norway          | 0.71        | 42.17              | 1.13                              | 0.18                              | 0.72        | 0.30             |
| 11   | Greece          | 0.71        | 14.07              | 0.99                              | 0.07                              | 0.62        | 0.43             |
| 12   | Denmark         | 0.70        | 92.00              | 1.11                              | 0.19                              | 0.73        | 0.29             |
| 13   | Czech Republic  | 0.70        | 26.53              | 1.11                              | 0.11                              | 0.67        | 0.33             |
| 14   | Finland         | 0.69        | 49.13              | 1.18                              | 0.12                              | 0.65        | 0.32             |
| 15   | Hungary         | 0.68        | 43.48              | 1.14                              | 0.06                              | 0.63        | 0.32             |

図 8 OECD 加盟国の COVID-19 対応指数

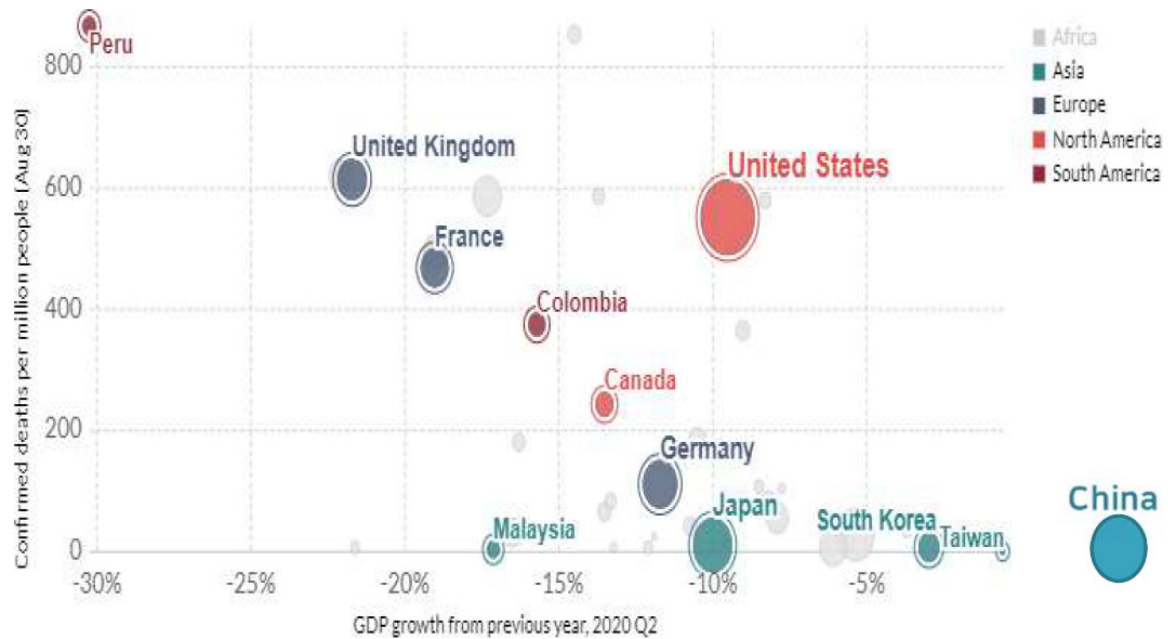


図9 保健危機と経済危機

#### □社会構成の原理と市民社会

##### ○ 市場の機能と市場の失敗

- (機能) 各個人の自発的な営利追求の競争を通じて効率的資源配分を達成（目に見えない手）、競争を通じた技術革新と成長
- (失敗) 不平等と失業、独占と不当競争、環境破壊や資源の浪費など

##### ○ 政府の機能と政府の失敗

- (機能) 強制力を使用して、公益を追求し、市場の失敗を矯正
- (失敗) 公益の決定方法、腐敗と官僚主義、権力統制と人権保護など

##### ○ 市民社会の機能と失敗

- (機能) 社会構成員の自発的な協力をもとに、市場と政府の監視および失敗を補完
- (失敗) 連帯の精神と信頼不足
- 市場、政府、市民社会の適切な役割の分担及び牽制と均衡が行われて初めて健康な社会が可能
- 特に自発的な連帯に基づいた市民社会の活性化が重要

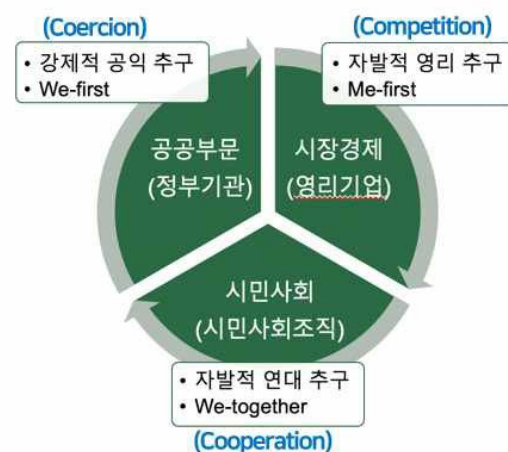


図10 社会構成の原理図

#### □ 市民意識と連帯の精神

##### ○ 連帯の精神のベース

- 連帯の精神は、共同体の責任を持つ個人の市民意識に基づく

##### ○ 儒教文化の役割？

- 韓国などの防疫成功の原因を儒教文化に基づいた集団主義性向で見る見解登場

「儒教文化が選別的隔離措置の成功に貢献した。

韓国人にとって個人は集団の次である。」

－ キ・ソルマン氏（文明批評家）、20. 4. 27<ルプエン>紙インタビュー

パンデミックに関連した韓国人の意識調査\*によると、権威主義、順応志向、集団主義性向を持つ人よりも、民主的な市民性、水平的な個人主義性向の人々が防疫によく参加している傾向が見えてくる

\*<時事 IN> ・ KBS 共同企画の大規模な Web 調査、CIVID-19 が現した「韓国人の世界」、2020. 5。

#### □アサンとチンチョンの奇跡

○ コロナに直面して恐怖と生存本能から理性と共感能力に重心移動

－危険の前でパニックになると本能反応が優先だが、じっくり考えると合理的な反応が可能

－ 連帯の精神とパニックの伝染性と拡張可能性が存在

○ 「We are Asan」キャンペーン

－ 連帯の精神発揮に誰か先に立つことの重要性

－ よりたくさん効果が得られるように実行することの重要性

#### □市民社会組織の役割

○ 市民社会組織は、市民社会の機能を効果的に実行して活性化するための組織

－ 市民社会の力の元となる市民精神、連帯の精神を広める

－ 連帯の精神をより多く、より効果的に発揮するよう市民を組織化して、能力を強化

○ 市民社会組織の経営

－ 真正性、透明性、そして政治と市場の力からの独立性、による信頼の確保

－ 証拠に基づき、投入資源に対して最大の効果を出す方法を模索（証拠に基づく経営）

－ 既存の方法と領域を超えて、常に新しい試みが必要（イノベーションマネジメント）

#### □ パンデミック時代の危機克服のための市民社会組織の役割

○ 効果的なパンデミック対応のための連帯の精神の向上

－ 市民の防疫参加意識の向上

－ 防疫と社会安全網の死角地帯ケア

－ 途上国の支援、国家間のワクチン連帯など国際的な連帯活動

○ パンデミックにより深刻化した5大危機の克服への出発点も連帯の精神

－ 市場と政府の監視および牽引

－ 市場と政府が失敗する部分を補完して危機克服

○ 特に、パンデミックにより促進されたデジタル変換プロセスに起因する問題に積極的に対応する必要

－ デジタルの格差、デジタルの疎外階層の問題

－ 個人情報保護、虚偽の情報（偽ニュース）の拡散防止、データのセキュリティなど



## 2.3 中国側基調講演(資料のみ)

資料

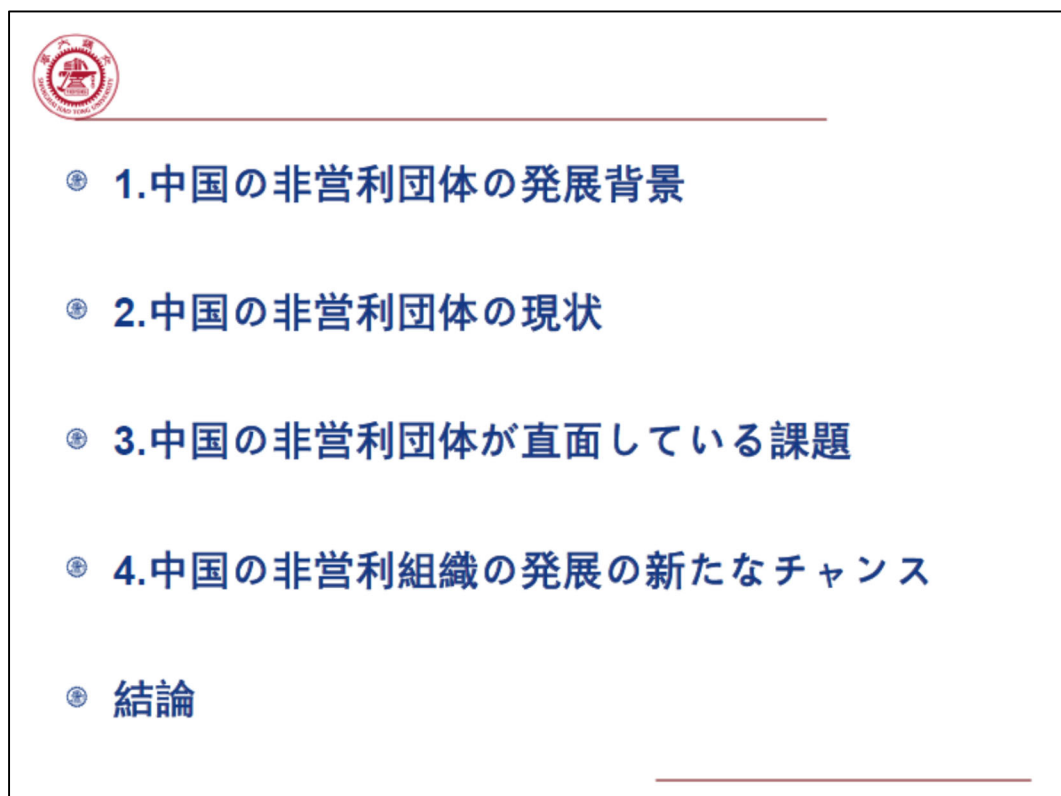
### 中国の非営利組織の現状と発展動向

徐家良 (JIALIANG XU)

上海交通大学 教授



スライド1



スライド2



## ④ 1.中国の非営利団体の発展背景

スライド3



### ④ (1) 伝統的な意味の政府と社会の関係

- ④ 一つの主体：政府
- ④ 二つの補助：企業や非営利組織
- ④ 一つの円は大きく独立しており
- ④ 2つの円が一輪の中に寄生する。
- ④ 四つの特徴：  
管理中心;単一の中心;単一主体;万能政府



スライド4



## ④ 2.現代の意味での政府と社会の関係

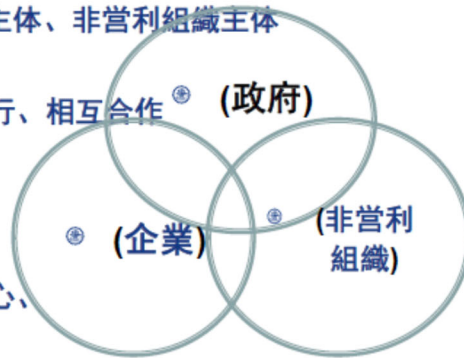
④ 三つの主体：政府主体、企業主体、非営利組織主体

④ 三つの円の相互作用：独立運行、相互合作 ④ (政府)

④ 四つの特徴：

④ 管理で統治に調整、複数の中心、

④ いくつかの主体は、有限政府



スライド5



## ④ 2. 中国の非営利団体の現状

スライド6



- ④ (1) 数量
- ④ 中国の民政統計
- ④ 2020年第2四半期
  
- ④ 社会团体37万3000個
- ④ 民間非企業單位49万7000個
- ④ 財団7979個
- ④ 合わせ87万個

スライド7



- ④ (2) 管理制度
  
- ④ 第一：二重管理制度
  
- ④ 第一段階：政府その他の部門が業務主管部門である
- ④ 第二段階：県レベル以上の民政部門は登録管理機関である

スライド8



## 第二：等級別管理制度

社会团体、民間非企業単位、財団は、それぞれ県級以上の民政部門に登録して、各階層の業務主管部門と登録管理機関が管理する。

县级、地级市、省级、国务院

スライド 9



- ④ 第三：年次検査制度
- ④ 社会团体、民間非企業単位、財団は毎年5月31日以前に年間業務報告書、年次財務監査報告書、法人登録証明書のコピーおよびその他の提出しなければならない資料を業務主管部門と登録管理機関に送付しなければならない。年次検査は合格、基本合格、不合格に分けられる。
- ④ 2次検査の結果：基本合格、法人格キャンセルの可能性。
- ④ 慈善団体は、年次報告制度を採用する。

スライド 10



## 第四：標本調査制度

---

- ⑤ 2017年3月に人民政府から「社会組織抽出調査暫定方法」を公布した。
  - ⑤ サンプルングは、定期抽出と不定期抽出の二つの方式で行われる。登録管理機関は、定期的に抽出調査を実施するが、検査内容は、主に、社会組織の年次報告、情報開示、内部管理、財務状態、業務活動などを含む。
  - ⑤ 不定期的に検査内容のいくつかを選択すると、抽出して検査を進めても、実情に合わせて、他の検査内容を合理的に確定することができる。
- 

スライド 11



## 第五：評価制度

---

- ⑤ 2010年12月に、人民政府は「社会組織の評価を管理する方法」を発表
  - ⑤ 民政部門は法に基づいて、社会的組織の監督管理職を実施し、社会組織の健全な発展を促進し、規範的な方法と手順による評価と、機関の評価基準に基づいて、社会組織の客観的かつ総合的な評価を介して、評価の結論を下す。
  - ⑤ 評価結果は、5つの評価で5A評価、4A評価、3A評価、2A評価、1A等級に分けられる。
  - ⑤ 3A以上評価を受けた社会団体は、優先的に、政府の職能を前受けることができる。また、政府からサービスを購入して、政府のインセンティブを受けて、寄付の税前控除の資格を得る条件として活用することができる。
- 

スライド 12





### ③ 三、中国の非営利団体が直面している課題。

スライド 13



### ③ (1) 合规性问题

- ③ 非営利団体が法律ポリシーに準拠する程度：
- ③ 年次検査の規制要件を満たしているかどうか。
- ③ 標本調査の規制要件を満たしているかどうか。

スライド 14



- ④ (2) 行政化の問題
- ④ 非営利組織は、二つのタイプに分かれる
  - ④ - 一つは民営化である。
  - ④ - 残りの一つは、行政化だ。
- ④ 民営化された非営利組織は、自律性があり、資源動員力が高い活力がある。
- ④ 行政化された非営利組織のほとんどは、政府の支持に依存しており、自主性が弱く、大衆の需要の満足度が弱く活力が少ない。

スライド 15



- ④ (3) 人材の問題
- ④ 社会工作者以外の社会組織の専門職がまだない
- ④ 公益を十分に理解することができる人材の不足
- ④ 賃金制限は、業界が人材を誘致しにくくする。

スライド 16



## (4) 投資の問題

- ④ 1.いくつかの社会組織、特に慈善会と財団は、投資活動がない。
- ④ 2.一部の社会組織は、投資活動はあるが、規範的ではない
- ④ 2018年10月に民政府、「慈善組織の付加価値投資活動管理暫定方法」発表。
- ④ 慈善団体は、投資活動のリスクレベルと余裕がある損失の程度に応じて、合理的に被害救済メカニズムを整備しなければならない。慈善団体は、危険準備金制度を立てることができる。

スライド 17



## (5) 税収の問題

- ④ 「法人税法」は条件を満たしている非営利組織が免税資格を申請することができるように規定している。毎年公益的寄付前控除の資格を得た組織の名簿を発表する民政、財政、税務の場合には、企業や個人が寄付すると税金減免を受けることができる。
- ④ 「慈善法」は、慈善団体とその所得に対して法に基づいて租税利益を受けるように規定している。
- ④ 存在する問題は：
  - ④ 1.サービスの購入時に税金の支払いが不可欠。
  - ④ 2.予備歳入が解決されない。
  - ④ 3.その他の非営利組織は、所得税と投資所得税がまだ免除されていない。

スライド 18



## (6) 慈善法施行の問題

- ④ 1.範囲：包括的な法ではなく、基礎的総合的な法律が必要である。財産寄付、チャリティーサービスへの長期寄贈は含まれていない（赤十字システム）。
- ④ 2.主管部門：民政部門、国家の慈善委員会、未設立
- ④ 3.準備金額：規定がなく、最低額が1万元にもならず、数量が小さい
- ④ 4.慈善団体の認定が少ない。
- ④ 2020年9月14日、中国の慈善サイトによると、慈善団体は、8710カ所で、社会全体の組織の1%に過ぎず、公募資格を持つ組織は、3121カ所だ。

スライド 19



## ④ 四、中国の非営利組織の発展の新たなチャンス

スライド 20



## ④ (1) 地域の発展

- ④ 非営利組織は、事業範囲を拡大して、北京 - 天津 - 常山 - 週三角 - 広東 - 香港 - オーストラリアで合作と交流をした。

スライド 21



## ④ (2) 「一带一路」に進む

国際舞台での非営利組織が積極的な役割をする。

エリアの範囲は、「一带一路」の沿岸地域では、アジア - アフリカ地域に重点がある。

スライド 22



### (3) 職業化建設

2015年国家人材社会保障部は、社会工作人員のほかに、社会組織の専門人材、採用をお勧めし、サークルのメンバーの管理員などの3つの職種を発表した。

次の2つのことが必要である：

最初はプロの基準を定めるものである。

第二は、試験要項設計だ。

教材編成



スライド 23



### ④ (4) 社会的シンクタンクの発揮効果

- ④ 2015年1月には、中共中央院弁公庁、国務院弁公庁は「中国の特色の新型シンクタンク建設強化に関する意見」を発行しました。
- ④ 2017年5月には、民政府など9つの部と委員会が「社会シンクタンクの健全な発展に関する若干の意見」を発表した。
- ④ 社会組織が社会シンクタンクとして、政府に助言サービスを提供するように奨励。

スライド 24





## ⑤ (5) 非営利組織の選定と序列

### ⑥ 国家レベル

- ⑦ 深圳慈展会中国慈善公益事業大会
- ⑧ 中国の好き公益プラットフォーム

### ⑥ 地域レベル

- ⑦ 上海「公益で神」選定
- ⑧ 2017年から3回にわたり、「10代公益機関」、「10代公益事業」、「10代公益物語」などを選定する。2020年の第4回が進行中である。



スライド 25



## (6) 公益の新探求

- ⑥ 公益と商業の融合：影響の投資、社会的企業の建設。
- ⑥ 民営化、ローカライズ、集団化、大規模化、専門化。

スライド 26



## ● 結論

スライド 27



**視点1：非営利組織の主体的地位と、  
非営利組織に対する信頼を獲得。**

**★ 非営利組織の主体。**

スライド 28



## ④ 視点2：非営利組織の育成と監督

- ④ 育成措置：機能移転、サービスの購入、その他の政策的支援。
- ④ 監督：年度検査、標本調査、評価作業

スライド 29



## ④ 視点3：三円（リング）の相互作用が、非営利組織の活力を呼び起こす。

- ④ 政府の円（リング）：機能以前、法律、政策。
- ④ 企業の円（リング）：資金支援、人員支援とビジネスモデルのサポート。
- ④ 社会組織円（リング）：能力の伝達と経験電波。
- ④ キーポイント：資源交換

スライド 30



## ④ 視点4: コンプライアンス、コラボレーションで新たな突破口の模索。

- ④ 関連法規の遵守。
- ④ 内部動作、非営利、職業化。
- ④ 参加国の発展戦略: 脱貧攻坚(貧困から抜け出し強者を攻撃する)、一带一路、社会的シンクタンク。

スライド 31

## 3. 特別報告

---

### 3.1 韓国側特別報告

#### 大邱医療ボランティアの事例とメンタルデミク

司空正奎 (SAGONG JEONG-GYU)

東国大学医学部精神健康医学科 教授

こんにちは、私は東国大学校医科大学精神健康医学科の教授である司空正奎(サゴン ジョンギュ)です。まず、2020 東アジア市民社会ボランティア国際フォーラムに招待していただき本当にありがとうございます。そして今日、このフォーラムと一緒に参加くださった方たちにも心から感謝を申し上げます。

韓国では 2020 年 1 月 20 日にコロナの最初の確定感染者が発生しました。そして 2 月 18 日、大邱(デグ)で最初の確診者、いわゆる 31 番患者が発生しました。これが大規模地域感染に拡大し、大邱には抑えようもなく患者たちが広がっていきました。そして 2 月 29 日には大邱でコロナ累積感染者数が 2 千人を超えて、一日で 5 百人に近い患者が出るなど、確診者増加の数が最高点に達しました。そして 2 月には大邱の象徴である大邱西門市場が事業を停止しました。大邱西門市場は朝鮮時代に開場し、今日まで一回も事業をやめたことがない大邱の象徴でした。実に大邱が完全にストップしてしまったのです。

私はこれを見て、医者として使命感と責任感を覚えました。私の個人的な力は微々たるものですが、私は強い思いで、大邱で医療ボランティアをしなければと思いました。それで 2020 年 3 月 1 日から大邱の医療ボランティアの拠点病院である某病院で医療ボランティアを始めました。

私が医療ボランティアをしながら感じたのは、すなわち、患者たちを診察して、回診をして、面談しながら感じたのは、コロナ患者のほとんどは、コロナによる感染よりも、コロナがもたらした不安、憂鬱により心の状態が痛んでいたという事実です。コロナ患者は我々の励ましや医療への感謝の気持ちを表しましたが、我々は逆にその方たちに感謝する心を持ちました。なぜなら、その方たちのそのような感謝の表現が、精神科医である私にとって、社会的使命感とアイデンティティを高めることができたからです。

4 月に京畿道研究院で、コロナによる不安、憂鬱を調査した内容を見ると、国民の 47.5% が、コロナによる不安、憂鬱感を経験したとしていますが、これは国民の約半数が不安、憂鬱を感じたということです。そして大邱の場合は、市民の 65.3% が不安、憂鬱を経験したと



のことですが、これは市民の約3分の2が経験したということです。

そしてコロナのストレスは、癌、脳疾患、心臓疾患などの重症疾患よりも、むしろ1.3倍多かったという調査結果が出ました。そして某機関が4月、6月、9月に調査した内容を見ると、コロナによる不安、憂鬱感を感じた国民は、それぞれ54.7%、69.2%、71.6%で、ますます多くなったとのこと。

私が今日お話ししたいことは、このようなことに起因するコロナのパンデミックにも我々が対処しなければならず、感染症への対処にも非常に重要なことでありますが、「メンタルデミック」という心理的な不安への対処も我々が準備をしなければならないだろうと考えています。

不安というのは、我々が慣れていないか、または脅威的な環境に適応しようとしたときに表われる最も基本的な反応です。不安は、人類の初めからありました。例えば、原始時代に森の中でごそごそする音が聞こえたとき、猛獣かもしれないと考えて、不安で避難した人類もいるだろうし、不安に思わない人類もいたのです。おそらく不安を感じて逃げた人類が生存する可能性はより高かったでしょう。私がここで申し上げたいことは、心配は生活を破壊しようとする目的ではなく、生き延びる生存本能に起因しているということです。

我々が経験するコロナによる不安のほとんどは、恐れなければならない病理的なものではなく、誰にでもある、また、一過性の一般的な反応であり、正常な反応です。再び申し上げるならば、我々が経験する不安は、不安の新しい解釈と受け入れを通じて、創造的動機と希望に進むことができます。また、コロナのある程度の不安は、むしろ、我々にとってコロナ予防行動規範をよく守るように動機付けて、コロナの感染防止と克服に大きな助けになります。しかし、コロナへの過度の不安、憂鬱は、我々の精神的・身体的健康と社会的健康に役立たないだけでなく、コロナ克服にも役立ちません。

不安は危険から自分自身を保護するためのものです。危機的状況での不安は、我々の生存と直結した貴重な信号です。つまり、不安は人生を破壊しようとする目的ではなく、生きるための生存本能に起因したものです。現実的な危険性がない状況で不安を感じたり、現実的な危険の程度に比べて過度に激しい不安を感じたり、不安を感じさせる脅威的な要因が消えた後も不安が続き、その不安が社会的・職業的、または他の重要な適応領域で著しい苦痛や損傷を引き起こした場合、異常な不安である可能性があります。

コロナによる不安、憂鬱は次の5つの要因が作用するものと思われます。まず、本人のコロナ感染による「周辺への感染の懸念」に対する不安、第二に、本人のコロナ感染による「治療の過程と結果」に対する不安。第三に、本人のコロナ感染による「周辺の非難」に対する不安。第四に、コロナと関連する社会的距離を置くことによる「自己隔離などによる孤独、孤立感を超えて、憂鬱感が来ること」に対する不安。第五に、コロナが終わらないような不安による「希望を失う無望感と憂鬱感」などです。はたして、我々はこのようなコロナの不安、憂鬱をどのように見なければならいでしょうか。

コロナに自分が知らない間に罹るという「周辺からの感染の懸念」が現実的にあることは事実です。しかし、我々自身がコロナ予防行動規範をよく守れば、大きな心配はありません。目、鼻、口に触れる前に手を洗い、マスクを着用して、人と人との間に2メートルの距離を置くなど、コロナ予防行動規範を守るとき、感染の懸念が事実上0%ということを我々はす



でに経験しています。

韓国は 2020 年、4.15 総選挙で約 2,800 万人が投票しましたが、投票によるコロナ確診者は 0 人でした。ここで 我々は、身体的距離を置くこととコロナ衛生の基本だけ守れば、コロナの伝搬を最小限に抑えることができるという教訓を得ました。従って、個人は過度の不安をもたないで、コロナ予防行動規範をきちんと守らなければなりません。

私がただ、「コロナにあまり不安を感じないでください」と言っても不安が軽減されないように、コロナ感染不安軽減に少しでも役に立つであろう、いくつかのファクトに基づいて比較説明をしたいと思います。

●比較ファクト 1：2018 年統計庁の発表によると、2018 年に韓国は 23,280 人が肺炎で死亡しました。

●比較ファクト 2：統計庁の資料によると、インフルエンザによる直接的な死亡者数は年平均 402 人です。インフルエンザの影響で死亡した事例も含め寄与死亡者数は、年間 2,370 人と推定されるそうです。

一つ付け加えるなら、万が一、コロナに罹っても 80%は無症状であるか軽症で、本人自身も分からない内に通り過ぎて行くほど、自然に癒されたり、治療をすると治ることができるし、残りの 20%ももちろん治療すれば治ります。特に、韓国の医療陣の実力は世界最強です。また、韓国の医療保険制度は立派で、病院・医院診療の入り口はそう狭くありません。国民の立場でも、患者の立場でも、世界で最も良い医療制度を持っています。我々の大韓民国が、世界最強の医療スタッフと治療の機会が容易な医療システムを持っている最高の医療先進国なので、治療に対して過度の心配はしなくても良いでしょう。

国民のほとんどは、コロナ患者と確診者に慰めと応援を送っています。自らがコロナ予防行動規範をきちんと守れば、感染する確率も極めて低いのです。もし、コロナ予防行動規範を守ったにもかかわらず感染が確定した場合、それは不可抗力的なものであり、誰も非難することはできません。特定の集団や特定の個人を、怒りと恨みの嫌悪対象と規定して攻撃するような人々のそれは、本人のコロナの不安に対する誤った解消方法です。

私たちみんなに申し上げます。コロナ患者と確診者は、むしろコロナの被害者であり、犠牲者です。その人たちを怒りと恨みの嫌悪対象に規定する社会的雰囲気は、彼らが適切な検査と治療を受けないように仕向けることもあるので、むしろ状況を悪化させることとなります。もしコロナ患者や感染者を非難する人がいる場合は、それを非難する人々の問題であって、コロナの患者や感染者が非難されるべき問題ではありません。

コロナ患者と確診者は、治療されるべき医学的患者であり、保護されるべき私たちの国民です。コロナ患者と確診者に向けた私たちの温かい心と応援は、彼らにとって最高の治療剤であり、快癒に大きな力になるでしょう。コロナ患者の迅速な快癒を応援しましょう。我々は、すべて、同時代を一緒に生きていく偉大な大韓民国の誇りである国民だからです。

「人間は社会的動物である」という言葉のように、私たちはお互いに会って、会話したり、社会的行為で親しみを感じたりして生活をして生きてきました。そんな中で、いわゆる社会的距離を置くという急激な変化は、互いに心が離れるらしく、やたら何か寂しくなり、孤独と孤立感、さらに憂鬱感をもたらします。しかし、いわゆる社会的距離を置くとは、物理的

な距離を置くであって、心から離れることではありません。

「一人であること」を、自らに直面し、自分自身を会うことができる貴重な時間と意味づけると、「一人であること」が孤独、孤立感、憂鬱感になることはありません。私が最も長い時間一緒に何かをすることができる者は、他の誰かではなく、まさに自分自身であります。一人でもよく過ごすことができると、他の人ともよく 過ごすことができるということを悟らなければなりません。完全に一人である時間を持ちながら、自分がどんな人なのかを知って気付く時、他の人との関係がより健康的になるでしょう。

コロナによって変化させられた私たちの日常が、むしろ他の人との関係の大切さを教えてくれ、また、自分だけの時間を持つことができる余裕と、自分だけの時間の大切さも悟らせてくれるでしょう。

一人でうまくやっていけないからといって、その補償心理で他の人との関係に執着してはいけません。また、ポストコロナ時代に、我々は必ず対面出合いをしなければならない、お互いに連結させることができるという執着を捨てなければなりません。我々が対面出合いをしなくても、我々の心は相互連結されているという信頼が重要だからです。

我々は他人と繋がりたいのです。しかし、同時に独立した自由な個人としての私自身も存在しなければなりません。我々が一人であることができることは、我々はまた、共にいることができるのです。

今、我々はコロナがなかなか終息せず長期化するにつれて、コロナが永久に終わらないような不安感で希望を失い、さらに無望感、憂鬱感に疲れていきます。専門家によると、コロナは早ければ来年後半に終息するそうです。ですから、まだ我々は、コロナトンネルを過ぎた時間よりも、残っている時間の方が長いので、辛抱強く心を備えることが重要です。コロナが長期化するとしても、我々はこのような時ほど、どうしようもないこの状況を受け入れなければなりません。

我々を変えることができないことは、受容する毅然たる態度を、我々を変えることができることは変える実践を行う勇気を、そしてこの両方を区別することができる知恵をもってコロナを眺めなければなりません。

しかし、いずれの場合にも、「コロナは、いつかは終わる。感染症が終わらない歴史はなかった。これもまた通り過ぎるだろう」という心構えが重要です。コロナが終息した遠くない将来に、我々は、お互いにどんなに大切な存在なのかを悟る良い機会になるでしょう。我々がお互いに希望となり、新たな希望が私たちに近づきます。

我々のすべては、心にトラウマを抱えて生きていく人たちです。我々の社会も、私たちの大韓民国も、さらに我々の人類も、社会的・歴史的トラウマがあります。したがって、今回のコロナ危機は、危険でもあり機会であります。我々は、不安を過度にもつことなく、コロナ予防行動規範をきちんと守らなければなりません。また、コロナの時間を、私自身を成長させる貴重な時間として、またお互いに配慮しお互いを応援する気持ちで迎えたときに、「コロナメンタルデミク」を克服することができます。

我々個人、我々の社会、さらに我々人類は、「コロナ後のストレス反応」ではなく、「コロナ後の成長」に進まなければなりません。

**힐링닥터 사공정규**

[2020東アジアの市民社会ボランティア国際フォーラム] East Asia civil society & volunteerism forum 2020  
パンデミック時代、市民社会組織の役割と責務 Pandemics period, Role and Responsibility of Civil Society

**コロナウイルス感染症2019（「Corona Virus Disease2019」）の不安、憂鬱をどう  
みましましょうか。**

司空正奎(サゴン ジョンギョ)  
医学博士/精神的健康科の専門医師  
東国大学医学部精神的健康医学科教授

スライド1

**힐링닥터 사공정규**

**ヒーリングドクターサゴンジョンギョが今日もあなたを応援します!**

彼は医学博士であり、精神健康医学専門医、精神人文学者、作家、コラムニストである。

東国大学医学部精神的健康医学教授、東国大学校心身医学研究所長、【社】大韓民国ヒーリング文化振興院理事長、  
【社】韓国生命連帯共同代表、【社】韓国自殺予防協会政策委員長を務めており、ハーバード大学医学部うつ病の臨床  
床研究員と客員教授、保健福祉部の韓国的憂鬱型標準診断評価指針の開発研究委員会委員長を務めた。うつ病の教科  
書の執筆陣に参加し、保健福祉部認証韓国型自殺予防教育プログラムである「見て、聞き、話す」開発陣にも参加し  
た。

うつ病を早期に見つけて治療して、自殺予防と生命尊重の文化や精神人文学を説いて、ヒーリングを通じた幸せ分か  
ち合いの文化が韓国全体に拡散されるように活発に社会貢献活動をする、うつ病専門医であり「精神文学者である。  
また、韓国小児青少年精神医学研究会長、「学校暴力克服のための精神の健康医学の医師委員会」の初代委員長、青少  
年の標準リードプログラム開発総研究責任者を務めており、現在、教育部の「ワイ【Wee】ドクター委員会」委員  
長、教育部「ヒーリングアベンジャーズ」の代表講師として「学生・保護者・教師のためのヒーリングトークコン  
サート」を進めており、学校暴力予防と幸せな学校文化造成のために活発な社会貢献活動をしている若者の精神医  
学専門の医師である。

著書には「幸せを釣ってくれる船頭」など10冊がある。



スライド2

## コロナ19に向い合せる.



2020年2月には, 大邱の象徴  
ソムン市場がドアを閉めた,

일일닥터 시공정규

- 2020年2月には, 大邱(テグ)の象徴であるソムン市場がドアを閉めた.
- 2020年2月18日, 大邱にコロナ19, いわゆる31番目の患者が最初に発生した. 以降, 大規模な地域の感染症に進行され, 大邱のコロナ19確診患者が抑えられない速度で拡散された.
- 2月29日, 大邱でコロナ19確診者数が2千人を超えつつ, 大邱コロナ19確診者の増加数が最高頂点に達した.
- 医師としての使命感と責任感を感じた. 「私の個人的な力は微弱だが, 私の医療サービスがコロナ19患者の方々の力になってほしい」という気持ちで, 2020年3月1日, 私はコロナ19患者のための医療サービスを大邱で始まった.

スライド 3

## コロナ19不安/憂鬱



コロナ19による不安/憂鬱は  
どの程度か?

일일닥터 시공정규

- 国民の47.5%が, コロナに起因する不安/憂鬱感経験.
- 大邱の場合, 65.3%が不安/憂鬱感経験.
- コロナ19のストレスが癌, 脳疾患, 心臓疾患など重症疾患の1.3倍.

出典: 京畿道研究院No.4142020515

コロナ19世代, 精神的健康元気かな

- 4月と6月, 9月に調査した結果, コロナによる不安/憂鬱感を経験したという回答は, それぞれ54.7%, 69.2%, 71.6%で現れる.

出典: インクルト&アルパコール

スライド 4

## コロナ19不安、異常 でしょうか？



現在, 私たちがコロナ19で苦しむ不安  
のほとんどは...

일일닥터 시공정규

- 不安はなじみないし, または脅威的な環境に適応しようとしたときに現れる最も基本的な反応であり, 不安は人生を破壊しようとする目的ではなく, 生存しようとする生存本能に起因したメカニズムである.
- コロナ19で苦しむ不安の多くは, 恐れる病理的なものではなく, 誰もそんなことができる, また, 通過の一般的な反応であり, 通常の反応である.
- 私たちがコロナ19によって苦しむ不安は, 不安に対する新たな解釈と受け入れを通じて創造的な動機と希望に進むことができる.

スライド 5

## コロナ19の不安、憂鬱、 どのように見るか？

果たして, 我々はコロナ19の  
不安, 憂鬱をどのように  
見なければならないのか？

일일닥터 시공정규

- コロナ19に対する適切なレベルの不安は, 我々にとってコロナ19の予防行動規範をよく守るべきし, コロナ19の感染防止と克服に大きな助けになる.
- ただし, コロナ19に過度の不安, 憂鬱は, 私たちの精神的, 身体的健康と社会的健康に役立っていないだけでなく, コロナ19の克服にも役立って, いくつかのポイントだけ言おうとする.
- もしそうなら, 果たして私たちはコロナ19の不安, 憂鬱をどのように見なければならないのか？

スライド 6

일일닥터 시공정규

코로나19의不安、果たしてそれほど心配することですか？

ただ「コロナ19, あまりに不安でないようにしてください」と言っても不安が軽減されないようで、いくつかのファクトに基づいて比較説明をしようとする。

- 比較ファクトの1：  
2018年統計庁の発表によると、2018年韓国は23,280人が肺炎で死亡したとする。
- 比較ファクトの2：  
統計庁の資料によると、インフルエンザによる直接の死者数は年平均40人という。また、インフルエンザの影響で死亡した事例までを含んだ死者数は年間2370人と推定されるという。

スライド7

일일닥터 시공정규

코로나19의不安、何がありますか？

「本人が周囲にコロナ19を伝播すれば ° ° °」  
に対しての不安

- コロナ19の予防行動規範をよく守れば、「コロナ19の周囲への感染伝播の懸念」は大きく心配しなくても良い。  
例) 韓国の前回の4.15総選挙では、約2800 万人が投票したが、投票によるコロナの確診者はゼロであった。
- それにもかかわらず、過度の不安をなくして、コロナ19の予防行動規範をよく守ろう。

スライド8



일일닥터 시공정규

コロナ19の不安、  
何がありますか？

「本人がコロナ19に  
感染されて  
治療がうまくできなければとか、  
または死亡していないか」  
に対しての不安

- もしかしたら、コロナ19にかかっても、80%は無  
症状で、軽症で自分も分からないほど、それだけ  
で過ぎて行くほど自然に癒されたり、または治療  
すればよいで、残りの20%ももちろん治療すれば  
よい。
- 韓国の医療陣の実力は世界最強である。韓国の医  
療保険制度は、病院・医院診療の敷居が高くない。  
国民の立場でも、患者の立場でも、世界で最も良  
い医療制度である。

スライド 9

일일닥터 시공정규

コロナ19の不安、  
何がありますか？

「本人がコロナ19に感染さ  
れて、周辺から  
非難の対象にされないだろ  
うか」  
に対しての不安

- もしコロナ19の予防行動規範をよく守ったにもかかわらず確診  
された場合、それは不可抗力的なものであり、誰も責めること  
はできない。
- 私が私の感染を全然予測することができない状態では、他の人  
に感染させようとする意図がなかったので、不必要な罪悪感か  
ら離れ、コロナ19の回復に専念するように必ず言いたい。
- もし確診者になったのを認知した時点から、自らコロナ19の  
予防行動規範を守ることは非常に重要である。
- もしかしたら、コロナ19の患者や確診者を非難する方がいる場  
合は、それを非難する人々の問題であって、コロナ19の患者や感  
染者が非難されるべき問題ではない。
- コロナ19の患者と確診者は、治療されるべき医学的患者であり、  
保護されるべき私たちの国民である。コロナ19の患者の迅速な  
快癒を応援しましょう。

スライド 10



일일닥터 시공정규

코로나19의憂鬱、  
何がありますか？

「コロナ19による  
いわゆる社会的距離を  
置くのと  
自己隔離などにより、  
孤独、孤立感を越えて  
憂鬱感を訴える」

- 「一人きり」を自ら直面し、自分自身を会えることができる貴重な時間として意味づけすれば、「一人きり」を孤独や孤立感、憂鬱感で感じるものが軽減されることができる。
- 「一人きり」を自ら直面し、自分自身に会う貴重な時間として意味づけすれば、むしろコロナ19による変化、私たちの日常が、他の人との関係の大切さを教えてくれているし、また、自分だけの時間を持つことができる余裕と、自分だけの時間の大切さ、そして自分自身に会う、成長過程になることがあります。

スライド 11

일일닥터 시공정규

코로나19의憂鬱、  
何がありますか？

「コロナ19が  
終わらないような  
不安に、  
希望を失って  
無望感、憂鬱感を訴える」

- 専門家によれば、コロナ19は、早くても来年後半に終息するという。だから、まだ我々はコロナ19のトンネルを過ぎた時間よりも残っている時間が長い。長い呼吸を持って、心を備えることが重要である。コロナ19が長期化されても、我々はこのような時ほど、どうしようもないこの部分を受け入れなければならない。
- 私たちが変えることができないことは収容できる毅然たる態度を、我々を変えることができることは変える実践できる勇気を、そしてこの両方を区別することができる知恵としてコロナ19を眺めなければならない。
- いかなる場合も、「コロナ19は、いつかは終わる。感染症が終わっていない歴史はない。これもまた過ぎて行く」。

スライド 12

힐링닥터 사공정규

**おわりに**

「今回のコロナ19の危機は  
リスク（危険）であり機会でも  
ある。」

私たちと私たちの社会、  
さらに、私たち人類は、  
「コロナ19後のストレス反応」でなく、  
「コロナ19後の成長」に  
進むべきである。」

- 私達はすべて心のトラウマを抱えて生きていく人であり、私たちの社会も、私たちの大韓民国も、さらに私たちの人類も、社会的、歴史的トラウマがある。
- 今回コロナ19の危機は、リスク（危険）であり、機会でもある。
- 私たちは、過度の不安なくコロナ19予防行動規範をよく守ろう。また、コロナ19の時間を自分自身を成長させる貴重な時間、そしてお互いを配慮して、お互いを応援する気持ちで迎えたときに、「コロナ19のメンタルデミク」を克服することができる。
- 私たちと私たちの社会、さらに私たち人類は、「コロナ19後のストレス反応」でなく、「コロナ19の後の成長」に進まなければならない。

スライド 13

힐링닥터 사공정규

ヒーリングドクターサゴンジョング  
 が、今日もあなたを応援します！  
 聞いてくださって  
 ありがとうございます。



スライド 14

## 3.2 韓国側特別報告

### 中国の市民社会組織による新型コロナウイルス感染症の対応措置

金 炳 徹 (KIM BYUNG-CHUL)

中国人民大学社会保障学科 教授

#### 1. はじめに

こんにちは、中国人民大学の社会保障学科で学生たちを教えている教授の金炳徹です。今日は中国で社会团体たちが今回の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) のために、どうしているかを見ることにします。

コロナが出始めてもう 10 ヶ月になってきています。10 月 20 日現在、中国には新規感染者数が 19 人に確認されました。特に、海外からの流入過程で確認された感染者は 11 人だったのです。



中国はコロナの発祥地として知られている武漢の封鎖から約 8 ヶ月後に、事実上の防疫終息を宣言しました。コロナが中国で発症しましたが、強い社会主義国家の統制力により、コロナ防疫を徹底して履行し、コロナウイルス感染拡大を抑えることに成功したように見えます。

中国でコロナの事態が鎮静され、9 月から 3 億人の学生が一斉に登校を始めました。また、9 月 8 日に、中国はコロナ防疫有功者の授賞式で、「過去 8 ヶ月余りの間、私たち（共産党）は、各民族と人民の結束を導いて、手に汗を握る伝染病対戦を行った」とし、「巨大な努力を傾けてコロナに対抗、闘争する大きい戦略的成果を上げた」と明らかにするとともに、実質的にコロナ終息を宣言したものと思われます。一例として、10 月 1 日の国慶節に全国的に 6 億 3 千万人が移動したと報道されました。最近、中国では中国内国民の防疫より海外流入の防疫に徹底しているといえます。

2019 年 12 月に中国湖北省の武漢市で原因不明の肺炎が集団発症して始まった後、中国全土はもちろん、周辺のアジア諸国と北米などで感染が広がりました。中国政府は 1 月 23 日から武漢をはじめ、中国の都市間の移動を禁止する「都市封鎖」など防疫措置を断行し、全世界にコロナが広がると、3 月 28 日から中国ビザ・居留証所持外国人の入国を暫定中断させました。

#### 2. 中国の社会团体のコロナへの対応措置

中国の社会团体のコロナ対応措置をみると、世界保健機関 (WHO) は、ヨーロッパ・北アメリカは、韓国、中国などのアジア諸国のコロナへの対応を学ばなければならないと強調しました。ワシントンポスト (WP) は、コロナの拡散を防ぐための市民社会の自発的な動きに注

目しました。コロナを契機に、韓国、中国などのアジア諸国の社会的協力方式が世界の注目を集めています。以下では、コロナ対応のために、中国社会団体の社会的貢献と役割がどうだったのかをみていきます。

### 1) コロナ防疫活動現場に直接参加

最初は、コロナ防疫活動現場で直接的に参加をした社会団体の現況です。コロナは極めて急速に中国全域に拡散し、コロナ発生初期、中国では、検査能力の限界ばかりでなく、医療資源が不足して、全面的な検査が困難でした。特にコロナの発生源である武漢がある湖北省の一部地域が、瞬く間に高いリスク地域に変わり、コロナ発生初期の短時間で、医療スタッフの数、マスク、防護服などの必須医療用品の深刻な不足問題が発生しました。これに対して、中国医師協会は、全国の医療従事者に積極的に防疫戦線に飛び込んでコロナ拡散防止と患者の治療に最善を尽くよう要請しました。

これにより、1月24日までに、全国各地域から集まった19の医療救護機関の人員25,500人が湖北省に派遣されて、武漢などコロナで大きな被害を受けた湖北省の地域をサポートして多くの成果を収めました。また、コロナ対応の第一線で戦っている医療機関従事者と警察消防職員に加えて、ボランティアたちがコロナ克服のための奉仕活動に率先参加しました。自発性と協力を特徴とするボランティア団体は、防疫当局の要望に積極的に呼応して、地域社会の多重利用施設と商店街などを訪問し、コロナ拡散防止のための消毒防疫奉仕活動を実施しました。

社会各界各層のボランティア活動団体は、地域の社会団体と協力して「ボランティア+コミュニティ社会団体」のモデルを形成しながら、地域住民のための体温測定義務化、情報登録、生活必需品の調達、防疫物資支援活動などに参加しました。また、ボランティア活動もネットワーク化・専門化の特技を生かして、地域間のボランティア活動を大幅に増加させ、多くの地域のボランティア機関が自主的に武漢など被災地を支援したり、「インターネット+ボランティア」モデルを使用して、ストレス、心理カウンセリング、防疫知識の広報など多様な形態のボランティア活動を展開しました。

2月3日の「武漢防疫作業青年ボランティア募集」には、募集12時間で7,000人の青年が志願しましたし、北京市の場合には、ボランティアが協力して「北京・湖北省 i will ボランティア団体行動」を展開し、5月中旬までの防疫奉仕ボランティアの数が2万人を超えました。また、上海市の場合には、青年ボランティアセンターが1月28日から毎日100人のボランティアを上海市駅に配置して、乗車人の体温検査を実施しました。また、地域社会奉仕団体も政府、役場と協力して、地域社会感染防止のため、多衆利用施設と商店街などでコロナ合同防疫作業を実施しました。

コロナ発症以来、このような緊急事態では、政府関連機関の迅速な対応や意思決定が必要でしたが、政策立案において、中央政府と地方政府との間で緊密なコミュニケーションと協力が不十分でしたが、社会団体のフラットな管理と高い柔軟性を特徴とする利点を生かし、意思決定の効率を実質的に高めることができました。また、社会団体の独立性はそれ自体の意思決定を介して、短い時間で、政府防疫管理システムの限界を補完することができました。

また、ウイルス検査と病歴監視を強化し患者治療の手順を体系化し、感染経路を効果的に遮断することを提案しました。1月28日に中国共産党中央宣伝部（中共中央宣傳部、中国共産党中央委員会の直属機関で共産党の思想や路線の宣伝、教育、啓発を担当）の傘下組織である中央文明班は、中国国内において、ボランティア連合会、共同でボランティア団体、ボランティアたちが積極的にコロナ拡散を防ぐことに積極的に参加するよう提案しました。

## 2) コロナ克服のために防疫物資空輸から資金支援まで

二つ目は、コロナ克服のため、防疫物資空輸から資金支援までの状況についてです。

インターネット上で個人が自発的に参加したり、各種の社会団体を通じて、湖北省を後援する寄付のブームが起きました。企業や有名芸能人はもちろん、一般国民の自発的な寄付が続いたのです。台湾出身の歌手周杰倫が新型コロナ防疫のために300万元（約5億ウォン）を寄付するなど、芸能人や企業からの寄付も相次ぎました。

中国の国民歌手のハンホン（韓紅）が運営する「北京市ハンホン爱心慈善基金会」はハンホンの人気と財団の信頼性に支えられ、1月24日から31日までの一週間、1億4,000万元（約240億ウォン）を集めました。芸能人200人をはじめ、数多くのネット市民は「募金と支出の両方が透明である」として、彼女に向かって喜んで暖かい応援を送りました。新型コロナが発症した中国湖北省武漢住民を支援するためのお金だったのです。この他にも「北京市シャオミ（小米）公益基金会」、「水滴集め公益基金会」など16個の公益基金機関も募金に積極的に出ており、地域社会ボランティアチームと連携して防疫物資と資金の引受と受付作業に参加しました。

6月15日までに、北京市は、防除防疫活動に関連して、14億7千万元、906万件（人民元で3億8000万元）相当の物品の寄付を受けるのに成功しました。また、中国湖北省で新型コロナウイルス感染症の拡散後に集まった寄付金は、なんと1兆ウォンを超えており、湖北省が受けとった寄付物品は、N94マスク50万個、その他の使い捨て医療用マスク185万個、保護眼鏡7万個、医療用防護服2万7千着、その他の物品746万件に達しました。

特に「インターネットプラス（internet plus、インターネットの革新的な成果を経済・社会のすべての領域と密接に組み合わせて、技術の進歩、効率性の向上、組織改革を推進すると同時に、实体经济の革新力と生産性の改善）」を通じて「指先公益」活動を展開して、優れた成果を上げたりしました。

## 3) コロナを克服するための専門的なサービスの提供の先頭に

つづいて、コロナを克服するための専門的なサービスの提供の先頭に立った社会団体を見ることが出来ます。

専門性と現場経験を備えた社会団体は、専門的なサービスを提供することでコロナ拡散防止に力を加えました。このような社会団体は専門・効率性が高く、自分の能力を発揮して、サービスを効率的に提供することができます。中国心理学会、中国社会工作協会などの専門機関が、多数の医療機関と合同で心理サポートのチームを構成して、住民たちに無料で心理相談を提供しました。

杭州ズブバオ（支付宝、アリババのオンラインショッピングモールである「タオバオ」で物品代金を決済するために使用されるオンライン決済システム）の研究開発部、北京中関村社会团体などの大型科学技術研究開発チームは、感染症の管理のために、コロナ管理スマートフォンのアプリの開発に成功しました。このアプリを介して、コロナ感染者の移動を管理するようになりました。

今回のコロナ防疫活動の過程では、「デジタル化エンパワーメント」が効果的にコロナの拡散防止に貢献しました。エンパワーメントの意味を簡単に言えば、組織の現場のメンバーに業務裁量を委任して、自主的、主体的なシステムの中で、人や組織の意欲と成果を引き出すための「承認」、「権限移譲」のことです。単に権利を与えるというよりは、権限を受けた人が状況をコントロールしながら、自主的に仕事をするようにすることが重要です。

例えば、コロナで隔離された従業員の効果的な職場復帰のためにデジタル化エンパワーメントは、職場復帰従業員の健康を徹底的に監視し、市民の移動便宜を図るために活用されました。また、「グリーンコード」と呼ばれるルウィマ（绿码）は、湖北省政府が、本人と周りの人の健康に異常がない者に限り発行する一種の通行証明書です。グリーンコードは、中国全土で通用し、グリーンコードを発行された人には、自己隔離、あるいはコロナと関連して別の診断を要求されないのです。

### 3. 中国社会团体のコロナ対応措置の限界

しかし、このような努力にもかかわらず、中国社会团体のコロナの対応措置には限界がありました。

コロナのような国家的危機状況では、各機関と社会团体の危機対応方式に空白があることが明らかになりました。特に今回のコロナは、2004年 SARS（重症急性呼吸器症候群）の後中国で発生した大規模な突発悪材料のように、社会团体は、まだ対応の経験が不足しているため、いくつかの問題点が明らかになりました。

#### 1) 対応能力の未熟

一つ目は、対応能力の未熟です。コロナの発生初期、社会团体は爆発的に押し寄せる大規模な寄付物品と防疫物資を管理・対応する人員不足で、多くの困難を経験しました。北京市の某財団秘書官はインタビューで、「寄付物品数百個が押し寄せると、業務の遂行に支障が発生して、従業員は寄付の領収書を適時に発行できず、寄付物品情報落ちや露出などの問題が生じるしかない」と述べました。

この他にもいくつかのボランティア団体が、進んで資源を提供し、コロナウイルス感染拡大の予防及び拡散防止のために現場で協力しました。これらのボランティアは、防疫現場で熱意を尽くしたのですが、専門分野の経験不足で、効率的な組織運営が出来ず、意思疎通が不十分で多くの混乱を招きました。

一例として、コロナの感染拡大に伴う中国大陆の封鎖措置は、1月23日に武漢市で先に施行されましたが、1月24～28日の間に、合計1,627台の外地ナンバープレートの車とボランティアが湖北省で奉仕活動に参加しており、広東省、雲南省などの地域でも、医療物品を長



距離輸送車両に積んで防疫活動を支援しようとしたのですが、武漢高速道路の料金所は武漢に集まる車で混雑がさらに激しくなりました。

## 2) 指導力不足

二つ目は 指導力不足です。社会団体は、独立性と自律性という特徴を持っています。これらの特徴により、社会団体は、緩やかな連帯体を構成することもあります。しかし、コロナのような大型突発悪材を克服するための能力を集めなければならない時期では、政府は、社会団体の効果的なリーダーシップ、具体的な奉仕活動計画と迅速かつ円滑な意思疎通のメカニズムを必要とします。

今回のコロナの事態が突発的に起き、政府のリーダーシップが正常に動作しなかったのも、いくつかの社会団体が、具体的なボランティア活動の方向を失って、その効果も微々たることになったという指摘もあります。政府と社会団体間の協力関係が不明な状況で、社会団体に対する政府の具体的な要望がないため、社会団体は自主的動員、自己管理と調整にとどまりました。

伝統的な中国の国家統治体制の下で、政府は、「指導者」の役割を担って各社会団体の能力を動員し、社会事業を一括して管理しています。2月5日に、中国政府は、「全国業種協会商工会議所がコロナ防疫・防除作業をよりよくするための指導意見」を発表し、各業種協会と商会の事業を簡単に規定しており、2月10日、社会団体管理局と社会団体サービスセンターは、共同で、「民政府主務省庁の社会団体が防疫・防除作業に示範的な先導役遂行に関する通知」を発表し、社会団体の防疫・防除作業への参加を要請しました。

「社会団体のコロナ防疫活動に関するアンケート」を実施した結果、アンケートに応じた社会団体の48.21%は「何をすべきか分からない」、「救護の対象者が見つからない」、「寄付金が不足している」という理由で、コロナ防疫活動を行うことができないか、または効率が低かったと答えています。

## 3) 社会的な信頼性の不足

三つめは、社会的な信頼性の不足です。これは、今回のコロナの事態で明らかになった新たな問題ではなく、長い間蓄積されてきた問題です。社会的信頼性の不足とは、すべての社会団体に対する国民の信頼度が高くないということなので、彼らが展開した活動が認められないため、団体の継続的な活動が困難になるということを意味します。

今回の緊急コロナウイルス感染拡大で、社会的信頼性が脅かされた代表的な社会団体は、中国赤十字です。2011年に「クォメイメイ(郭美美)事件(赤十字代表を詐称して公金を横領して贅沢な生活を楽しんだ女性による中国公益慈善の信頼の危機をもたらした事件)」で、中国人は慈善事業機構と寄付金活用の真正性について疑問をもち始めました。

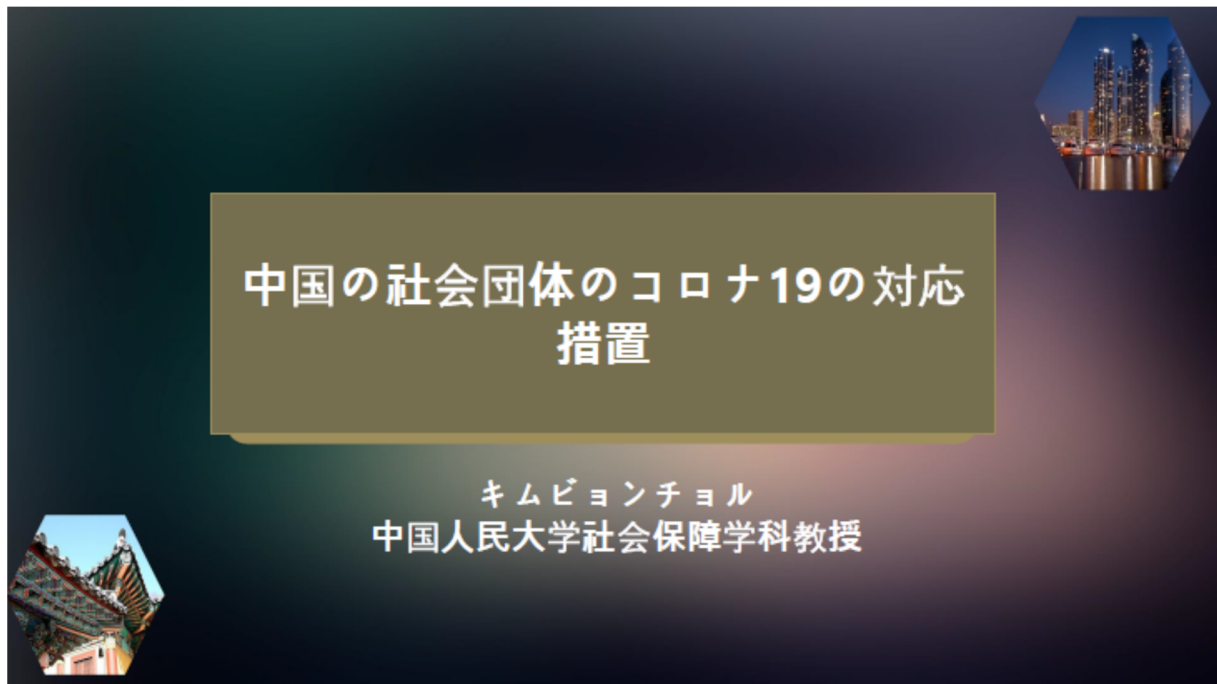
今年2月4日に湖北省紀律検査委員会は、湖北省赤十字会の3人の幹部が、支援として受けたお金と物資を分配する過程で、重大な規律違反行為を行ったとして、すぐにこれに対する調査と検証に着手しました。湖北省赤十字が代表な例ですが、いくつかの社会団体の業務怠慢、横領疑惑と腐敗行為などで、多くの国民は赤十字をもはや信頼しておらず、「実際にお

金を送ることができる他の慈善団体を探そう」と語りました。

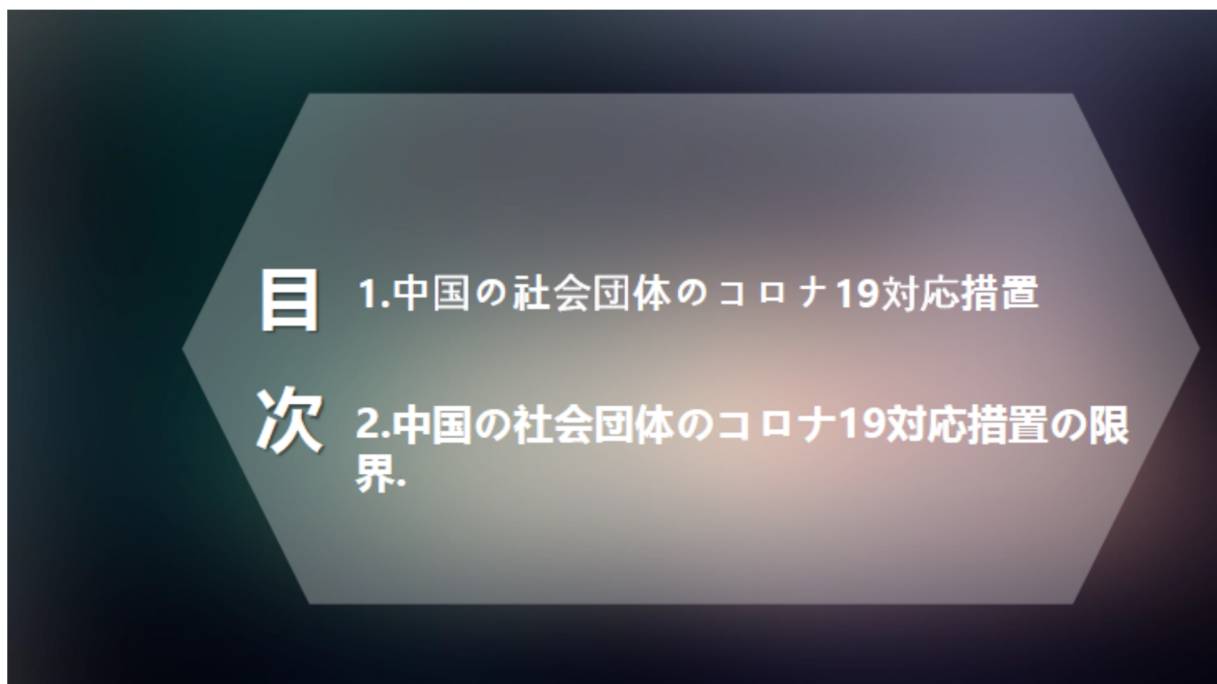
#### 4. おわりに

これからは、政府と社会団体が、社会活動に参加している過程で、緊急時対応システムを構築しなければなりません。政府が主導する方式で、企業、社会団体、個人など様々な社会主体が有機的に結合して多方面に交流し、コロナウイルス感染症の予防及び拡散防止のために努力を傾けなければならないのです。

社会団体は、コミュニケーションと透明性の強化を通じて、社会的信頼性を回復し、社会活動に対する国民の理解と支持を得るように努力しなければなりません。



スライド1



スライド2

# 1

## 中国の社会団体のコロナ19対応措置

スライド3



### 1) 防疫活動 現場で 直接的な 參與

- コロナ19発生初期検査能力の限界に加えて、医療資源が不足して全面的な検査不十分。
- 中国の医師協会は、全国の医療従事者に、積極的に防疫戦線に飛び込み、コロナ19拡散防止と患者の治療に最善を尽くしてくれることを要求します。
- ボランティア団体は、防疫当局の訴えに積極的に呼応して、コミュニティの利用施設と商店街などを訪れ、コロナ19拡散防止消毒防疫奉仕活動を実施。
- 「ボランティア+コミュニティ社会団体」のモデルを形成しながら、地域住民のための体温測定が義務付けられ、情報登録、生活必需品の調達、防疫物資支援活動などに参加します。
- 「インターネット+ボランティア」モデルを通じ、ストレス、心理カウンセリング、防疫知識の広報など多様な形態の奉仕活動を展開（北京・湖北省i willボランティア団体行動、上海市青年ボランティアセンターなど）。

スライド4



## 2) 防疫材料空輸から資金支援まで

- ・ インターネット上で、個人が自発的に参加したり、各種の社会団体を通じて湖北省を後援する寄付のブームが形成する。
- ・ 台湾出身の歌手チャウジェルンが、新型コロナ防疫のために300万元を寄付するなど、芸能人や企業からの寄付。
- ・ 中国国民歌手であるハンホンが運営する「北京市ハンホン爱心慈善基金会」は、一週間1億4,000万元を募金。
- ・ 16個の公益基金機関は、募金活動に参加し、地域社会のボランティアチームと連携して、防疫物資と資金の引数および受付作業に参加する。
- ・ 北京市は、防除防疫活動と関連し、14億7千万元、906万件（人民元で3億8000万元）相当の物品を寄付受ける。

スライド5



## 3) 防疫物資空輸から資金まで

- ・ 専門性と現場の経験を備えた社会団体は、専門的なサービスを提供することでコロナ19拡散防止に力を足し。
- ・ 中国の心理学会、中国社会工作協会などの専門機関が医療機関と合同で心理支援チームを構成し、「コロナ19対応心理健康支援行動」を展開。
- ・ 従業員の効果的な職場復帰のためにデジタル化エンパワーメントは、職場復帰従業員の健康を徹底的に監視し、市民の移動便宜をサポートするのに利用した。
- ・ 「健康コード」と呼ばれるコロナ19管理スマートフォンのアプリ開発に成功して、コロナ感染者の移動を管理する。
- ・ 湖北省政府が、本人と周りの人の健康に異常がない者に限り、「グリーンコード」を発行。

スライド6

# 2

## 中国の社会団体のコロナ19の 対応措置の限界

スライド7



### 1) 対応能力の未熟

- 社会団体は、爆発的に押し寄せる大規模な寄付物品と防疫物資の管理・対応人員不足で多くの困難を苦しむ。
- ボランティアは、防疫現場での情熱にもかかわらず、専門分野の経験不足で、効率的な組織運営が不十分で、意思疎通が不十分で、多くの混乱を招く。
- 外地から長距離輸送車両に防疫活動を支援しようとしたが、高速道路の車の混雑を招く。

スライド8





## 2) ) リーダーシップの欠如

- 政府は、社会団体に対して効果的なリーダーシップ、具体的な奉仕活動の計画と、迅速かつ円滑な意思疎通のメカニズムが必要。
- 政府のリーダーシップが正常に動作しない場合は、いくつかの社会団体が、具体的なボランティア活動の方向性を失い、その効果も微々たるなったという指摘。
- 政府と社会団体間の協力関係が不明な状況では、社会団体に対する政府の具体的な要望がない、社会団体は自主的動員、自己管理、調整にとどまっ。

スライド 9



## 3) 社会的な信頼性の不十分

- 2011年に「郭美美 事件」で、国民は慈善事業機構と寄付金活用の真正性について疑問始めた。
- 2月4日に湖北省紀律検査委員会は、湖北省赤十字会の3人の幹部が支援を受けたお金と物資を分配する過程で重大な規律違反行為が生じ、すぐにこれに対する調査と検証に着手。
- いくつかの社会団体の業務怠慢、横領疑惑と腐敗行為などで多くの国民は、赤十字をもはや信頼しておらず、「実際にお金を送ることができる他の慈善団体」を探そうとする。

スライド 10

### 3.3 日本側特別報告

#### コロナ感染症拡大と寄付動向

岸本 幸子 (SACHIKO KISHIMOTO)

公益財団法人パブリックリソース財団 共同創設者・専務理事

皆さん、こんにちは。パブリックリソース財団の岸本です。パブリックリソース財団では、本年4月以来8月末までの間に、新型コロナウイルス感染症に係る緊急支援の基金を創設し、総額 1,033,720,051 円の寄付を頂き、480,029,579 円を助成しました(8月31日現在)。本日はその経験にもとづき、コロナ感染症拡大の寄付に与えた影響について、ご報告します。



#### 1 パブリックリソース財団（以下、PRF）の概要とその特徴

PRF は、内閣府認定の公益財団法人で、2013 年 1 月に設立されました。日本における寄付文化の推進をミッションとしており、社会貢献の志のある個人や企業の寄付を受け入れ、社会課題の解決に取り組む優れた NPO や社会起業家に助成し、よりよい社会づくりに貢献することを目指しています。

PRF は助成財団としても従来の助成財団とは異なる特色をもっています。従来の助成財団が自らの基本財産を原資として助成金を配分してきたのに対し、PRF は個人・企業・団体から寄付の提供を受け、その寄付をもとにオリジナル基金を創設するという仕組みを創ってきました。オリジナル基金では、寄付者の希望に沿って、基金ごとに助成制度を新たに設計し、公募、審査、助成を実施しています。PRF は寄付者と NPO をつなぎ、信頼感、やりがい、手ごたえのある寄付を目指しています。

#### 2 コロナ関連の寄付の動き

日本では、コロナ関連の寄付は2月頃から徐々に、最初は医療支援などから始まりました。次に2月26日の公演・イベントの自粛要請により休業したライブハウス支援などが始まりました。初期のステージでは「感染拡大防止」が中心のテーマで、それ以外の寄付募集は出足が鈍い状況でした。

しかし、3月にはいり、休校措置、営業自粛、在宅勤務といった動きが出始めたことで、感染拡大防止だけではなく、シングルマザー、生活困窮世帯の子どもたち、障害者などの社会的弱者への影響が大きいということで、ファンドレイジングが始まりました。

PRF でも、3月2日の政府による全国の小中高校に対する臨時休校の要請をきっかけに、経済的に困難な家庭の子どもたちへの支援が急務であると考え、子ども支援団体を支援する募金の呼

びかけを始めました。外資系証券会社のゴールドマン・サックス社がこの要請に応じてくれ、最初のオリジナル基金である「ゴールドマン・サックス緊急子ども支援基金」が創設されました。2020 年 4 月 7 日に東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、福岡の 7 都府県に緊急事態宣言を出され、4 月 16 日に対象が全国に拡大するなか、同基金は 4 月 13 日から公募を開始し、5 月には最初の緊急助成金を子ども支援団体の手元に届けることができ、続いて大和証券グループ等の支援による「子ども支援団体等緊急支援基金」も立ち上がり、6 月には同基金の助成金の交付を行いました。

### 3 コロナ給付金寄付プロジェクト

転機は、4 月に、政府の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」として一人 10 万円の特別定額給付金の一律給付が決まったことでした。総額 12 兆円にも上るこの給付金を富裕層も受け取るようになるため、「受け取って、寄付をしよう」という声が政治家、メディア、著名人の間で出るようになりました。

この状況を受けて、PRF では、5 月 8 日から「コロナ給付金寄付プロジェクト」として寄付のプラットフォームを構築しました。つまり、募金を集めることについて実績のあるヤフー株式会社、日本最大級のふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」を運営する株式会社ト ラストバンクという二社と、助成金を交付することに専門性のある PRF が協働して、212 名にのぼる発起人とともに、取り組みを展開したのです。クラウドファンディングサイトと 助成財団が協働して両者の強みを活かすことで、募金集めと助成金の交付を、より効率的効果的に行うという、新たな仕組みでした。PRF が公益財団法人として協力することで、寄付者に対して税制優遇のメリットを提供することもできます。このプラットフォームでは助成金の対象分野を複数提示して、寄付者が支援先を選択できるようにしました。医療分野、福祉・教育・子ども分野、文化・芸術・スポーツ分野、中小企業支援分野という 4 つの支援対象分野をもったことで、医療機関、アーティストやアスリート、中小企業や個人事業主といった幅広い支援対象を寄付者に提示することができるようになりました。

同プロジェクトには、9 月 16 日までに 272,266,072 円 49,276 件の寄付が寄せられました。特徴的なのは、新規にアカウントをつくって寄付する人が多くいることです。つまり、いつもは寄付しない人が寄付をする。あるいは、いつもは団体に直接寄付する人がクラウドファンディングを通じて寄付をするという状況が生まれてきています。

8 月までの間に、各分野に対し、総額 188,569,023 円、135 件の助成をすることができました。

クラウドファンディングサイトで資金を調達し、PRF が助成財団として実際の支援先の公募と選定を行うというパターンの取り組みは、その後 4 つのアート支援基金（舞台芸術を未来に繋ぐ基金＝Mirai Performing Arts Fund、アーツ・ユナイテッド・ファンド、MusicCrossAidーライブエンタメ従事者支援基金、Dress farm 2020 基金）で実施することとなりました。2 月 26 日に端を発した公演やイベントの自粛要請により、様々な形のエンターテインメント及び芸術活動が中止や延期を余儀なくされ、文化の灯が消えるのではないかという危機感が高まりました。これらの基金を設立し、寄付を呼び掛けると、アーティストのファンを始めとして、これまで寄付をしたことのない人たちが、呼びかけに応じてくれました。

#### 4 コロナ感染症が民間寄付に与えた影響

10 万円給付金は、これを活用して寄付をしたいという新たな寄付者を掘り起こした効果がありました。株式会社トラストバンク「10 万円特別定額給付金に関する調査」(株式会社 PR TIMES) の意識調査によれば、給付金を使って、新型コロナウイルスにより経済的に影響を受けた個人、企業・団体、地域への支援をしたいかと尋ねたところ、4 割以上の方が支援したいと回答しています。

しかし、新型コロナでは、災害時の「義援金(義援金受付団体に集まった寄付金で、被災者一人ひとりに配られる見舞金)」のように分かりやすい寄付先はありません。そのため、自分で「選択して寄付する」ということをしなければならないという状況が生まれています。どこに寄付すればよいか分からない人達に向けて、オンライン寄付のプラットフォームやクラウドファンディングサイトでの寄付が増加しました。

新型コロナの影響は、特に経済面でこれから大きな影響があり、3-4 年は回復が困難だという見方もあります。今はかろうじて内部留保で耐えている企業が存続できなくなる恐れや、貯蓄では対応できなくなる家計も増えていきます。こうした状況下では、政府の役割はとても重要で、政府だからこそできる大規模なセーフティーネット支援が期待されます。従って、民間寄付は、政府の手の届かないところ、見過ごされがちな課題へ、目的を絞って投資されることが益々必要になると思われます。

PRF は、コロナ禍において、見過ごされがちな課題、光の当たらない被害者を守るために、寄付者に適切な情報を届けることに、今後も力を入れていきたいと考えております。PRF が小さな財団であったにも関わらず、今回短期間に多くの緊急支援基金を実施できたのは、寄付者の熱い想いと、多数の外部専門家の協力、審査委員の深い知見のおかげに他なりません。深く感謝する次第です。今後もこれらのステークホルダーとの協働を通じ、機動性の高い市民財団として活動をしていきたいと思っております。

# コロナ感染症拡大と 寄付動向

公益財団法人パブリックリソース財団  
岸本幸子

スライド1

## 公益財団法人パブリックリソース財団～「意志ある寄付で社会を変える」～

全国および海外からの市民や企業のご寄付をもとに、幅広い公共的分野の社会を良くする活動に投資する、日本で最初の全国規模の市民財団。2000年に非営利中立のシンクタンク、パブリックリソースセンターとして活動開始。2013年1月に寄付推進の専門組織として、内閣府認証を受け、公益財団法人として再スタート。2020年3月までに累計16億5,000万円を超えるご寄付を頂き、年間200以上の団体の支援に取り組む。

所在地：東京都中央区 理事長：久住 剛

2019年度経常費用合計額：316百万円（うち助成額220百万円）

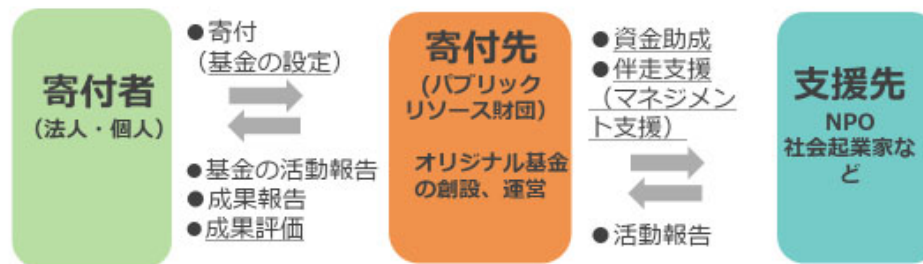
フルタイムスタッフ：6名、非常勤4名

専務理事 岸本幸子（きしもとさちこ） 共同創設者、専務理事

民間企業、シンクタンク勤務を経て、ニューヨークの資金仲介組織で、ファンドレイズや助成事業に経験し、帰国。パブリックリソースセンター、パブリックリソース財団の創設に参画。公益法人協会、日本ファンドレイジング協会、市民社会創造ファンド等複数の非営利法人で理事。

スライド2

## パブリックリソースをめざす寄付 ～信頼感、やりがい、手ごたえのある寄付～



3

スライド3

## コロナ禍と寄付の動き

- 2月頃から医療支援寄付が始まる
- 2月26日公演やイベントの自粛要請  
⇒ 休業したライブハウス支援など
- 初期は「感染拡大防止」が中心、それ以外の寄付募集は出足が鈍かった
- 3月 休校措置、営業自粛、在宅勤務奨励  
⇒ 感染拡大防止だけではなく、生活困窮者や社会的弱者の支援、子どもたちへの教育支援などの募金始まる
- 4月 一人10万円の特別定額給付金の一律給付  
⇒ 「受け取って、寄付をしよう」

4

スライド4



## ■パブリックリソース財団の新型コロナに対応する基金

| 基金名                           | 概要                            | ステータス          | 寄付金額        | 総助成金額       |
|-------------------------------|-------------------------------|----------------|-------------|-------------|
| 子ども支援団体等緊急支援基金                | 子ども支援団体等の事業継続や組織終了運営を支援       |                | 14,062,205  | 11,294,400  |
| ゴールドマン・サックス 緊急子ども支援基金         | 生活困窮家庭の子どもたちやその家族を支援          |                | 150,010,250 | 87,446,203  |
| アーツ・ユナイテッド・ファンド               | 芸術文化活動の個人の担い手を支終了支援           |                | 17,641,280  | 15,200,000  |
| 舞台芸術を未来に繋ぐ基金                  | 舞台芸術に携わる人・団体等を支援              | 継続(第1回助成済み)    | 39,651,753  | 30,791,712  |
| コロナ給付金寄付プロジェクト                | 10万円特別給付金等の寄付を原資に4つの分野において支援  | 継続(第1回、2回助成済み) |             |             |
| -医療分野助成基金                     |                               |                | 103,637,977 | 81,069,942  |
| -福祉・教育・子ども分野助成基金              |                               |                | 54,975,976  | 47,046,116  |
| -文化・芸術・スポーツ分野助成基金             |                               |                | 28,391,943  | 25,062,000  |
| -経営困難に追い込まれた中小企業分野助成基金        |                               |                | 45,932,098  | 30,391,240  |
| Dress farm 2020基金             | 医療従事者とエンタテインメント従事者を支援         | 継続(第1回審査中)     | 9,761,966   |             |
| MusicCrossAidライブエンタメ従事者支援基金   | ライブエンタメ従事者を支援                 | 継続(第1回審査中)     | 107,530,579 |             |
| J-Coin 基金                     | 医療機関、子どもたち、生活困窮家庭、学生、地域活性化を支援 | 継続(第1回、2回助成済み) | 507,100,000 | 146,727,966 |
| 手間いらず観光応援基金                   | 宿泊業を営む中小企業・個人事業主を支援           | 継続(第1回助成済み)    | 10,000,000  | 5,000,000   |
| ゴールドマン・サックス 緊急子ども支援基金 第2フェーズ  | コロナ禍の子どもと家庭の心のケアを支援           | 継続(公募中)        |             | —           |
| 大和証券グループ未来応援ボンド も支援団体サステナブル基金 | 感染症や災害に向け子ども支援団体のレジリエンス向上を支援  | 継続(公募予定)       |             | —           |

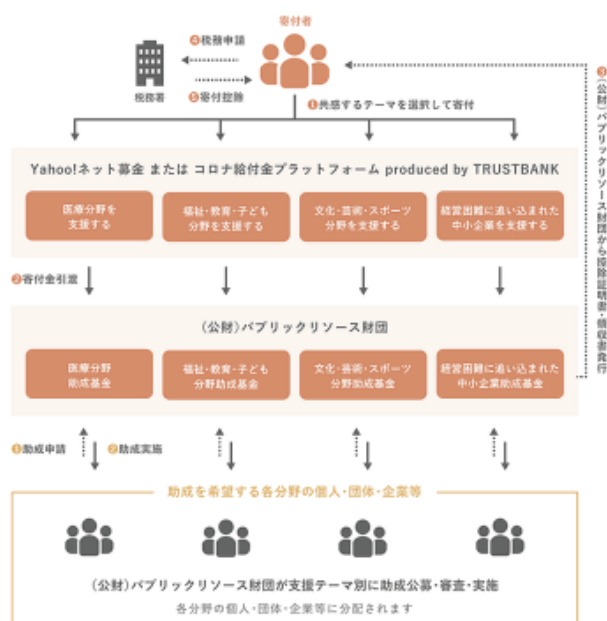
※2020年8月31日現在

5

スライド5

## コロナ給付金寄付プロジェクトの仕組み

### お金の流れ



スライド6

コロナ給付金寄付プロジェクトの4つの助成分野



スライド7

コロナ給付金寄付プロジェクト  
総額188,569,023円、135件の助成（8月末現在）

|              | 医療分野       | 福祉・<br>教育・<br>子ども分野 | 文化・<br>芸術・<br>スポーツ<br>分野 | 経営困難に<br>追い込まれ<br>た中小企業<br>分野 | 合計          |
|--------------|------------|---------------------|--------------------------|-------------------------------|-------------|
| 総助成金額<br>(円) | 81,069,667 | 47,046,116          | 25,062,000               | 35,391,240                    | 188,569,023 |
| 総助成件数        | 18         | 28                  | 41                       | 48                            | 135         |

スライド8

## コロナ感染症が寄付に与えた影響

- 10万円給付金、アート系募金は、新たな寄付者を生んだ。
- 寄付先を自ら選んで寄付する機運が高まった。
- オンライン寄付のプラットフォームやクラウドファンディングサイトでの寄付が増加
- 長引く経済危機のなかで、今後も支援ニーズは大きく、政府による大規模なセーフティネットは重要
- 寄付は、政府の手の届かないところ、見過ごされがちな課題を支援する。

スライド 9

ご清聴ありがとうございます。

スライド 10

### 3.4 中国側特別報告(資料のみ)

資料

#### 伝染病予防及び統制の社会的力量

成都市チョンドイユシオペラ共同体開発センター

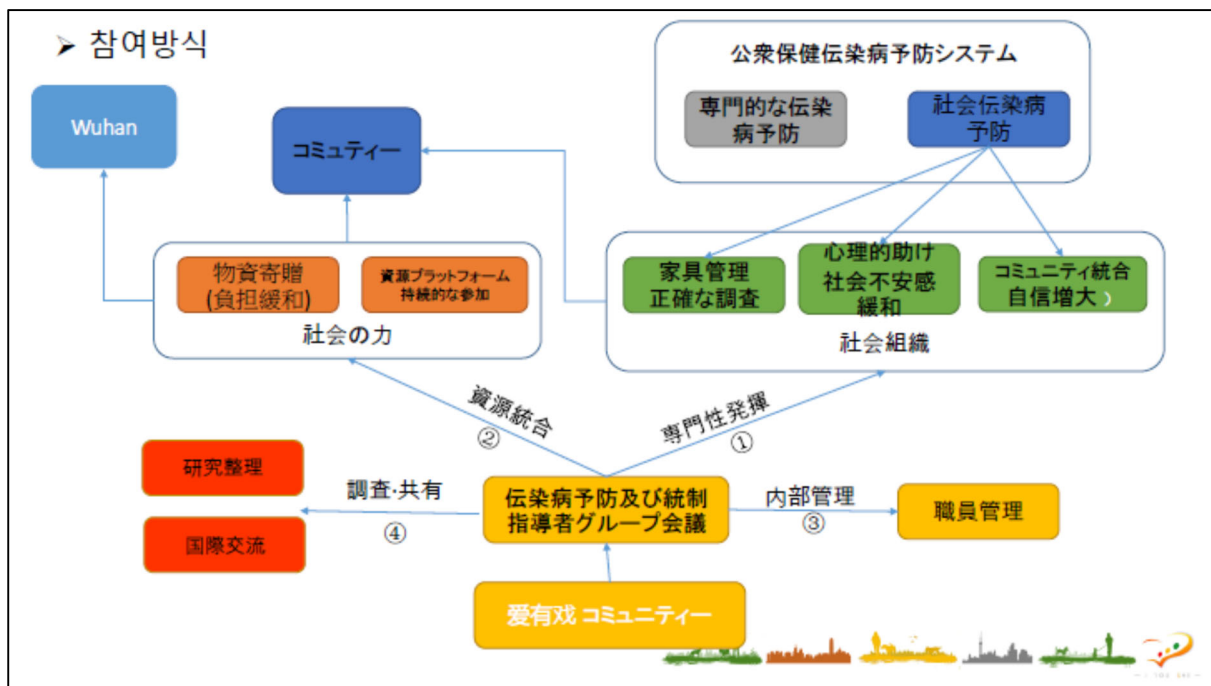
主任 劉 飛 (FEI LIU)



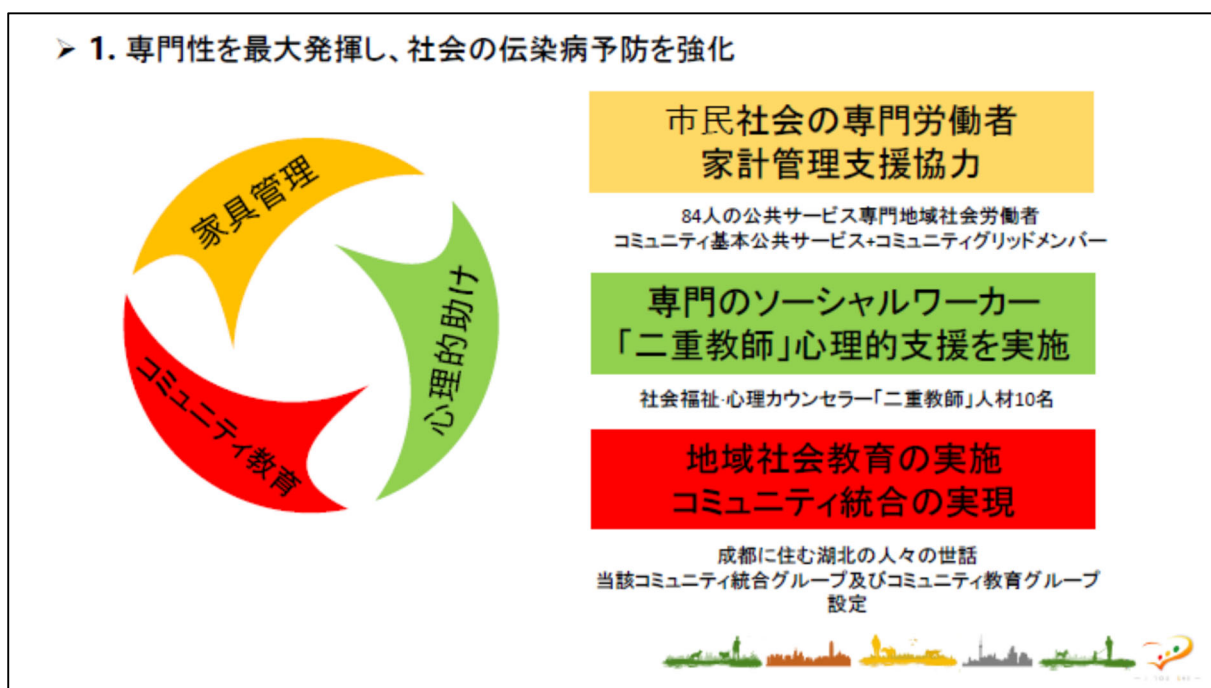
スライド 1



スライド 2



슬라이드 3



슬라이드 4



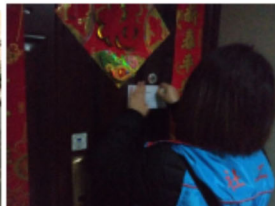
(1) 専門地域労働者世帯管理支援協力



統計によると、1月24日から3月31日までの間に3886組が感染症予防に参加し、1969,197組が家計管理サービスを実施した。道路、地域住民、警察との共同協力の結果、5万3370世帯が移転し、10460世帯が電話調査を確認し、2万5929組が追跡調査を受けた。41,408件の広報資料の配布と掲載、年間14,976世帯の点検、1711件の企業申告処理計画と7027件の各種証明書の取り扱い。



スライド 5



スライド 6



(2) 「二重教師」に心理的支援を提供するプロのソーシャルワーカー

ソーシャルワーカー  
心理学者

「二重教師」  
チーム編成

支援ホット  
ライン開設

社会  
心理的支援  
サービス開始

China Social Work Federation  
チームに加入、Ali Healthプ  
ラットフォーム参入。  
一線の地域社会における伝染  
病予防勤労者と一般人のため  
の心理相談及び心理支援  
サービスを提供しています。

1月28日開通  
成都初の伝染病  
ケア及び救助支援ホットライン

1月24日～3月31日 隣人助け  
合い延べ7856人 現場  
延べ248人  
オンライン延べ人員7608

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>X 全国民政部门广泛组织动员社会工作...<br/>2月13日</b></p> <p>成都看：下周一《关于做好全市社会组织参与新型冠状病毒疫情防控工作指南》，发出《致全市社会工作者的一封信》；发动社会工作者和志愿服务者社会力量参与疫情防控和救援。编成《成都市社会工作者参与新型冠状病毒疫情防控工作手册》（第一版）；《成都市新型冠状病毒疫情防控工作指南》（第一版）；《成都市新型冠状病毒疫情防控工作指南》（第二版）。整合全市资源参与疫情防控，组建“社工+志愿者”联动服务，开展社区心理支持、心理辅导、宣传引导等专项服务对一线工作人员、居民进行心理疏导。</p> <p>2月13日，全市累计有240家社会组织、4.4万人次参加社工、11万人志愿服务参与疫情防控工作，协助排查375万人，发现疫情病例20例。市社会工作协会自27日起每天编辑二期专报，与西博城疾控中心联合开展疫情防控—理卡师工作。成都市社会工作服务中心—建康路60号居家社工组成立心理援助队伍。成都市爱布社区发展中心—张强律师和社区给予支持，向成都市300多个政府部门、街道、社区、社会团体、企业捐赠物资3.4万件。</p> | <p><b>X 歌曲：援援不断<br/>2月20日...</b></p>  <p>歌曲：援援不断<br/>四川广播电视台文艺频道 2020-02-08</p> |  <p><b>成都ハイテクテレビ</b></p> <p>中国社会工作<br/>1月29日</p> <p>成都市爱布社区文化发展中心</p> <p>积极配合成都市街道办事处工作，做好疫情防控的“后勤”。<br/>1月28日，大年初一，根据四川省启动突发公共卫生事件一级响应，要有成都市2020年春节期间返乡农民工服务保障工作，积极配合成都市武侯区火石坝镇、簇桥、金花三个街道办事处做好突发性公共服务工作，对家庭、商店、酒店、民宿等进行逐户登记，在院落/小区张贴《就武汉返乡人员一封告知书》。成都市疾病预防控制中心中心通知》等宣传单。同时，家庭进入产非管理工作包括人员流动调查、体温测量和宣传普及防疫知识。截止1月27日晚22时，爱布街72名社区网格员、社区工作人员、民警、入户23939户。</p> <p>人民报 有品质的新闻<br/>成都高新区：多方聚力打赢心理防疫“战”<br/>日前，新型冠状病毒感染的肺炎疫情防控工作进入关键期。抗击疫情，心理疏导和支持也至关重要。2月2日，记者获悉，为了做好疫情防控，打赢心理防疫“战”，成都高新区多方聚力，联合社会组织开通疫情关爱援助热线助阵，党建引领组建社区专业心理疏导队伍，全力做好</p> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

78

### (3) コミュニティ教育の実施やコミュニティ統合の実現

ダウンジャケット、果物、  
使い捨て下着など生活物品提供

地域居住者の世話



オンライン社会事業を積極的に遂行

コミュニティ統合グループ及びコミュニティ教育グループ  
構成

オンライン伝染病科学普及等の講座開設

スライド 9

## ➤ 2. 資源統合、伝染病防止物資統合サービス拡充

### (1) 社会資源の統合及び防疫物資の準備

100万元以上



深セン公益財団10万元、正論公益財団は3万元、南都公益財団は5万元を支援し、愛有希と李昌開発ネットワークが成都地域社会で伝染病予防事業を行ってきた。また、四川省の科学技術貧困撲滅財団、杭州清河慈善財団、北京永哲慈善財団、中国女性財団、成都慈善連盟、延昌シェルガス四川ガソリンスタンド、新希望グループ、王市個人など18団体から補給物資を支援した。現在、成都市の141の政府部門、地域コミュニティ、社会団体及び企業から34,293件の物資が提供されている。

スライド 10

## (2)防疫資料連携資源プラットフォームの構築



スライド 11



スライド 12





スライド 13

### ➤ 3. 積極的参加と防疫活動の力量強化

#### (1) 大臣が先頭に立って、伝染病予防指導者グループを養成する

リーダー:  
楊海平長官  
副リーダー:  
劉培主任.



防疫物資伝達チーム  
防疫物資流通チーム  
伝染病予防及び管理実務グループ  
伝染病予防広報実務グループ  
伝染病予防金融実務グループ  
伝染病予防研究実務グループ  
伝染病防止モバイルワーキンググループ



スライド 14

## (2) 伝染病予防活動に積極的に参加する当院

往時化のような当院の指導の下、機関の職員が伝染病予防活動に積極的に支援し、一部は最前線のボランティア活動に参加して、一部は自宅で積極的に補給物品マッチングに協力しています。

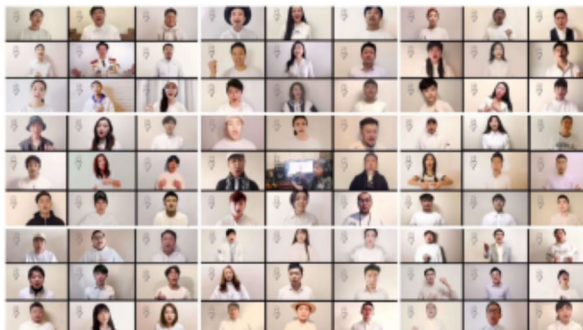


外出を恐れないで  
帰宅時に気をつけよう-ワン・シファ



スライド 15

## (3) 全国民が参加して伝染病撲滅の確信に総力を挙げよう。



袁有姫は四川芸能ラジオ放送局の公益の歌「国運かまど」(果てしない助け)録音に積極的に参加し、この歌とミュージックビデオのMVを制作するために9人の社会福祉社代表と100人以上のボランティアが歌に参加しました。歌公開後、100万ビュー突破を記録しました。



スライド 16

#### ➤ 4. 伝染病研究、伝染病撲滅のために協力



#### ●伝染病予防研究及び整理

家庭調査、社会心理サービスのホットライン、コミュニティ構築およびオンライン児童労働法指針は、成都組織部党员教育センター公式ホームページ、成都党委員会組織部傘下の「**三城**」(四川成都の別名)公式ウィチャットアカウントおよび成都社会福祉士協会公式アカウント、**三城**江開発ネットワークのウィチャット公式アカウントに公開されました。

ロング城先頭学習グループの学生数は次第に増加しており、ガイドラインはコミュニティ党员必修課程に指定され、累積延べ142,184人に迫る。



スライド 17

#### ➤ 4. 伝染病研究、伝染病撲滅のために協力

#### ●無限地域社会団体支援

#### プロジェクトサポート:

中国赤十字財団と協力して万華財団は湖北の27の社会福祉機関の30のプロジェクトを支援しました。

総勢75万件

監督者支援:

5人の監督者、27の機関支援、社会団体が伝染病期間中、どのようにサービスを開発し、福祉プロジェクトを最適化するかという方法を模索

| 督导记录表 |            |      |                                                                            |
|-------|------------|------|----------------------------------------------------------------------------|
| 被督导者  | 督导时间       | 督导地点 | 督导内容                                                                       |
| 新合会社区 | 2020年4月16日 | 线上会议 | 督导内容:                                                                      |
|       |            |      | 1. 针对疫情发生后, 学校短时间内无法复课, 农村儿童存在上网课困难, 要么缺少智能设备, 要么没有网络, 要么缺少家长监督, 如何提供有效帮助? |
|       |            |      | 2. 在农村留守家庭中, 有少数孩子在与爷爷奶奶的生活过程中, 产生了叛逆心理, 这方面社工如何介入? 如何有效处理?                |
|       |            |      | 3. 疫情的影响, 农村儿童也不能开展线下活动, 综合防控项目的目标及实施要求, 如何帮助留守儿童和居家网课的儿童卫生防疫这样的线上活动?      |
|       |            |      | 4. 线上卫生打卡, 大部分父母不在家, 祖父母配合度不高, 如何提高祖父母和儿童积极配合性?                            |
|       |            |      | 督导记录:                                                                      |
|       |            |      | 会议内容: 1. 了解了新合会各个站点的基本情况;                                                  |
|       |            |      | 2. 大概有多少外出务工人员? 留守儿童有多少?                                                   |
|       |            |      | 3. 参加服务的人员是否可以外出? 还是线上工作开展服务? 是否有志愿者参与其中。                                  |
|       |            |      | 4. 针对疫情发生后, 学校短时间内无法复课, 农村儿童存在上网课困难, 要么缺少智能设备, 要么没有网络, 要么缺少家长监督, 如何提供有效帮助? |
|       |            |      | 5. 在农村留守家庭中, 有少数孩子在与爷爷奶奶的生活过程中, 产生了叛逆心理, 这方面社工如何介入? 如何有效处理?                |
|       |            |      | 6. 疫情的影响, 农村儿童也不能开展线下活动, 综合防控项目的目标及实施要求, 如何帮助留守儿童和居家网课的儿童卫生防疫这样的线上活动?      |
|       |            |      | 7. 线上卫生打卡, 大部分父母不在家, 祖父母配合度不高, 如何提高祖父母和儿童积极配合性?                            |



スライド 18



➤ 4. 伝染病の研究、伝染病撲滅のために協力



●伝染病予防のためにIACCRに加入し、成都経験を共有

2月25日、中国、日本、フィリピン、スリランカ、インドおよびその他の国々の様々な非営利団体、大学および地方政府が共同で「地域社会コロナウイルス防疫国際連合」(IACCR)をスタートさせました。これを機に、地域社会の防疫教習を学び、コミュニケーションを図ってください。成都愛遊戯が非営利団体に公式加入しました。



スライド 19

# Thank You!

成都愛有戏コミュニティ開発センター



スライド 20

### 3.5 中国側特別報告(資料のみ)

資料

#### ポストコロナ時代の親子関係の形成と 民間団体の指導サービス方式

院長 趙剛 (ZHAO GANG)

研究院 王大龍 (WANG DALONG)

研究院 李学義 (LI XUEYI)

東北師範大学家庭教育研究院

「授業を止めたのは勉強を止めたのではない」と言われる防疫期間は、「教育は学校で、学校は教育だ」という古い観念を持つ保護者にとっては、史上類を見ない試練だ。すでに父母の親子関係の処理能力は、まさに試験にさらされ、父母の教育理念と方式もそうだ。すでに、父母の家庭教育指導能力と父母と教師の交流・協力能力も試験台に載せられた。毎日家の中は戦場のようで、いつもより 100 倍は大変だと感じ、今一番望むのは、子供が早く学校に帰ることだ。

チャンチョンに住む専業主婦のファン女史には 2 人の子どもがいるが、上の子は中学 1 年生で、下の子は小学 4 年生だ。「以前はインターネットの授業もせず、宿題もしなかったが、家はとても和やかだった」と黄夫人は言う。

ところでインターネット授業が始まると、昼は家事だけでなく 2 児のインターネット授業、筆記、写真撮影、動画などを授業時間割どおり監督して先生にフィードバックし、夜は QQ(中国の検索エンジン)を検索して各科目の先生たちの学習計画表をダウンロードし、宿題を指導して子供に予習を終えるように監督するのに忙しい。しかし、黄夫人にとって最大の悩みは、子どもが自分で感じないということだ。長女は授業を聞くためにインターネットに接続し、ぐずぐずしながら宿題をするが、注意しなければ密かにゲームをする。

次女はいつも授業を終えた後、関連した課題をきちんと処理できず、一緒にくっついて授業を聞かなければならない。以前は二人の子供がこんなに長い間一緒にいることは珍しかったが、たまには何も言わずに殴り合い、あるいは帰り道に泣いて、私のところにやってくる。この期間、子どもの世話を長くすればするほど、自分の性格が悪くなり、子どもとの関係も悪くなるのを感じると黄夫人は話す。

ある母親は比較的小言を言うことが多かった。家庭防疫期間のある日、息子が遊びに出かけようとする、母親が言いつけた。「お聞きなさい、伝染病の危険はまだ消えてないし、ウイルスが非常に怖いから、マスクをしても出られないんだよ」息子は目を見開いて叫んだ。「お母さんのほうがウイルスより怖いです！」お母さんはしばらくぼう然とし、すぐに涙を流して仕方がない様子で、「心からあなたを愛しているからだよ！」と言った。

『湘陽夕刊』の報道によると、2020 年 3 月 3 日、河北省石頭場の 12 歳の小学 5 年生は、ずさんなインターネット授業で両親に叱られた後、飛び降り自殺した。両親は血まみれの子供

の姿を見て、それは非常に悲痛で、深く後悔した。同日、杭州の別のメディアは「中3の息子、毎晩の授業が終わる頃になると「理性を失い」、おびえた母親は職場に隠れて「息子の目に付かないのが得策」とし、杭州の中3の少年がインターネット授業を聞くことが家族（3人家族）の難題になったと報じた。

3月6日、上海のリオ女史は、家で子どもにインターネット授業を指導し宿題をするのだが、子どもの散漫で協力的でない態度に彼女が激怒した。このような絶望的な状況の中で、リウ夫人は川に身を投げて命を絶とうとした。消防士が来て止めると、リオ夫人は泣きながら言った。「助けないでください。私は疲れすぎていたし、子供も私が死んでほしかったんです。」

上記の事件によって、一部の子供たちの学習が未熟であったことを説明することもできるが、より重要なことは、父母の教育理念、方式、方法が適切ではなく、父母の教育能力と教育技術が欠けていることを反映している。これから親子関係は、硬直したり破綻したりする。

「授業を止めたのは、勉強を止めたのではない」という特殊な状況の中で、インターネット授業は教師の授業と生徒の学習の基本形式になった。しかし、パンデミックの中で学生たちがインターネット授業のために理性を失い、さらには自殺事件までが相次いで発生すると、社会の広範囲な関心を引き起こした。「インターネット授業には言及せず、親には慈しみ・深さを、子には孝を強要する。インターネットの授業をすると、めちゃくちゃになる」。おそらくこれは、パンデミック期に少なくない家庭で起こることを写實的に描写した言葉であろう。

同調査の研究結果によると、自宅を訪問して調べたところでは、少なくない家庭の親子関係が破局を迎えていたが、最も大きな影響を及ぼす要因は、保護者が子供のオンライン学習について懸念していることであり、特に、両親共に復職状態の家庭で目立ち、同期間、親子間の対立がより目立っていることが分かった。子どもの知識と自立心の向上により意見の対立がみられるようになり、ひどい場合は親子間の衝突も発生していると、少なからぬ親が吐露した。ある父母は「出勤するのに比べて子どもの面倒を見るのがはるかに大変。通勤は私にとって休みだ!」と言った。また別の人は「普段も宿題を指導するのは修羅場だが、現在は1分1秒いつも同じ屋根の下で過ごしている。どうして、親は慈しみ深く、子は孝を實踐できるだろうか。」と言った。実子間の衝突、家族構成員の教育観念の衝突、性急な感情などの問題が徐々に明らかになっている。

多くの保護者らは、親子関係が緊張状態になった原因として、パンデミックの状況を取り上げている。パンデミックが終わると親子の衝突は自然になくなると思う。しかし実は、実子間の関係が悪いのはパンデミックと因果関係がない。パンデミック期間に生じる親子間の葛藤について、パンデミックの発生により親子間に葛藤が生じたわけでは決してないが、比較的極端な状況下で親子間の潜在的な問題が深まったという認識を持たなければならない。

また、パンデミックが家族を毎日のように密になるようにしたため、親子関係の問題が起こったという認識を持たなければならない。もし、父母に学習管理能力と感情統制能力がなければ、傾聴と意志疎通、指導ができず、パンデミックでなくても親子関係は良くないだろう。

パンデミックが緩和され、新学期が始まると、多くの保護者が安堵した。しかし、状況が終

わるまでまだ時間はたくさん残っており、父母たちは振り返って見なければならない。そうでなければ、私たちが経験したことはすべて無意味になるだろう。

ポストコロナ時代は、親子関係を良くする契機になるだろうが、もし親がただ耐えてきたと思うのなら、結局は教育の責任を学校に回し、次に類似の危機に直面したとき、私たちが犯した過ちをまた繰り返すことになるだろう。したがってパンデミック期の経験を総合して教訓にし、悪いことは改善しなければならない。また、親子関係を修復することは、保護者一人一人の必須課題であり、市民団体による支援が必要なところでもある。

## 1. 中国の親子関係の基本的状況

親子関係とは親子関係である。法的には親子間の権利義務関係を指す。親と子は血縁関係でありながら最も近い直系血族であり、家族関係の重要な部分を占める。

親子関係は、夫婦間で生まれる最も基本的な家族間の関係だ。親子関係は、子どもの心身の健康、態度や行動、価値観や達成感にも直接的な影響を及ぼす。親子関係の良し悪しが、子供の性格と未来を決め、親の晩年が幸せかどうかにも決定する。

子供は出生後に親に養育され、親に依存するため、その間には「上下関係」が成立し、これは終始一貫して「水平関係」である夫婦関係とは異なる。親子関係は終始一貫して「上下関係」にとどまっており、変わらない。事実、子供が成長して成人になったときは、親子関係は次第に「水平関係」になる。さらに、親が老いて衰弱した時、その関係は「上下関係の逆転」が起こり、子が老衰した親の世話をするようになる。

中国の家庭は西洋の家庭とは違う。西洋社会では、子どもが独立して家庭を築いた後は、一般的に親と比較的多くの連絡をしない。子どもが親の面倒を見る責任はなく、老人を扶養するのは社会の責任だ。

一方、中国は、核家族を成し、親と離れて1人で生活した後も、依然として一緒に生活してきた親の家庭と様々な不可分の関係にあるか、経済関係、感情関係、生活上の助けなど、全般的なことを共有する。第一に、距離が近ければいつでも往来し、距離が遠ければ電話やインターネットでよく連絡を取り合う。第二に、親は子どもの住宅購入、車の購入などを手伝う。

また、子供の養育もサポートする。最後には、子どもは親を養うことに責任を負う。現在、中国家庭のこのような「分離しない」ネットワーク化現象はますます普遍化している。「親家庭」と「子家庭」のこうした密接な関係は、中国の伝統的倫理観念の影響から切り離すことができない。

良い親子関係は、子どもの安定感の形成、子どもの成長、親の老年生活、世代差の解消、子どもの知能発達に有利だ。良い親子関係は子どもの教育の基礎であり、子どもはこの関係が和やかな状態であってこそ、親を尊重し、親の教育を受け入れることができる。親子関係がうまくいかないなら、子供は反抗し、言うことを聞かず、親がどんなに多くの知識と経験、知恵を子供に伝えようとしても無駄だ。良い関係がなければ、良い教育がないと言える。

## （１）親子関係の基本的特徴

### １）親子関係の非代替性

親子関係は血縁関係を基礎とする関係であるが、その関係は先天的で代替不可の特性を持っている。このような特性のもう一つの関係としては、師弟関係、友人関係、同窓関係、夫婦関係などがあるが、いずれも代替不可である。

### ２）親子関係の永続性

親子関係の永久性は最も著しい特性であるが、このような永久性は他の人間関係とは比較にならない。たとえ双方の関係が存在する夫婦関係であっても、その永久性は実子関係にははるかに及ばない。

### ３）血縁倫理の権威性

権威性において保護者には、一般教育者は匹敵しがたい優勢を持っている。保護者のこの血縁倫理の権威性は、教育感化作用と不可抗力的作用をするため、教育の実効性を高める上で大きな意味がある。

### ４）子に対する親心

子に対する親の愛は天から授かったものであり、奉仕であり、ただ与えることだ。このような愛は何の代価も受けないために、私心なく崇高なのだ。

### ５）不平等性を持っている親子関係

先祖たちは何であれ次の世代へ伝えた。家庭で両親はいつも教化者の役割を担い、子供世代はほとんど教化を受ける役割を担ってきた。親子両世代が生態系の繁殖鎖の上下関係を結ぶことになり、教化する上での不平等性は固定化する。

### ６）親子教育の全般性

子どもの成長におけるあらゆる方面への責任、義務などはすべて親の責任範囲に属し、すべて親の責任である。その他の人物（先生など）は特定の範囲内で一定の制約を持つ責任だけを持っている。

### ７）教育上の長期性と浸透性

その子の最初の教育者であり、継続する教育者でもある。家庭教育は子供と人生を共にすることであり、学校教育より持続性と永続性がある。

### ８）ネット時代、子どもが保護者の権威に挑戦する

社会の発展と児童の社会的環境の変化に伴い、家庭における保護者の権威は、ある程度の衝撃を受けることとなった。家庭で「親は勝手にできる」という通念は、すでに現在の子どもには受け入れられず、親世代と平等に暮らし、平等に交流することを切望している。同時に、子どもたちは社会化過程の中で既成世代に与える影響が大きくなった。

## （２）親子関係の新しい特徴

### １）世代間養育が普遍化する

世代間養育は新しい時代を迎えた中国の親子関係が持つ特徴だ。世代間養育は、主に祖父母、母方の祖父母など、祖父母世代が子どもの面倒を見て教育する形態を意味し、全面的に祖父母が養育するか、昼間だけ養育する等時間帯別に養育するかは、いずれも世代間養育と

見なされる。世代間の養育は親子関係に以前とは違うレベルの影響を及ぼした。

## 2) 家族構造や生活リズムに変化が発生する

家族構成の変化はここ数年で最も顕著だった。離婚率が高まり、働く人が大きく増え、片親家庭と世代間養育をする世帯が増えている。また、生活のリズムが速くなるにつれて、親子間のコミュニケーション障害は日増しに増えている。社会の奥深い変化と現代科学技術の進歩と発展は、伝統的な生活様式を変化させ、人々の精神生活は豊かになり、交流は拡大し、生活リズムは速くなった。家族構成員たちはそれぞれ忙しい。親は金を稼いで働くのに忙しく、子どもたちは勉強して試験を受けるのに忙しい。慌ただしい生活は一部の人の家族観念をかなり薄暗くした。家族構成員たちは一緒に住むが、お互いの感情の距離はますます遠ざかり、他人の心理状態に注意を払わない。感情の交流と心の疎通を疎かにし、相互間の理解はさらに不足する。

## 3) 開放された社会が子供たちの視野を広げてくれる

改革開放と情報化社会の発展により、現在の青少年と児童は、もはや閉鎖的で保守的な社会に従わなくなった。様々なメディアを通じて耳で聞き、目で見、数多くの社会現象を理解し、自分の権益も理解できるようになった。

## 4) 後遺文化が伝統的な親子関係を変化させる

後遺文化は「青年文化」とも呼ばれ、若い世代が知識文化を彼らの先輩世代に伝える過程を指す。これは数千年の文化に対する逆転であり、インターネットの発展に伴い、非常に多くの学習観念が、すでに徐々に変わりつつある。

「専有文化」とは、目下の人が主に目上の人に学ぶことをいい、「専有文化」とは目下の人と目上の人との学習が同じ世代において発生することをいい、後遺文化は目上の人から目下の人に学ぶことをいう。後遺文化は拒否できない「逆方向社会化」である。このような文化の中で、親子間の「部位自強」の伝統的関係は代替され、「父母の学生化、子供たちの教師化」現象が出現した。

確かに、家庭で親世代は依然として子供たちに教育者の役割をしていて、子供は依然として親にどう行動しなければならないかを学ばなければならないが、子供たちは自分の興味、趣味、知識、経験、情報、観念など、大人たちに「盤浦(反哺-子が大きくなって父母を奉養すること)」をすることになる。最もはっきりしているのは、携帯電話の使用とコンピュータの操作能力だ。もし、保護者がインターネット関連の従事者でないなら、子供らに追いつくのは難しい。これはやむを得ない大勢の流れだ。

## (3) 親子関係の問題

### 1) 権威的な親たち

権威的な親の教育方法は、ただ乱暴なだけである。このような家庭環境で成長してきた子供は、幼い頃から主観がなく、困難な状況に対して独立して対処する能力がなく、高い依存性と劣等感を感じたり、反抗心理のために類例のない突拍子もないことをしでかしたりする。

### 2) 子どもの個性をなくす親の行き過ぎた愛情

親が子供に愛情を注ぎすぎる現象は非常に頻繁だ。第一に、過剰保護で、子どもに比較的多



くの規制を加えることだ。第二は、無条件の擁護で、子どもに規制はせず、子どもが自分の見解を固執すれば、親が譲歩することだ。子どもの行動が正しいか否かを問わず、親は継続して励ましと称賛をし、ずっと子どもを責めることができず、子どもは正しい批判的観念と価値観を形成することができなくなる。これは子供の個性形成に非常に不利で、子供たちを頑なに行動させ、乱暴な攻撃性を容易に形成する。

### 3) 親が子供の面倒を見ることができず、子供を教育する能力がない状況

現代社会の激しい時代の変化と競争は、多くの若い親たちが自分の業務と周りの人たちとの交流に多くの時間を費やし、彼らから幼い子どもの情緒的、心理的欲求の時間を奪い、子どもたちを喪失感と寂しさに陥れた。また、家庭の事情により、ある家庭は、親子が顔を合わすことが難しい状況も存在する。まるで片親家庭のように親子間の疎通は非常に大きな制約を受ける。

多くの親が子供を教育する能力に欠ける理由は、文化的水準や身体的欠陥が原因で子供を教育する能力が不足しているためであり、もし彼らが子供を教育したいという熱望があっても実行に移すことはできない。親に愛され教育を受けることのできなかった子供たちの一部は、感情、知能、価値観において乖離を感じたり、性格や行動面でも偏差が生じ、今後の成長において無視できない弊害を残すことになる。

### 4) 子どもの心に深い傷を残す家庭内暴力

中国の親の間で子どもを殴ったり、子どもに悪口を言うのは一般的な現象だ。『中央テレビ』が、親がなぜ早くから子どもを殴らなければならないのかについて公開討論を開いたことがあり、一部の子どもと親を招待し、非常に有名な社会学者もゲストに招いて行った。

公開討論会場にいるほとんどの親が家庭内で子どもを殴っていると率直に認め、中には高等教育を受けた親や社会学者も多数含まれていた。親が暴力的な方法で子供を教育すると、子供は心理的にマイナスの影響を大きく受ける。心理学者たちは、親によく悪口を言われる2～5歳の子供たちを観察したが、その結果、子供の頃から家で悪口を聞いて育った子供たちに同情心が足りない態度が見られ、その子供たちは友達を脅かしながら攻撃し、悪口を言うことが多かった。友達がけがをする姿を見ると、普段親に悪口を言われて育った子どもと悪口を聞いて育ったことのない子どもの行動を比べてみると、対処方式が顕著に違っていた。悪口を言われたことのない子供たちは、多くが関心を持って苦しみまたは同情心を示した。一方、悪口を聞いて育った子供たちは、一人も傷ついた友達に関心を示さなかった。むしろ、泣く友人を脅かし、怒り、苛立ちを表出し、さらに攻撃まで躊躇しなかった。このような子どもたちは成長するにつれて、極度に同情心が欠如し、過激で、反抗的で社会を敵視する人になりやすい。彼らはいつも、世の中が自分たちに不公平だと考え、現状を認めない。もし人を傷つけるとなると、極端な手段をとることになるだろう。

### 5) 子供の心理的問題と心理的病気の治療を疎かにする

多くの事実が示しているように、心理的問題や心理的病気をおろそかにする親は多い。子供が授業を注意しないのは、単にとぼけているだけで、根気が足りないからでもある。しかし、単に親自身が子どもを管理できないからだと考えのではなく、必ず「注意欠陥障害(ADHD)」があるのではないかと考えなければならないということだ。子供が常に手を洗うこ

とを繰り返しながら苦しい姿を見せることは、子供が清潔なことを好むと考えてはならず、必ず強迫観念があるかどうかを考慮しなければならない。「子どもがいつも悪口を言うが、直らないからといって教養のない子だ」と考えてはならず、必ず品行障害（悪口症候群）があるかどうかを考慮しなければならない。吃音、食事障害、痙攣、神経性貪食など、このような疾病は、一時的なものではなく長期的なものであり、治療を受けなければ自然に治癒することが極めて稀なので、時間が経つにつれて治療が難しくなる。

現実にはしばしばこのようなことがあるが、多くの親は、自分の子供たちが心理的に問題があることを知りながら治療を望まない。その原因は、こうした疾病の治療機関の大多数が精神病院であり、自分の子供たちに精神病歴を残したくないからだ。ある親たちは、このような病気を治療する薬を服用すると、子供の知能に影響を与えることがあると考えており、疾病が次第にひどくなって正常な生活、仕事、学習に影響を与える可能性があると考えているため、疾病発生当時の治療も多くの困難がある。

## 2. 親子関係の形成

ある企業の社長の話である。「工場の何百人もの従業員は自分の思い通りにできるが、一人息子だけは自分の思い通りにはできない。」

会社は家族より大きく、従業員は家族より数が多く、大小の仕事は家よりは多いが、会社を管理することには達成感がある。しかし、子どもを教育することにはむしろ挫折感がある。どうして家庭を築いていくのが工場管理より難しいのだろうか。どうして子供を教育するのは職員の管理よりもっと大変なのか私にはわからなかった。

その社長が解くべき宿題は一定の意味を含んでいる。必ず考慮しなければならない点は、ほとんどのリーダーが「リーダーシップ」を持っているわけではないが、ある程度の人には「親の資質」が足りないということだ。

子供に対してはいつも上級者が下級者に対して行うように振る舞い、命令口調を使い、自分の観点と尊厳だけを強調しながらも、子供の考えを気にしない親もいる。また、一部の親は自分の望みを子供に強要し、子供に無理やり行動させ、子供に過度なストレスを与える。また、他の親たちは子どもの健康にだけ気を使い、子どもの精神健康には気を使わない。このいくつかのタイプの親は、子どもに家族の温かさや親の関心を感じさせず、親子関係を不安な状態にし、時には悲劇をもたらす。主導権を親の手に握るためには、良好な親子関係を築かなければならない。

### （1）親子関係を形成する基本的な方法

#### 1) 居心地のいい家庭環境をつくれ

上海の朱氏家族は毎日夕食の時間を利用して1時間ずつ議論をする。家族は忙しい日課と勉強を終えた後、テーブルを囲んで座り、疲れた気持ちで休息を与える軽い話題を探して会話を交わす。子どもたちは、キャンパス生活や時事新聞の内容について雑談し、未来の計画について軽く話を交わし、親は静かに聞き、ほめてあげ、笑顔で、適当にうなずいて同意したり、率直な考えを表現する。もちろん食卓での時間は限定的だが、交流する内容は広く、

対話後思索の時間は無限だ。親子間の一部の問題に対する見解が必ずしも一致するとは限らないが、互いに意見を言い合うために誰も説得することはできないが、互いの弁論過程を非常に尊重する。お互いの理解をより深め、親子の心はより身近になり、子どもは考えることをより好きになる。

これは生活における学び方で、自然にできる家庭の教育である。このような教育方式は、食卓文化の光景であるだけでなく、親子共同学習であり、相互学習の推進装置であり、2世代間の心の距離を縮める結びつきである。

家庭環境という言葉は、物質的環境と精神的環境をすべて含む。現在、子供に物質的によい環境を提供することは並大抵のことではないが、健康な精神的環境を作ることでも決して簡単なことではない。物質的条件が良いことももちろん良い土台だが、学習条件への良さという面では、学習雰囲気が良いことには及ばない。物質的条件も重要だが、精神的環境ほどではない。およその合格点を得るための保護者であれば、「物質的、精神的条件を同時に」備えなければならない。暖かい家があるということは、子供たちにとっての楽しみと幸せの源だ。家庭が貧しくても豊かでも、親と仲が良く子供を愛してあげさえすれば、それがまさに幸せと睦まじさだと言える。親は最善を尽くして子どもに睦まじい家庭の雰囲気を作ってあげなければならないし、子どもの成長のために安心して育てる育成環境を作ってあげなければならない。

## 2) 子供に労働教育をしなさい

「私はご飯を炊くことを知らないし、炊くこともない。手をやけどして、包丁で切ったらどうするの。精神的労働も労働であり、私たちの世代はこうした単純な肉体的労働よりは精神的労働に偏った傾向の方が大きいのだ」。これは20歳の大学2年生の女子学生が労働について質問すると答えた内容だ。

調査によると、就職を控えている若者の多くは、精神的労働が、肉体的労働に比べてより高級感があり、価値があり、体面が保たれる仕事だという、同じような考えを持っている。多くの大学生は、彼らの仕事には差があるので言いにくいだが、実際に彼らに仕事をさせたとき、特に比較的体力の必要な仕事をさせたときは、時々手に負えないように見えた。

改革開放以降、家庭の物質的生活水準が高まり、一部の親は子供に衣食住だけを重視し、労働教育を疎かにした。それは、多くの子供たちに自己中心的で怠惰といった悪い習慣を持つことになった。ある子供たちは「ご飯は誰かに食べさせて貰い、道を歩く時は誰かにおんぶされるため、18歳になっても何もできない」状態に置かれている。世界中の親があまりにもかわいそうだ！多くの保護者は、子どもが家事をしなければ、時間と精神科体力を勉強するのに使えるため、成績が必ず良くなると誤解している。しかし、結果は正反対だ。中国教育科学研究院が全国の小学生の子供を持つ2万世帯を調査した結果、子供が家事をしない家庭に比べて、子どもが家事をする家庭の子どもの成績が27倍も優秀であることが分かった。子供が優等生になることを望むなら、子供に家事をさせることは必要だ。子供に家事をさせないのは「愚かな愛」だ。

## ○家事に対する子供たちの興味を育ててあげなさい

12歳の女の子は、すでに、家から出るゴミを捨てる仕事をして7年にもなる。子どもが5

歳の頃、急にゴミ捨てに興味が出てきたのだが、ゴミ収集の鈴の音がするやいなや、ゴミ箱を持って外に出た。「親は子供が家事労働に参加する興味を応援してあげるために、ゴミ捨てに対して誉めてあげ、いつも他人の前で子供を誉めてあげた。」子供の労働熱は次第に燃え上がり、徐々に習慣となった。

労働は苦しいのではなく、楽しい経験になる。子供は行動の代価として父母から褒められると達成感、楽しみ、自負心を持つようになり、親の評価を通じて自分の労働の価値に気づくようになり、さらに労働を好むようになる。また親子関係も密接になる。

### ○子供の労働情熱を大切にしろ

ロンロンが7歳の時、先生はロンロンに、下校後家に帰って母親に水を差しあげる宿題を一つ渡した。ロンロンは家に帰ってから、母親が帰ってくるのを待って、急いでお湯を一杯注ぎ、喜んで母親に渡したが、誰か結果が分かるだろうか。ママは鼻であしらってロンロンを叱りながら言った。「誰が水をくれと言ったの？お母さんが勝手に自分でやるから！こんなことをするのは勉強するに及ばない。テストの点数を何点でも多く取ったほうが一番いい！」。

あっという間にロンロンは12歳、6年生になった。ある日、母親が病気で水を一杯くれと「ロンロン」を呼んだが、ロンロンは不満そうに話した。「お母さん、自分でできないの？私、今宿題をしているのが見えませんか？」母の目からは、どうしようもない涙がこぼれた。

多くの親は、子どもが家事をするのが好きな段階ではさせず、子どもが大きくなるまで待つが、この時は習慣がつかなくてやりたがらなくなり、親は家事をさせることができなくなる。そのため、子どもが怠け者だと恨み、言うことを聞かないと言って子どもを恨む姿は、私たちの周りでよくみられる光景であり、常に繰り返される過ちでもある。誰を恨もうか。

実際、子供が家事を好まないのは、子供のせいではなく、全面的に両親の責任である。労働が好きなのは子供の天性だが、怠惰と愚かさは後天的なものだ。率直に言えば、親の教育が適切でなかった結果だ。保護者として、労働に対する子どもの積極性を喚起する方法を探さなければならず、子どもが労働に対する情熱が芽生えた時、それを大切に、励ますべきであり、叱責し、抑圧してはならない。労働に対する積極性を失えば、子どもの親孝行を失うだけでなく、親子関係も疎かになる恐れがある。

### ○子供に感謝を感じてもらえるように労働を体験させろ

昔は非常に勤勉な大工がいたが、彼の息子はとても怠惰で、一日中仕事もせずに寝ることしか知らなかった。大工さんが頑張っている間は、家庭生活はまずまずだったが、加齢と衰弱の間にとても困窮してきた。

ある日、大工が妻を呼んで言った。「将来のない息子を育てたから、私たちは本当に不幸だ。何もしない怠け者で、もしその子がこれ以上仕事を学ばなかったら、私たちの家業は息子がすべて潰してしまうだろうし、結局あいつまで飢え死にするだろう。あなたと私は年老いて衰弱しているので、その子が食べさせてくれなければならない。今日からどうやって生計を立てていけば、いいか教えなければならない」。

母親は息子のことをよく知っており、お金がもうからないこともよく知っていた。彼女は息子をとても悼み、息子に硬貨をあげて言った。「出て行って、一日過ごす場所を探して時間をつぶせ。夕方に帰ってきて、このお金をお父さんに渡しながらかねが稼いだお金だと言

なさい。」息子はお母さんの思い通りに行動した。父は彼からお金をもらって手の中で何度か振って、においを嗅いでから暖炉に放り投げて口を開いた。「これは自分で稼いだお金じゃない」。

翌日、母親はまた息子に小銭をあげながら頼んだ。「行け、一日中家に帰らず、見物しながら走り回れ。夕方に帰ってきたら疲れていなさい。そうすれば、お前の父が真実だと信じ、この金はお前が確かに稼いだ金だと思うだろう。」

息子はまた母の意見に従い、午後家に帰ってお金を父に渡した。父はお金をもらって、また何遍も振って、また暖炉の中に投げながら言った。「また君は私をだましたね。あの金は君が稼いだものではない」

母親は息子を愛し過ぎることは、何の役にも立たないことに気づいた。父親がお金を投げる時、息子の顔の筋肉はびくともしなかったのに、彼がお金を稼ぐのがどれほど難しいか分からないからだった。そして母が息子に言った。「お前のお父さんを欺くことはできない。知ってる？お父さんを怒らせないで、働けるところを訪ねて技術を学んでこい。いくら儲けても関係なく、父に全部持って来なさい。お父さんに自分で生きていく力があるということを伝えなさい。」

状況はそう決まった。息子は出てから1週間になるが、どこに行けばいいのかわからなかった。家事を手伝い、畑仕事も一生懸命手伝った。李先生には手先の器用さを学びながら、また別の師匠からは技を学んだ。そして少しの金をもうけて、家に持ち帰って父に渡した。父の賞賛を浴びることを心から願った。父はお金を片方の手からもう片方の手に渡し、においもかいではお金をまた暖炉に投げ捨てた。「この金がおまえの手に入るなんて信じられんわ」。

息子は非常に悔しかった。暖炉に飛び込んで、燃え上がる火の中から金銀や宝のようなお金を一つ一つ取り出して大声で叫んだ。「何の仕業ですか！このお金を稼ぐために私は朝から晩まで一週間ずっと働いたが、父がそのお金をストーブの中に投げてしまった！」

父は息子を見ながら笑った。これから私はお前を心から信じる。これは君が自分で稼いだお金だというだけでなく、このお金を稼ぐのは、簡単ではなかったことが今では分かっただろう。他の人からもらったお金はお前には少しも惜しくなかったが、稼いだお金のためにはお前はすぐに火の中に飛び込んだ。私は二度と息子を恥ずかしく思わない」。

この話が私たちに示唆するのは、親と子供の心配を共有させなければならないということだ。良い食べ物を食べて怠けるようにするのではなく、お金を使うことに注意しなければならない。子供はお金を稼いだ経験があってはじめて、お金は簡単には手に入らず、親の恩は山と同じだということを理解することができる。これにより、子供は自ら生きていけるようになり、親に感謝の気持ちを持ち、親を大切にすることができ、質素さを学ぶようになる。

河南省新米市の10歳の少年は、インターネットゲーム中毒になり、4万元（約685万ウォン）ほどの母親の貯金をこっそりと持ち出してゲームマネーをチャージした。母親にばれてから間違いを認め、自分は2万元ぐらいをチャージし、1万元ぐらいは友達にチャージするように渡したという。少年の母親は、自分はセメント1袋を買って貰ってやっと1元を稼ぐが、4万元を稼ぐためにはセメント4万袋を持って行かなければならないと涙を流しながら

話した。こんな子には、必ずセメント一袋を背負うことをやらせてみなければならない。一袋も背負えないというのは関係ない。セメント一袋をいくつかに分けて担わせ、一袋を全部やってみた後、まず感じた点を話させなければならない。その過程で母の苦勞を感じさせなければならない。その次に、何回持っていくべきか、どれほど多くの時間を持てば4万袋を運ぶことができ、4万元稼ぐことができるのか、子どもにもう一度考えさせなければならない。このような教育は道理を悟らせ、大きな悟りを与え、頭と心に深く刻まれる。直接経験しないのは真の教育とは言えない。一度の骨身にしみる経験は、親が万回説教するよりましだ。

### 3) 家族会議を開きなさい

李偉国一家は故郷で木材会社を営んできたが、この2年間、家族は毎週家族会議を開いてきており、一度も中断したことがない。每晚8時から9時まで、親子は一緒に集まって司会者1人を決め、みんなでここ1週間で考えたことを述べ、見て感じたことを思い出してみたり、成長経験はお互いに一緒に享受しながらそれを教訓にしたりもする。討論では、様々な難題を扱うが、我を張ること、物を購入すること、様々な珍しい問題、などがある。順番に解決策を示し、最後は最終解決策を決めておき、次週に実行した。みんな言いたいことを思いっきり言い、各自自分の意見を打ち明けた。家族会議中は、誰もが感謝や思いやり、妥協心を身につけることができ、家族は皆、試行錯誤を経て成長している。これはおそらく1週間の間に積み重なった家族間の葛藤を処理し、家族関係をより身近にする効果的な方法であろう。

### 4) 「子どもの読書範囲を広げてやりなさい」

読書の成功の秘訣は、子供と一緒に本を読む楽しさを分かち合うことだ。「これを通して愛を伝え、子どもが本を愛するようにすることであり、楽しく読書する習慣を子どもに一生持たせることだ。」

早期読書教育はいつからすべきか。私たちは、子どもがお腹の中にいる時から（妊娠6ヵ月以降）始めることを提案する。保護者は、子どもの成長段階に応じて様々な種類の子どもの用図書を準備するとともに、家庭環境や周辺環境などを読書材料として子どもの生活全般と密接に結びつけ、「読書生活化」原則の実践に努めなければならない。また、子供に絵、書籍、風景など静的な資料だけでなく、テレビ、アニメーション、コースウェア（教科書の内容をコンピュータで勉強すること）など動的な資料も見てもらいようにしなければならない。これは文字でできている「本」だけでなく音でできている「本」、文字のない「本」も読むよう誘導するものである。「一緒にする読書は、見聞と視野を広げ、読書習慣を作って、読書能力を向上させるだけでなく、親子関係も密接にさせることができる。」

### 5) 専門家に諮問せよ

もし親子関係で深刻な問題が発生したり、自分で解決できないなら、教育を受けたり、心理専門家を訪ねることを考慮すべきだ。専門家は、判断し評価して、あなたの親子関係の問題点と深刻性について指摘し、ひいては解決策も提示してくれるだろう。



## （２）親子関係形成の基本戦略

### １）安全な愛着関係を築け

親は子供が最初に会う人で、親子関係は子供が作る最初の人間関係である。この人間関係は子供に与える影響が非常に大きい。もし、親が子供を直接養育せずに祖父母が養育する状況なら、子供は幼い頃から親と健康な愛着関係が形成されないため、疎外感、焦り、不安感などの問題が発生するだろう。後には他人の親近感を受け入れることが難しくなり、他人を受け入れて信頼することに問題が生じ、愛を交わすことが困難になる。対人関係において恐怖が増し、関係を築くことが難しくなり、先生や友人との関係に影響を及ぼす。成人後の家庭や社会生活にも影響を及ぼす。

### ２）平等に次ぐ親子関係を樹立せよ

平等に次ぐ親子関係とは、親が親子関係で主導的な役割をすることを指し、親が子どもの前である程度の権威を持つと同時に、子どもも比較的十分な民主性を持つことをいう。健康な親子関係を築くために、親はまず「自分の観点が無条件に正しいわけではない」という考えをしなければならない。子供は子供なりの考え方と興味を持っているので、子供を十分尊重し、子供の興味を探して導いてあげなければならない。自分の観点を子どもに強要してはいけない。

### ３）親は子どもと頻繁に疎通しなさい

張夫人は、５年生の息子とどのようにコミュニケーションを取るべきかについて、常に悩んできた。発端は２日前、学校の先生から、子どもが学校で頻繁に喧嘩すると知らせがきた時であった。家に帰った後、うまく子供と話がしたかったのだが、子供がほとんど話をしないのだ。大まかに説明する姿を見て、怒りがこみ上げた張夫人は、子どもに手を上げ始めた。彼女は、さらに子供と話そうとしたが、子供は一言も言わなくなった。

実生活で張女史のように、多くの父母は子どもと疎通することを願うが、時には思い通りにいかない。親と子のコミュニケーションに行き詰まったら、子を恨むな。大抵の問題は親にある。

良い家庭教育は、コミュニケーションとは切り離すことのできないもので、効果的なコミュニケーションは親子関係において最も基本的かつ最も重要なものであり、子供との感情を深める重要な方法だ。子どもは、親と自分が疎通する方法を経験しながら、他人と疎通する方法も学ぶようになる。もし親が子供と効果的なコミュニケーションができなければ、子供は対人関係において効果的なコミュニケーション能力を学ぶことが難しくなり、社会に適応することも難しくなるだろう。

### ○子供に微笑みなさい

微笑むことは人間関係において、大人も子供も肯定的に働く。特に親と子の両方が疎通する場においては、ほぼ笑みの役割はすごい。子供の成績が期待に及ばず、試験で落ちたり、偶然ミスをした時、または挫折を経験した時も、笑みは、痛止めのように子供の心を癒し、子供のストレスを解消してくれる。両親は笑顔を作る方法を学ばなければならない。そして、良い状態で心をコントロールできなければならない。家に帰ってからはできるだけ笑顔でいて、子どもに笑顔を見せる。子どもに笑顔を見せる自分の姿にケチになってはいけない。

## ○耳を澄まして聞け

親子間のコミュニケーションにおいて、話すことよりも聞くことの方がずっと大切だ。事実、親子間のコミュニケーションにおいて、親はまず傾聴しなければならない。「言うことをよく聞く」親にならないといけない。子供が話す時に、親は子供の言うことを喜んで聞く姿を見せるべきであり、これは子供の言うことを励ますことでもある。子供は両親が自分の話を聞きたいと感じると、両親ともっと多くの話をしたくなり、自分で感じて考えるようになる。こうすれば親子間の疎通に役立ち、子供が生活の中である問題にぶつかると、親もそれを正確に分かるようになり、適切な時に子供を指導することができるようになり、親子関係もさらに融和できる。

まずは、理解する話し方をするように、さまざまな手ほどきをしなさい。例えば頷いて同意を示し、興味深そうに微笑んで、親指を立てたり、不思議そうに驚いてみるのだ。子供たちは、大人たちが自分の言うことに同意してくれ、褒めてくれるのを見たがるようになり、自分にはとても才能があると自信をもつようになる。

次は、適切な単語を使って子どもに話しかけることだ。子供が説明するのに困難を感じる時、親は「そうなんだ、わあ、わかった、その次は？」といった言葉を続けなければならない。こんな表現をしながら子供が話すことに没頭するようにしなければならない。そうしながら、一方では子どもが話し続けられるよう誘導していく。

最後に、親は子供が言うことを最後まで聞かなければならない。ある母親は自分の5歳の息子に一人聞いてみた。

～ある日、君とお母さんが一緒に遊びに出かけたとする。私たちは2人ともものが渴いていた。でも十分な水がないと考えてみよう。君のカバンにりんごが二つしかないんだけど、君はどうする？～

すると子供が答えた。「私はりんごを2つかじる。」お母さんはその言葉を聞いて失望した。彼女は子供をちょっとだけ叱り、どうしたらいいか教えようとしたが、それを言い出す前に考えを変えた。そして彼女は優しく子供に聞いた。「どうしてそうするんだい？ お母さんに言って。」幼い息子は無邪気に答えた。「なぜならりんごを二つとも味わって、お母さんに甘い方をあげるから。」

お母さんは感動して子供を抱きしめ、最後まで子供の言葉を全部聞いたことを幸いだと思った。

この母親は、最初は怒ろうとしたが、それでも我慢した。彼女は子供を平等に扱い、子供を尊重した。子どもと母親の交流は平等で、友人のようだった。また、母親は固定観念を捨てたため、子供に感動する答えを得ることができた。

保護者にとっての学びは、子どもに最後まで話させないのは、第一に、誤解しやすいという事実だ。二つ目は、子供の表現欲求と能力に影響を及ぼすということだ。第三は、子供の自信を傷つけやすいということであり、二度と親と話をしようとしなくなる。親と疎通しようとしれないということは、非常に恐ろしい結果だ。

多くの親は、多くの理由を付けて、半分しか聞かないで切り捨てるか、半分しか聞いていない中で結論を出すだろう。子供が真に表現しようとする内容を誤解するのは、親が特に注

意すべきことだ。

最後に、親が子供に適切なアドバイスをするべきだということだ。親は忍耐強く、喜んで時間を割かなければならない。教養ある聴衆になるためには、子どもの心の声に耳を傾け、心を込めて子どもの世界に入らなければならない。子どもの心に耳を傾け、親は自分の経験をもとに合理的な助言をしなければならない。

### ○「私」という情報を使いなさい

保護者は単に傾聴するだけでは足りず、積極的に自分の感情を説明しなければならない。つまり「私」という人の情報を使う必要があり、そこには要点が含まれている。自分が感じる感情とその理由を率直に表現しなければならない。自分の考えを子どもに十分に伝え、子どもが親の感じと考えをよりよく理解できるようにして、効果的なコミュニケーションを引き出さなければならない。「私はあなたの気持ちをよく知っている。私の考えはこうだ。」と述べればよい。「私」という情報を使用するということは「私」という人がこうであることを説明するのだ。もし、「君」という文字を使うなら、「君」という人がこうだというのだ。これは論争を引き起こしやすく、またコミュニケーションにも影響を与えるだけでなく、親子関係にも影響を及ぼす可能性がある。

### ○「しゃがんで」子どもと話さない。

あるクリスマスの夜、若い母親が5歳の娘を連れてクリスマスパーティーに行った。にぎやかなパーティー場、豊富な食べ物、そしてサンタクロースのプレゼントなど。母はうれしそうな顔で熱心に友達とあいさつを交わした。パーティー会場のあちこちで娘を連れて絶えず歩き回り、娘もととても喜んでいるようだった。

ところが娘は鬱屈して、出て行くと意地を張った。母親が慰めても無駄で、地面に座って大声で泣き始めた。靴は脱げている。母親は怒って娘を無理やりに起こした。子供を叱った後、うずくまって子供に靴を履かせた。しゃがみ込んだ瞬間、彼女は驚愕した。彼女の目の前にはやや高いキャビネットが見えたが、そこからは、笑顔、おいしい食べ物、花を見ることができず、大人のお尻と太ももが行ったり来たりしていた。彼女は娘がなぜ楽しくなかったのかを知り、子供の視点と目線で見えるものは、大人の世界とは全く違うことを知った。

「しゃがみ込むこと」とは、子供の視点を理解することであり、ただ「しゃがみ込むこと」だけで、子供を正しく見ることができるようになる。子どもの表情をより正確に見ることができるようになり、子どもの言葉一つ一つをよりはっきりと聞けるようになる。子どもの見る風景が感じられ、子どもの感じる世界が見られる。

「子どもを正しく直視できる状況であってこそ、親は子どもの内面をよりよく理解することができ、同時に子どもたちも親子関係が平等だと感じることができる。」理解することは、疎通より先立たなければならない。「しゃがみ込むこと」は子どもを理解することであり、健康な親子コミュニケーションの第一歩として進む道である。

### ○積極的な話し方をしなさい

親子間のコミュニケーションで使う話し方がある。親子の意思疎通とは、人と物事に対する親の徹底した理解、自分を後にして他人を敬う心、知彼知己の洞察力と穏やかで正確な単語使用などが前提にならなければならない。できるだけ否定的な感じを与える「悪口」は避

け、「良い言葉」で子どもが持つ良いエネルギーを手軽に悟らせなければならない。

まず、親の言うことは「香り」がなければならない。ある保護者が、子どもにどのように教えているのかと幼稚園に登園した様子を見て回った。保護者は子供が幼稚園で一日日課を過ごすのを見学した後、一言の名言で表現した。「先生のすべての一言一言が香ばしい。」

もし先生の言葉を「香り」と表現するなら、称賛、激励、誘惑、感動などは若干の「味付け」である。子供を叱責し叱りつけることに慣れている家長は、子供の間違った行動を正そうとする時、話す技術を少し気にしなければならない。言葉の中に少しの「味付け」を入れて邪魔にならないようにし、自分の言葉から「香り」がするようにしなければならない。

次は、話法を変化させなければならない。ソン君の母親は大声で命令した。「行ってゴミを捨てておいで！」ソン君は聞き逃しを装って、それでもソファの上に横たわってテレビを見ていた。「本当に言うことを聞かない。本当に怠惰で、どんな用事もしない」。ソン君の母親は不平と小言を言い続けたが、ソン君はびくともしなかった。

ある日、ママが話し方を変えた。「ソン君、お母さんが今ご飯を炊いている。あなたがお母さんの代わりにゴミを捨ててくれない？」すると思ってもいなかったが、ソン君はすぐにゴミ箱にゴミを捨てた。ソン君の母親はあれこれ考え、結局は言い方を変え、表現の仕方を少し変えさえすれば、子供はすぐ言うことをよく聞き、協力的になるだろうという気がした。命令口調は使わないほうがいい。恨みと叱責は何の意味もなく、悩みが増えるだけだ。

多くの保護者は無意識に指揮しようとする言葉を使い、命令口調で子供を振り回す。それは子供たちの心の中に反発心を生じさせ、子供たちは食ってかかるようになる。行動させるためなのに、これでは何の教育効果もなく、親子関係を緊張状態にさせる。親子でコミュニケーションを取る際、何を言うかよりどう言うかの方が、よりも重要だということが分かる。

「父母が表現方法を変え、話し方を変えることは、何よりも重要だ！」

第三に、言語暴力を禁止することだ。ミンさんは宿題を再び間違っただけで、母は怒って言った。「お前、どうしてこんなにアホなんだ？ どうして君の弟より愚かなの？ あいつはお前より賢くて、お前より賢くて……」と言い終わる前にミンさんは宿題ノートを地面に投げ捨てながら大きな声で言った。「弟は私よりすべての面で優れています。ママはあの子だけ息子にすればいいですね！」それから泣きながら部屋に入ってしまった。ミンさんの行動について、母親は理解できなかった。

彼女は普段ミンさんをととても寵愛していた。彼女は子供が合理的な要求をすればすべてを許した。ミンさんが間違っても彼女は手を上げず、いつも決まり事を説明してくれた。彼女が今回いくつか言ったことは全部彼女のためだったのに、物を投げつけたり泣いたりし始めてとても驚いた。

言語暴力は悪口、誹謗、蔑視、嘲笑などを指す。侮辱的で無視する言語を武器に、他人を人身攻撃し、生命を破壊する凶暴な行為であり、精神的傷害の範疇に属する。言語暴力は子どもの反抗心において導火線となり、子どもの精神的疾病を埋葬してしまう地雷であり、親子関係を害する道具となる。

最後に、文句を言うな。一言だけ言うのは真理だ。二度言うことは強調で、三度言うことは催促だが、すでに小言の疑いがある。10回も言うなら、それはもう言い古された文句だ。

子供は年を取るにつれて大人の文句は聞きたくないし、叱られたくもない。

心理学では文句は一種の繰り返される刺激であり、聞く人の大脳皮質では防御的抑制が起きる。あなたが話せば話すほど、聞く人は耳を傾けず、むしろかんしゃくを起こし始める。そのため、文句は効果のない教育であり、疎通を困難にするだけだ。しかも文句は二つの悪い結果を招きかねない。一つは、口数が多いと失敗するものだ。子供に隙を取られて教育ができないだけでなく、子供の恨みを買うようになる。二つ目は、喋れば喋るほど止められないということだ。きつい言葉やきつい言葉を口にする、知らぬ間に人を傷つけ、物事が思い通りにいかないことがある。

#### 4) 成績で成敗を評価するな

小明は成績がとてよく、言うことをよく聞き、両親とも彼が好きだったが、小明の兄は食えることが好きで勉強を怠った。ある日、父親が兄弟の成績表を見つけた。小明にはとても満足したが、兄を見るやいなや腹が立って殴ろうとした。父は叱責した。「君の弟を飛び越えるなら君を殴らないよ。」兄はおっかなびっくり言った。「年齢で計算してもいいですか。」

これはたとえ笑い話だが、親が愛するのは子供のテスト成績だけという一つの問題を説明した。試験の成績は全ての保護者や子供にとって避けて通れない話題となっている。子供の成績がいいと、親は顔色がいい。子どもの成績が悪くなければ、父母は眉間にしわを寄せ、甚だしくは殴り合いまでする。子供の成績が、むつまじさのバロメーターになっている。

実際、子どもの勉強だけに没頭する親は良い親ではない。なぜなら、彼ら親たちは恋をする能力が足りないからだ。子どもたち自体を軽視するので、子どもたちは親が私を愛しているのではなく、「点数を愛している」と感じる。親が成績で成否を論じ、成績で子どもの大半を評価することは、親子関係を損傷させるだけでなく、子どもの全般的な発展状態にも影響を与えかねない。

#### 5) 心理的距離を縮めるために褒め言葉を用いよ

「お母さん、今日のランニングで私が1位になりましたよ。」うれしい気持ちで母に言う。「誰と走ったの？ どうして走ったの？」ママは淡々と2つ尋ねた。「今日体育時間に、先生が私たちに競走試合をさせました。私が一番速く走りました。先生は、私が運動の才能があると誉めてくれました。」ほほえましい顔には得意な笑みが浮かんだ。「ああ、急いで宿題をなさい。」お母さんはまるでこのうれしい知らせを聞いていないかのように行動した。

お母さんがあんなふうに話すのを聞いて、嬉しい気持ちはがっかりに変わり、仏頂面で自分の部屋に忍び込んだ。子供は自分が何のために1位になったのか理解できなくなった。母は少しも好きじゃないし、褒めてくれなかった。母の行動を理解していない時、父が家に帰ってきた。パパは子どもの不機嫌を見つけて子どもに聞いた。

「坊や、どうしたの？ 何か悪いことでもあったの？」「お父さん、私は今日の競走で1位を獲得しました。先生も私のことをほめてくださったのに、お母さんはちっともお喜びにならなかったの。」と悲しげに子供は言った。「そうだったの？ 1位とは本当にすごい！ お父さんに言ってごらん、誰と走ったの？」お父さんは大喜びで聞いた。

「体育の先生が私たちを男子生徒1組と女子生徒1組に分けたの。男子生徒の中で僕が一番早かったんだ。その他の子は全部僕にはかなわなかったんだ。」子供は一気に言いました。

「本当に立派だ！後でご飯を食べる時、たくさん食べなさい。体をもっと強くしないと、次にまた1位になれないよ。いいね？」「はい、今度また1位になります。」子供は食卓の前に喜んで駆けつけ、ご飯が用意されるのを待った。

子供が既に目標に達した場合や、思いがけない成果を上げていたら、親は必ずチャンスを見つけて、適時に子供を褒めてあげなければならない。同時にあなたの嬉しい気持ちを表現し、子供にそれを感じさせなさい。子どもの良い行いを言うことが親にとっては喜びだということを子どもに知ってもらうようにしなければならない。

保護者は、「子供が勉強できれば、ほめるべきことだが、ほかの方面で優れたことはほめる必要がない」という間違った考えから脱しなければならぬ。このような方法は子供の長所の発達に不利である。全ての子供は親の称賛を望むので、親はあまり褒め過ぎてはいけない。適切な称賛は子供の達成感を増進させるだけでなく、親子関係の発展をも促す。

## 6) 適切な懲罰は親子関係の発展に有利だ

期末テストが終わって二日目、チュントンチョン(小通天)はお母さんが目を離した間に家の引き出しから5元を取り出して、友達とゲームセンターに行って遊んだ。夕方、母親に見つかり、追及された末、チュントンチョンは仕方なく過ちを認めた。母親は自分勝手にお金を持ち出したこととゲームセンターに行ったことの深刻さを厳しく指摘し、2つの罰則を提示した。一つは3日間テレビを見ないことで、一つは日曜日に公園で船遊びをする計画をキャンセルすることだった。

耐え難い3日が過ぎ、日曜日も過ぎた。母親は断固として罰則を実行し、父親と祖母が子どもを大目に許してあげようという意見も母親を変えることはできなかった。数日間はテレビも見られず、船も乗れなかった。非常に苦しみ、非常に後悔した。ふと自分の過ちを思いつくと反省した。

子供が母親に言った。「次はそんなことはしません！」お母さんは子供の丁寧な態度を見てとてもうれしかったし、安心した。チュン・トンチョンが自分の間違った行動を認めたことをほめ、テレビを見る権利を取り戻し、来週は家族全員が船に乗りに行くことになった。チュンは言うまでもなく大喜びで、母への敬意と感謝の気持ちでいっぱいになった。

適切な懲罰は一種の励ましである。励ましとは本質的な愛であり、子供を教育するためにはならない手段だ。最も把握しにくい教育方法の一つでもあり、危険で難しい教育のためのテクニックだ。懲罰は諸刃の剣だ。うまく使えないと子供に怪我をさせるが、もし適切に使えば、思いもよらない効果的な結果が生じ、子供の短所を直す過程で教訓を得て成熟する方向に進むようにすることもできるだろう。

子供は世の中を理解できないと考える親もいる。少しの過ちを犯すのは正常で、懲罰の必要はなく、大きくなれば自然によくなると考える。それに子どもにつらくすると親を憎むようになると思う。しかし、これは誤った認識であり、危険でさえある。「小さな穴を塞がなければ大きな穴を塞ぎにくい」という言葉がある。子供が小さいときに間違った場合には、それを教育しなければ、子供の無鉄砲で野蛮な性格を助長するようなものだ。

子供が大きくなるまで待てば無法地帯になり、より大きな災いを招くだろう。成長しながら自然に物心がつくのではない。幼い頃から子供の過ちを正してこそ、親子関係も親密にな



るだろう。子供が幼い頃から過ちを気にしなければ、大人になっても全く気にしないようになり、その時になって、ひどい場合は親を憎むようになり、さらには悲劇をもたらすこともある。

#### 7) 子供をサポートすることに真心を尽くせ

まず、親は「先生」の役割をしなければならない。「指導能力のある保護者なら、子どもの先生になってあげて、子どもが質問することに答え、きちんと指導しなければならない。」その次に、親は「同僚」の役割をしなければならない。指導能力が足りない父母なら、子どもの仲間になってあげなさい。子供と一緒に勉強し、難しい問題を一緒に考えてみることだ。

最後に、親は「学生」の役割をしなければならない。親が子どもに先生の役割と仲間の役割をしてあげられないなら、子どもの生徒になりなさい。両親にその日習ったことをもう一度話すようにさせなさい。このやり方は、子どもの勉強促進に使うことができ、親子が一緒に成長することを促進させる。親の質の高い世話をする中で、子供の学習はよい効果をもたらすだろう。

#### 8) 子供に完全な愛を与えなさい

インターネット上で、一人の子供からの父親へ要求が話題となっている。「お父さん、私に一日だけ時間を作って遊んでください。後で大きくなったら私が父に100日で返します。」

この子の父は高速バスの運転手だ。毎朝早く出て夜遅く帰ってくる。ある時は数日間家に戻らない。子供がもの覚え始めた時から、子供はずっと父親のいない生活を送っている。子供が言った。「私は父に聞きたいです。まさかですが地球が二つに割れても父は帰って来ないんですか？」この事例は子供が父親の愛を渴望することを反映している。数十年の間、中国では「独り暮らし」現象が現れた。

「一人っ子育児」とは、夫婦が家庭教育課程の中でまるで配偶者がいなくなったかのように行動することを指し、片方だけが子供を教え、もう片方はほとんど干渉しないことをいう。

「独りよがり育児」は主に父親の教育が不十分だったため、多くの子どもたちが、いわゆる「父性愛欠乏症候群」に苦しんだ。「父性愛欠乏症候群」とは、子どもが成長過程で父性愛を受けられなかったり、父親が子どもの教育に参加しなかったりして、生理的にも心理的にも健康でない状況を引き起こすことをいう。

父の教育が欠けているのには二つの理由がある。第一は、父が家を出て、外地で金を稼ぐことだ。最近『《子供、ごめんね！》仕事をやめると君を育てることができない、君と一緒に連れて行っては仕事ができない』を多くの人が泣きながら見ており、親の間で爆発的な人気を集めた。確かなことは多くの父親が子供により良い教育と生活を与えるために、仕方なく妻子と離れて暮らすということで、苦勞に耐えながら外に出て必死になってお金を稼ぐということだ。

第二に、家庭で父親は家事を気にしないということだ。父親自身が関わりたくないという意味だ。「男性は仕事をし、女性は家事をする」という伝統的な観念の影響を受けた多くの父親は、男性は家族を養うために金を稼がなければならず、子育てや家事をしてはいけなく考える。女は、家で家庭を守り子どもを教え、子育てをするのは当然のことであり、家事をするのは女がすべきことで、当然のことだと考える。このほか、妻も夫が干渉できないよう

にするという理由が存在する。ある妻は夫が性質が悪いため、子供の面倒を見ることができないこともある。夫が不器用だと家事ができないようにしたり、自分が老父母の面倒を見たり、子供の面倒を見たりして、喜んで専業主婦になろうとする。

子供の成長には必ず親の完全な愛情が必要だ。「母親も必要だし、父親も必要だが、2人の母親は必要ではない。親子が日常生活をする中で、父親は必ず母親とは違う姿を見せなければならず、良い人格と長所で子どもが育つのに影響を与えなければならない。父の愛は山の如く母の愛は水の如し、山と水がお互いに連携すれば子供が役に立つ！

### 3. 家庭教育を指導し親子関係の形成を助ける市民団体のサービス方式

家庭教育の指導において、政府の支持とその主導的な機能が発揮されなければならない。また、家庭教育において市民団体の役割が発揮されなければならない。

市民団体は、民間性、自発性、支援性などの特徴により、家庭教育への参加において多くの利点を持っている。市民団体は政府と大衆をつなぐ架け橋の役割をなし、「緩衝剤」と「接着剤」の作用を十分に発揮し、家庭教育分野の発展に微弱ながら力を貸さなければならない。中国には現在、家庭教育と関連した以下のような主要な市民団体がある。

第一は中国家庭教育学会である。中国家庭教育学会は政府の批准を経て1989年に設立された学術社会团体である。中華全国婦女連合会から業務指導と業務管理を受けており、主に家庭教育分野に情熱的な専門家、学者、家庭教育に携わる団体、個人が自発的に参加している。同学会の業務主管は中華全国婦女連合会で、政府団体管理部の業務指導と監督を受ける。

二つ目は中国教育学会家庭教育専門委員会である。2004年11月に設立された組織機構である。主に家庭向けに活動し、父母の資質を高め、家庭の和睦を促進することは、中国教育学会家庭教育専門委員会の業務目標と任務だ。同委員会は家庭と学校が協力する教育理念を提唱し、何度も専門家と学者を組織して、全国各地で無料で講演を開いて家庭教育を指導した。兩岸（中国大陸と台湾）の学術交流を促進するため、すでに10回以上の兩岸海峡家庭教育学術セミナーを成功裏に開催した。同時に国家間の交流を展開し、アメリカ、韓国などと相次いで共同学術セミナーを開き、協力することにした。

三つ目は家庭教育指導所である。（家裁）中区工委[2005]14号文書に基づき、中国キャンパスの健康運動を積極的に展開した。水原世紀（北京）教育コンサルティング有限公司は、同健康運動に「中国キャンパス健康運動-家庭教育普及公益活動」なる案を提示した。同時にその案は「中国キャンパス健康運動」処理部署から再実行の指示を受けた。また、優れた家庭幸福教育機関に具体的な実行計画を樹立するよう権限を与え、全国各地に「家庭教育指導所」を設置した。また、具体的な遂行団体として、優秀な家庭幸福教育機関を選定し、審査授与の責任を負わせた。審査を通過すれば賞牌を授与し、官公委（中国共産党中央直属機関工作委員会）関連ウェブサイトに登録する。このようにして、全国各地に分布している家庭教育指導所は、家庭教育の普及、小規模な集まり、講座、相談、指導、訓練などの業務を積極的に行っている。

四つ目は家庭教育指導センターである。家庭教育指導センターは家庭教育事業推進の拠点だ。主に家庭教育理論を研究し、これを遂行する。家庭教育学科の発展を促進し、共産党の

教育方針に厳格に従う。教育部の業務計画に従い、全体の任務と業務指導方向を確定し、業務計画と活動内容を制定する。大家族のための家庭教育の体系的な指導と諮問業務を提供し、家庭教育の新しい観念、知識、方法を普及・広報するとともに、親の全般的な家庭教育水準の向上に努める。家庭教育分野を常時研究し、指導者を継続して発掘し、養成する。家庭教育に携わる人材の職業素養と能力を高め、学校と社会の力を常に連携させて、家庭と学校間の合作を促進している。このように、学校教育、社会教育、家庭教育の3つの分野における緊密な協力を通じて、家庭教育指導サービスシステムの構築に努めている。

五つ目は、家庭教育管理機構と推進機構である。これは台湾の家庭教育指導サービスの2団体である。家庭教育管理機構は、各級の政府が管理するが、家庭教育を推進する機関、家庭教育センターを含む機関、各級の社会教育機関、各級の学校、類型別メディア機関、その他家庭教育と関連する政府機関と民間機関・団体がある。その中でも家庭教育センターは家庭教育を発展させる能力が最も高い所であり、他の団体、特に学校とメディア機構も、家庭教育業務を推進する上で最も重要な機能を持つ場所である。

中国においては、家庭教育指導サービスの内容が豊富になり、範囲が広がるにつれて家庭教育指導サービスの方式もまた絶えず新しく発展している。家庭教育指導サービスの方式は、主に二つの種類がある。1つは直接指導し、他は間接的に指導することだ。直接指導とは主に言語やその他の媒体を介して対面で行う方式に対して、間接指導は周辺環境や周辺素材を媒介とし、または他人の影響などを媒介とする方式である。

### **(1) 直接指導サービス方式**

直接指導は個別指導と集団指導の2つの方法に分けられる。

#### **1) 個別指導のサービス方式**

個別指導サービスは、家庭教育を重点的に掲げるものである。指導者と父母が一对一あるいは対面で個別に進行する、相互情報交換、意見交換、問題討論などの指導サービス方式を指す。個別指導方式は主に次のようになる。

##### **○面 談**

面談は、家庭教育指導者と父母のコミュニケーションに非常に効果的な方式である。面談は事前に理由を説明しなければならない。約束の時間や場所、内容などを確定しなければならない。話を交わしている間、指導者は顔に笑みを浮かべなければならない。態度は誠実でなければならない。独断的な態度を見せてはならない。面談が終わった後、必ず面談の成果を熟考し、父母が面談に応じてくれたことに感謝の意を表さなければならない。次回の面談を歓迎しなければならない。

##### **○家庭訪問**

家庭訪問は、個別家庭教育指導において常に効果的な方式である。主に個別児童の家庭教育上の問題を解決する。学校の先生と責任者、共青团(中国共産主義青年団)と少年選抜隊(中国共産主義青年団の指導監督を受けている少年組織)の幹部、警察、中華全国婦女連合会の幹部、地域社会従事者等全員が、このような家庭指導方式を採用することができる。家庭訪問は理解目的訪問、広報目的訪問、相談訪問、通知目的訪問、警告目的訪問などに分けられる。

## ○学校訪問

学校訪問は現在、小学校、中学校、幼稚園で常用しているものであり、父母とコミュニケーションを取り、家庭教育を指導する方式でもあり、他の家庭教育指導でも使われている方式だ。学校訪問は決まった時期に学校を訪問するのと、随時に学校を訪問する二つの方式に分けられる。随時学校訪問とは、問題が生じた場合、保護者が学校や幼稚園を自発的に訪問して先生に話し、教えを求めて状況を疎通し、解決策を議論することである。定期的な学校訪問は、学校が父母を招待する日を指定し、定期的に専任スタッフが訪問者を迎える。

## ○相談

相談は、保護者（予備父母を含む）が家庭教育の実践に困難を提起することから始まる。特別に招聘された専門家が解答を出し、個別に指導を行う。このような相談活動の中で、指定された場所に専門の相談所を設置し、随時訪問客を迎える場合もある。また、都市部と農村部の繁華街に設置し、あるいは記念日や休日に、既存の市場または集会に臨時の場所を作って相談活動を行う場合もある。相談は形式が柔軟で、父母が指導を受けやすく、日増しに人気が高まっている。最近では家庭教育の電話相談サービスが父母の教育的難題を解決するのに重要な働きをしており、今後も大きく発展するものとみられる。

## ○電話連絡

電話は時間と労力を節約でき、効率の高い連絡方法だ。電話は日常の連絡以外にも緊急時や突発的な事態の対応に非常に有利だ。

## ○信書のやりとり

一つ目はメッセージのやり取りである。「家庭と学校をつなぐ郵便受け」を設置してもよい。二つ目は電子メールだ。電子メールボックスを通じてEメールを送るのが便利で速い。

## ○個別化方針

父母はお互いに違う文化水準、お互いに違う家庭環境を持っている。「家庭教育の中には、互いに異なる教育観念、養育態度、教育行為が形成される。そのため、家庭教育指導について異なる要求を持っている。もし家庭教育の指導について画一的方法をとるとすれば、その指導は将来、異なる教育水準、相違する特性、食い違う要求にさらに差をつけることになり、父母の望みを満足させることができないに違いない。すなわち、人々の満足を得ることが難しいため、「個別化指導」が家庭教育サービスのトレンドになった。個別化指導は、各家庭の保護者と子どもごとに、個別課題と個別事例をベースに指導を行う。

## ○文字メッセージ

文字メッセージは2種類ある。一つは使用者が携帯電話や他のインターネット端末を使って、文字やデジタル情報を直接する方式だ。もう一つはMMS(Multimedia Message Service)である。MMSの最大の特色はマルチメディア機能を支援することだ。総合的な内容や情報を伝える機能を果たすことができる。これらの情報には文字、画像、音声、データなどの各種マルチメディアフォーマットの情報が含まれる。文字メッセージは操作が簡単で修正するのが便利で、家庭教育指導の新しい媒体である。

## 2) 集団指導のサービス方式

集団指導サービスは、サービス機関が組織化したものを指し、多数の保護者と対面し、家

家庭教育の中で家長を取り巻く共通の問題を解決する家庭教育指導サービス形式である。  
集団指導サービスのやり方は主に以下のようである。

### ○父母学校

保護者学校は家庭で子どもの養育を担当する、親と親以外の大人を対象に教育し、訓練させる学校である。保護者(予備父母を含む)に子どもの養育に関する科学的な知識を体系的に教え、成功した子ども教育の経験を交流・普及させ、保護者の教育能力と教育資質を高める。

### ○父母会

父母会は、親の集団を相手に指導する形式だ。中学校、小学校、幼稚園では常に採用して使用しており、中国は長期的な実践策を講じている。

『口授夕刊』はこのように報じた： 安定しない心はまるで「ハリネズミ」のようで、両親の前では「いたずらっ子」になってしまい、勉強には没頭できず、パソコンゲームをすると「楽しい」気分になる。思春期の中学生の成長過程に関する様々な悩みに対し、30～40人の父母が互いに「苦痛」を分かち合い、「良い経験」を共有する。その中に参加する担任教師、担当講義教師、心理教師らは、知恵と経験を使って、人々が誤った考えを述べればそれを正す。これは最近の市三中高校の一二年生一組の「父母の集い」の熱情的な風景だ。今学期には、高校一年の13組の今までの父母会は、すべてこの「父母会」に「変身」するだろう。「先生は説明し、父母は耳を傾けて聞き、言葉を交わすことは分に過ぎる」という従来の父母会の伝統は覆された。

こうした父母会は、人々の見聞を新たにし、父母から熱烈な歓迎を受けている。また、伝統的な父母会は、しばしば父母に負担を強いることもある。ある父親が心配しているのは子供学校の「親の集まり」だ。私は外では成功した人だが、教室に入るや否やうなだれてしまった。誰がうちの息子をブスにしたのか（うちの息子をブスにしたのはほかでもない父親の私だ！） 私が保護者の集まりに参加したある時、先生は目を見開いて私に言った。「あなたがここでは上役だと思うな。息子さんの人柄と成績はひどいよ。」その時私はねずみの穴に隠れたかった！

父母会は改革が必要のようだ。保護者の会を「記者会見」や「糾弾大会」にしてはならない。父母会で「告げ口」を「吉報を伝えること」に変え、「あら探し」を「長所探し」に変え、「成績順に並べること」を「特技研究討論」に変えなければならない、必ずこのような方向に発展させなければならない。将来、父母会が、座談会、シンポジウム、教育討論会、経験交流会、家庭と学校の親睦会にならなければならない。

### ○父母委員会

中国における保護者の交流と協力の重要な役割を果たすのは保護者委員会である。ここ数年、保護者委員会によって組織化された保護者間の交流と協力の有効性は、すでに社会的に認識されている。それは父母が主体的な役割を十分発揮しやすいようになっており、父母の考え方を変える面において確実な長所がある。このため、学校の関心と父母の歓迎を受けている。

### ○親子間の相互作用

親子間の相互作用は、ここ数年発展してきた一つの家庭教育サービス方法であり、「児童の参加」という理念の下に展開されてきた。父母連合が提唱したものもあれば、学校の先生た

ちが準備したものもあれば、教育機構が組織したものもある(家族で餃子作り、縄跳び、チェギチャギなどの試合)。このような教育方式は子供を家庭教育から疎外しない。また、子どもを教育の主体と考え、参加させ、父母と相互作用させる。

### ○家庭と学校の親睦会

家庭と学校との親睦会は、学校で開催する専門家の講演会を通じて行われる。家族運動会、感謝祭記念作り授業、折り紙授業、文芸公演など形式の多様な活動は、父母と父母の間、父母と先生の間での友愛を深める。また、教師や保護者、生徒の協働の発展を促す活動方式である。家庭と学校の親睦会は、家庭と学校間の疎通、父母と父母間の疎通、子供と子供間の疎通に効果的なモデルだ。保護者と学校の協同イベントを開催し、子供が友達を探そうとできるようにし、保護者が学校や子供と交流できるプラットフォームを提供する。親子双方に良質の団体心理教育の空間と雰囲気を提供する。

### ○学級会議、グループ会議、団体会議

保護者の学級教育活動への参加を奨励しているが、例えば、学級会議、グループ会議、団体会議において保護者を参加させる。教育専門インターネット新聞によると、スンヤン中学校の各クラスは、「君を理解する」、「両親の笑いのために」、「両親の恩に感謝する」などのテーマでクラス会議を開いた。各テーマで全てのクラス会議は成功裏に実行された。

ある母親は『両親の恩に感謝する』が終わった後に言った。「子どもは希望であり未来であり、子どもを愛さない親はいない。今日のクラス会議を見て、私は、子供が私に感謝を感じると同時に、私も子供に感謝しなければならないということと、子供によって私の人生はもっと充実し、もっと意味のある人生を送るようになるということが分かった。これからは私は子どもと一緒に肩を並べて成長していく。」

### ○父母の文を収集する

学校は定期的に、または非定期的に父母の論文を募集することができ、1、2、3等の賞を与えることができる。優秀な論文は学校とクラスで交換し、発表を推薦することもできるし、『父母論文集』を出版することもできる。

### ○講演

講演は、家庭教育の知識の普及を目的とする伝統的な家庭教育の指導方法である。活動の範囲、場所、講演者など人の間の距離は比較的遠いが、小さくはクラスから、大きくは学校、学区、区と県（中国の行政区域）に達する。場所は教室、会議室、講堂、映画館のどれでも可能だ。講演者は専門家、学校の代表、ベテラン教師、担任教師、志願した父母など、外部から招待できる。

### ○討論と分析

90年代半ばから生まれた父母の自己修養活動だが、進行役が父母を集めて共通の関心事について討論し、ひいては分析までする。意見と観念が衝突する中で、父母自身の認識を高める一種の集団指導方式だ。

### ○録画資料で指導する

保護者に書籍、刊行物、広報資料などのマスメディア資料を推薦するもので、放送、映画、テレビ、録音資料と、録画資料などの映像資料も推薦する。



### ○家庭と学校をつなぐオンラインプラットフォーム

現在の通信機器の普及に伴い、すべての生徒の家にはコンピュータがあり、すべての親も携帯を持っている。社会が発展するにつれて競争が激しくなる今日、父母たちは働くのに忙しく、生計を立てるのに忙しい。生活のリズムは次第に加速し、人々はどんどんオンラインにより連絡することに慣れてきた。一つの連絡でコミュニケーションの目的を達成できることが多いが、これにより交通費も削減し、多くの時間を節約することになり、仕事の能率を高めることができるようになる。このため、多くの学校が、生徒の家庭向け通信文を作成し、オンラインプラットフォームを通じて家庭と連絡を取り、状況をやり取りし、親、生徒、先生が協力して、家庭と学校の共同教育を実現する。

### ○教師と父母の QQ を作れ

スマートフォンの様々な機能は、メンターとメンティ間のコミュニケーションをより便利で、素早く、自由にできるようにしてくれる。ウィチャット、QQ（注：テンセントが提供・運営するインスタントメッセージソフト）の出現により、オンラインコミュニケーションは個別コミュニケーションから集団コミュニケーションの新しい時代に突入した。教師と父母の QQ は、家庭と学校、家庭と家庭の間の交流と疎通の架け橋を構築し、教師と父母のために仮想の広い公共空間を提供した。また、父母がオンライン上で各自の問題に対する見解と考えを交換できるようにし、父母が学校業務に対してどのような見解と意見を持っているのか教師が理解するのに便利である。教師と保護者の QQ は、家庭と学校の民主的かつ円満な関係を築くのに役立ち、保護者を学校教育に積極的に参加させるのに有利であり、家庭と学校とのコミュニケーションの時空間をつなぐことを実現する。

### ○父母指導書

保護者指導書は、保護者に最新式の考え方を伝える。子供の教育に関する知識、育児の技術、家庭教育の技術などを紹介し、間違った育児方法から親が去るよう導き、同時に科学的な指導と代替案を提起する。また知識性、指導性、操作性、実用性を持っており、事例が豊富で生活と密接であるという長所がある。これは父母が合格点を取るに値する理想的な補助手段だ。

### ○家庭と学校の連絡網

家庭と学校の連絡網は、現在の家庭と学校のつながりを実現する簡便で効果的な方法である。家庭や学校の連絡網は円滑で便利で、適時に情報を伝達する。連絡網から保護者は子供たちの成長点と問題点を知ることができ、学校は家庭教育における具体的な要求を連絡網を通じて得る。教師は連絡網から学校教育の効果に対するフィードバックを得て、生徒が家でどのように行動しているかを理解し、父母の意見と要求事項を知る。

### ○「保護者オープンデー」を制定しよう。

これは、あらかじめ設定した時間に、学校が目的を持って父母を迎える準備をして、彼ら彼女らに学校に来て参観してもらい、教育活動の総合的な活動に参加させることである。

### ○「保護者勤務日」を制定しよう。

学校が日付を指定して、父母を何組かに分けて学校で「働く」ように招待することであり、直接的に学校の各種活動に参加させることだ。父母は朝の体操と授業を参観したり参加した

りすることで、クラスのチーム活動にも参加できる。子どもと一緒に昼食をとり、子どもたちの新聞読み取り活動やレクリエーション活動を参観し、子どもたちの就寝状況などを参観できる。学校の各種活動に保護者は全部参加できるし、選択して参加することもできる。

### ○マスメディアの活用

書籍、刊行物、映画、テレビ、放送、インターネットなどの文化媒体を介して、保護者に子どもの教育の科学的知識を伝えることは、いまや普遍的な家庭教育サービスの指導方法である。現代社会は、家庭教育の書籍や刊行物であふれている。特に、テレビやインターネットなどの媒体は、父母のそばで、家庭教育の知識資源を豊富に提供する。

### ○タブロイド新聞(小型新聞)を発行せよ

ひとつの条件があるとすれば、学校は『家庭教育情報新聞』(家庭教育指導新聞)などを創刊すべきだということだ。このような刊行物が、発表された家庭教育の良い事例を掲載したり、または専門家の講演内容を掲載したりして、保護者に家庭教育面の典型的な実例を教える。また、教師、生徒と父母を組織化して、家庭教育、家庭と学校の協力に関する文章を書かせることもできる。

### ○父母の社交の会

保護者社交の会は、保護者学校の一部であり、保護者に気軽に、憚ることなく話せる環境や機会を提供することだ。適切な場所を選択し、自発的を原則にして保護者を組織化し、個人参加活動を通じて保護者の教育行為を変化させる一種の指導サービスである。保護者社交の会の活動方法は、限らない。例えば知識クイズ、レクリエーション、展示公演、状況再現、現場討論、体験学習などがある。保護者が好む内容ややり方なら、どれでもありだ。それは、父母に対して、教育知識と教育能力を得るようにし、子どもの教育に関して自信を持たせ、教育経験を得るようにしてくれる一種のプラットフォームだ。

### ○文芸作品分野

歌曲、随筆、演劇などを使って、父母に家庭教育の知識を広報する、一種の集団性を持った指導方式だ。文芸作品は家庭教育の指導活動のイメージ、躍動感、活発さを表現する。この方法は、人々に芸術を楽しませ、浄化させ、教化し、徐々に指導を受けさせるが、これは教育指導の痕跡を残さず、家庭教育指導を芸術として具現したものである。家庭教育指導の様々な方式の中で独特の役割(特徴)を持っている。

### ○メニューマップ

「メニュー式」家庭教育指導は、伝統的で閉鎖的な家庭教育指導方式よりは相対的である。伝統的な家庭教育指導は基本的に「指示的」方式であり、これは学校が項目、活動、時間、場所、保護者参観などを学校が指定するもので、保護者には選択権と機会がない。

「メニュー表式」教育はこの伝統的なモデルを更新した。「メニュー表式」教育は、養成所(学校)を「食堂」とし、活動場所(教室など)を「食事」ができる「場所」とすることである。指導者を「シェフ」と考え、保護者を「顧客」と考え、教育テーマを「好み」、教育内容を「メニュー」と考える。「顧客」は自分の「好み」と「メニュー」によって「注文」をし、自分の需要を満足させる。

### ○スーパーマーケット式の方針

家庭教育指導における「スーパー」とは、様々な場所を活用して異なる内容の教育を同時に行うことをいう。保護者はスーパーマーケットに入ったように、実際の必要に応じて最適な「商品」を選択する。「スーパーマーケット式」の方針は、いわば「スーパーマーケット」に入って「買いたいもの」を「選択すること」だ。今後、学校の教育サービスは「劇場式の形態（一方向疎通）」から「スーパーマーケット式の形態」に変わらなければならない。

### ○刊行物を受け取る方式

刊行物を受け取る方法は、関連教育資料を発送して家庭教育を指導する一つの方法である。基本的に今では見られない「通信教育大学」を手本とした。基本的なやり方は、資料を定期的に発送することを主な教育手段とし、受講生が直接独学で知識を習得することである。これにより、場所、教師、時間等に制限されないため、より広い範囲で家庭教育指導サービスを実施することができる。この指導方式は、様々な理由で普段の教育に参加できない人々（例えば共働きの親など）の需要を満足させることができる。

### ○顧問（コンサルタント）指導方式

家庭顧問は、科学的手法と技術的手段を使って各種家庭問題を解決することを本分とし、家庭教育指導業務を拡張するものである。家庭顧問は家庭に対して俯瞰的に関心を持ち、保護者の能力向上を助け、家族関係の形成を助ける。「指導+顧問」を行うことが家庭教育指導における大きな特徴である。

### （2）間接的な指導サービス方式

間接的な指導は、指導サービスの対象者と直接対面しない指導サービス方式を指す。ここで言う指導サービスの対象は、主に保護者を指す。家庭教育指導者、家庭教育従事者、父母奉仕者の教育を通じて父母の資質を高めることは、家庭教育を専門化させるとても良い方法だ。この方法は保護者を直接対面させる方法ではないため、「間接指導」と呼ばれる。

#### 1）家庭教育指導者を養成せよ

家庭教育指導士は科学的な理論と方法を用いて、家庭教育に関する知識の伝達、問題相談、情報サービス、活動組織化等、専門指導を行う者を指す。簡単に言うと、家庭教育指導者は家族が上手に教育できるよう科学的な方法で手助けをする専門家だ。一般的に言うと、保護者と子供たちが専門理念、専門知識、専門知識を利用するよう指導する。この仕事をしているのは家庭教育の指導者である。

家庭教育指導士という職業は、経済と教育の発達した米国と英国などの西欧国家で真っ先に生まれた。米国の家庭教育指導者団体は1980年代（20世紀）に設立され、30年余りの発展を経て日に日に成熟し、すでに序盤の非主流性、不法性、各種論議を改善して、政府の承認を得て大衆に認められた。我が国は西洋の先進経験を手本とし、それを学ぶことを重要視し、関係者は2006年に「家庭教育指導者」という名称を使い始め、その「苗木」が本土で「中国式の実」を結ぶことを望んでいた。

ここ数年間、中国国際民間組織合作促進会が、保護者と教師合作管理委員会（CPTA）を設立したため、「家庭と学校共同教育指導者」という新しい名称は人々の目に入り、広範囲な関心を集めるようになった。「家庭教育指導者」という基盤の上に「家庭科学学校共同教育指導者」

の養成は、普遍的に多くの人々に認められるようになった。

## **2) 家庭教育者を養成せよ**

家庭教育者とは、家庭教育の指導とサービスから家庭教育相談、親子教育相談、親子職業教育（父母教育）に至るまで、各分野の専門家を指す。小中高校、幼稚園、家庭教師、早期教育機関などの教師もすべて含む。心理（教育）相談センター、青少年活動センター、婦女子と子どもサービス機構、地域住民委員会、結婚家庭相談指導センター、家庭サービスセンター、青少年教育養成機構、地域社会サービス機構、保健教育サービス機構などは、会社員、拡大家族などと関連がある。これらの人々の教育は民間団体の重要な責務であり、家庭教育の質を高める確実な方法だ。

## **3) 心理カウンセラーを養成せよ**

心理カウンセラーは、心理学及び関連知識を活用し、心理学理論に基づいた心理相談の技術と方法を用いて、必要な人の心理問題を解決できるように助ける専門家である。心理カウンセラーは助けを求める人本人が、心のわだかまりを解消することができるよう助けてくれる。心理相談の最も一般的で主な対象者は、健康な人または心理的問題のある人たちだ。健康な人は家庭、職業選択、学業、社会適応などの多くの問題に直面するだろう。人生の各段階を順調に送り、自分の能力を最大限発揮しようとし、良質の生活 生活を得ることを願うだろう。心理カウンセラーは心理学の観点からの的確な相談を提供し、それに相応する助けになるだろう。

06年から国家労働社会保障部は、国家公認心理カウンセラーの採用に新しい基準で資格試験を実施している。心理カウンセラーを選抜する新しい基準は、3つの等級に分けられ、それぞれ心理カウンセラー3級、心理カウンセラー2級、心理カウンセラー1級（実施されていない）だ。従来の心理相談員（国家公認3級）と高級心理カウンセラー（国家公認1級、施行されていない）の名称はなくなった。

家庭教育の観点から見ると、多くの父母と子供たちの持つ問題点は全て心理的に関連しており、ある意味では父母の家庭教育相談はほとんど心理相談と言える。他の角度から言うと、もし心理カウンセラーが家庭教育の知識を把握していたら、魚が水を得たようなもので、虎が羽を得たようなものだ。このため、心理カウンセラーを家庭教育指導者として養成している。また、これらを「双方向」の人材にすることは、民間団体の目標の一つである。

## **4) 保護者奉仕者を養成せよ**

たとえ志願者であってもボランティアとは、自発的に参加して無報酬の公益事業を業務として行う人を指し、あるいはボランティア業務に専従する人を指す。「保護者奉仕者」とは、ボランティアの身分を持つ保護者（一般的に生徒・家庭教育の専担者、つまり両親と祖父母、または法的義務を持つ保護者）を指す。無償で学校教育管理と学校の日常的業務に参加し、その中で協調し、又は主要決定者の役割を果たすことをいう。

具体的に言えば、保護者奉仕は、教育環境、教育方式の絶え間なく新しい要求に基づいて、保護者の家庭教育に対する強い責任感と学校の教育業務に対する暖かい応援をつなげる。関連部門の支持を得て、学校の主唱と体系の下で、学校全体の父母の自発的な参加で構成される教育ボランティアサービス団体、大衆団体等は、父母、教師、生徒が共同で学校の教育環

境の管理監督を促進させることを目的としている。学生活動ボランティアは、学生たちの一般的な資質を共通的に向上させ、学校管理の水準と学校運営の水準を共通的に高めてくれる。

中国で父母奉仕の最も理想的な標本は広東省東莞市豊岡鎮だ。2008年、豊岡鎮政府は「政府主導、学校主体、保護者参加」の3つを成功的に結合させた。養ティエンポー小学校でモデル実施して父母奉仕団を組織し、父母奉仕団を学校研究の管理業務に参加させた。5年間の試行錯誤を経て、鳳降の保護者奉仕団は、既存の37人から3688人に人数が増えた。

全般的に都市の授業の質は次第に向上した。中国教育学会・家庭教育専門委員会に対し、2012年の彭康鎮政府首席委員会は、「保護者奉仕団を学校管理の実践および研究に参加させる」というタイトルでプロジェクトを申請し、財政支援金50万元を受け取り、研究基金として使用した。また、豊岡鎮政府広報教育文体部、豊岡鎮婦女連合、豊岡鎮官公委（中国次世代雇用関心委員会の略）、豊岡鎮家庭教育協会などの部署を連合し、豊岡鎮の学校や幼稚園で研究内容を実践している。

2014年9月にはプロジェクトを締めくくり、4冊の家庭教育専門書籍を出版した。保護者20万人余りを累積的に養成し、毎年家庭教育講座を数多く開催して研究専門家と社会から研究成果が認められ、その普及に努めている。保護者のボランティア経験は2016年に東南アジア3国（韓中日）の民間団体フォーラムで紹介された。

結論：家庭教育（親子教育）は既に世界的な課題となっている。約8割の家庭では、異なるレベルの青少年精神障害、授業無断欠席、不眠症、試験に対する圧迫感、親子衝突、家出、インターネット中毒、薬物乱用、求職不可、性問題、青少年の妊娠、乱れた性関係、盲目的な芸能人追従、意志薄弱、財テクに対する無関心、老人との衝突、自害と自殺、未成年の合法的権益、片親（あるいは世代間）教育、集団暴行、傷害事故、暴力事故、青少年犯罪などの問題を持っている。子どもの感情と行為による困惑は日増しに深刻になっている。数十年、さらには何百年もの教育理念と方法は深刻な問題となり、社会の安定をも破壊した。

家庭教育、学校教育、社会教育の3つの教育システムは、一人の人生の教育システムを構成してきた。中国の3大教育システムの中で、社会教育は相対的に学校教育ほど行われていないが、比較的家庭教育はよく行われていて、学校教育がその中でも最もよく行われている。学校教育に関する法律、法規はすでに体系的であるが、家庭教育はまだ付いていけない。教師、設備、教材、経費など学校教育とは比較にならない。

幸いなことに政府はすでに家庭教育の重要性を認識しており、家庭教育立法はすでに立法日程に上がっている。家庭教育、家庭と学校の協力等、家庭教育指導と関連のある方面の政策は絶えず打ち出されている。これは民間団体の家庭教育指導サービスの展開に多大な発展をもたらしている。私たちは民間団体の一員として、必ず機会をつかんで時代の流れに歩調を合わせなければならず、絶えず政府に対策を建議し、多くの家庭に正しいサービスを提供するように努力しなければならない。

## 4. 事例報告

---

### 4.1 日本側事例報告

#### COVID-19 が「予現」させた 2030 年代の日本に備えるために

川北 秀人 (HIDETO KAWAKITA)

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 代表

皆さまこんにちは。第 11 回東アジア市民社会フォーラムのセッションにお招きいただきまして、ありがとうございます。川北と申します。今回は、コロナの影響で実参加できず残念に思います。

この会議を開催していただきました韓国側の実行委員会の皆さま方、Nam Young-chan 先生はじめとする皆さま方に心からお礼申し上げたいと思います。また、Wang Xianyi 先生をはじめとする中国側の皆さま方にもご参加いただいておりますことを、心からお礼申し上げます。

私が担当させていただきますのは、「COVID-19 が『予現』させた 2030 年代の日本に備えるために」という論題でお話をさせていただきたいと思います。ここから先は、PowerPoint を画面共有させていただきながらお話しさせていただきたいと思います。

簡単に自己紹介をさせていただきます。本業は、市民団体の運営支援を 1994 年から行っており、かれこれ 25 年ほどたちました。その中で、私どもにとって大きな変化をしてきたのが 2005 年ごろからです。それまでは、ボランティアや、NPO といった方々が多かったのですが、2005 年から 2010 年にかけて、私どものところに自治会や町内会の方々からもお問い合わせがたくさん来るようになりました。これには、いくつか背景がございます。その背景についても後ほど触れてまいりたいと思います。

また、市民団体の運営のお手伝いをするという仕事の傍ら、助成機関の方々からのご依頼をいただき、お手伝いもさせていただいております。例えば、トヨタ自動車が行っております環境助成活動、あるいは、文部科学省が所管しております科学技術振興機構のいくつかの領域において、研究開発の社会実装といったお手伝いをさせていただいております。

また、今回の東アジア市民社会フォーラムの日本側の実行委員会に対して助成をさせていただいております庭野平和財団の助成小委員会の委員長も務めさせていただいております。その観点からもこの会を開いていただきましたことに重ねてお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

また、一昨年からですが、わが国では、休眠預金を使った社会改革のための助成制度が昨





年度から開始されており、それをお預かりしております日本民間公益活動連携機構という組織がございます。その評議員も設立時から務めさせていただいております。

ですので、私ども自身の組織の規模は小さいのですが、お手伝いさせていただいている資金を合わせますと、年間に何十億円というような助成制度のお手伝いもさせていただいております。

まず、冒頭でご紹介申し上げたいのは、日本において COVID-19 が市民生活にどのような影響を与えたのかということでございます。最初に陽性者が判明いたしましたのは、1月16日でした。2月13日には初めての死者が確認されまして、2月27日に当時の安倍首相は、全ての小中高校や特別支援学校に対しまして休校を要請いたしました。

そこで、言ってみれば、共働き家庭からすれば、何の社会的な支援もないまま、お子さんが明日から学校がないといった状況が始まったわけです。そこで、学童保育をはじめとする市民団体が数多くお手伝いするという状況が始まりました。

その後も陽性判明者が増え続け、3月24日には、2020年開催予定のオリンピック・パラリンピックの延期が発表され、4月7日には、全国に47都道府県ございますが、そのうち7都道府県について緊急事態宣言が出されました。残る40の道府県におきましても、4月16日に緊急事態宣言が行われたところでございます。

その後若干、新規の陽性判明者数が減ってきたことを受けまして、一部を除いた39につきましては、5月14日に緊急事態宣言が解かれました。このため、営業自粛や、外出制限といったことは、かなりの地域で解かれました。5月26日には、全ての都道府県で緊急事態宣言が解除され、6月19日には、都道府県境をまたぐ移動についても自粛要請が解除されました。

ところが、やはりその後、検査体制が整ってきたこともあり、4月・5月ごろの数倍に及ぶ陽性者が判明しています。重症者の数が増えたわけではありませんので、その辺は若干、市民の安心を呼んでしまっている部分もあるかと思いますが、4月・5月には累計1万人に届くかということを言っておりましたが、収録をしています9月23日の時点では8万人に届こうとしているという状況です。

一番物資が厳しい時に、韓国、中国をはじめとする各国からたくさんのご支援をいただきましたことに、ここで深くお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

この後、いったいどういことが起きたのか。まず、緊急事態宣言によって大きな影響を受けましたのは、非正規労働の方々が仕事を追われるということ。そして、ネットカフェも休業されることになってしまい、そこで暮らしていらっしゃった、東京都だけで約4,000人の方々にとっては、仕事も居場所も失うということが起きました。

2018年に東京都が行った調査によりますと、ネットカフェ難民状態にある方々の平均月収は11万円ほど。年収で140万円弱になりますが、これは、日本の給与所得者の平均値が441万円（正規雇用約500万円、非正規雇用約180万円）であり、その金額を大幅に下回る水準の方々が、アパートを借りることも難しいといった理由でネットカフェにいらっしゃった。この方々が、住まいと仕事を同時に喪失する状況になられたわけです。

行政も支援していなかったわけではありませんが、しかし、行政の支援を受けることが難しい方々をNPOが支援する状況でした。

また、一人親家庭、特に母子家庭に限定いたしますと、食事に与える影響が非常に大きく、食事の回数を減らす、一回の食事の量を減らすといった家庭も出てまいりましたし、食事のメニューが炭水化物だけになってしまったところが増えたということも調査でわかってまいりました。

また、政府が設けました緊急小口貸付や総合支援資金についても、6カ月ほどで100万件を超える申請がありました。ちなみに、昨今のわが国において最も大きな経済的なダメージを受けましたのが、リーマン・ショックの時ですが、その時に3年間で申請が20万件。その時と比べますと、その3年間で申請件数の5倍を超える申請が半年近くで行われました。

しかし、「本当に大変なのはこれからではないか」とおっしゃっている方が多い。私が今申し上げたような、COVID-19は決して新たな課題の原因となったのではなく、もともと課題や困難を抱えていらっしゃった方々にとって、より困窮度を増した。つまり、既存の課題の加速器、あるいはレンズに当たるものだということがおわかりいただけるかと思います。

では、市民団体にとってどういう状況だったか。例えば、施設管理を行政から請け負っている。あるいは、介護保険事業を行っているといったような団体は、政府からの資金がちゃんと継続的に入ってくるということもありまして、影響もあるが、それは決して大きくないという団体が実は多いのです。

その半面で、自然体験活動や、海外の国際協力、あるいは、農村との交流を行っているような団体の多くは、存続の危機に瀕していると、あるアンケートで回答しています。

自然体験の団体で申し上げますと、夏の間に例年200万円ほどの収入があるけれども、これが今年は20万円未満、つまり10分の1に下がってしまった。あるいは、修学旅行を受け入れていたけれども、例年は秋に60校受け入れをするところが20校弱に減ってしまった、といった問題も起きています。

これは、自主財源率が高いほど、その危機の困窮度が高いといった、いわば、自律度の高い団体ほど、今回の件でダメージを大きく受けていることを意味します。

こういった状況も、自粛や事業停止といった段階から、それを乗り切るために緊急に寄附を集め、さらには、困窮されていらっしゃる方々のために食品や通信機器などを提供する。そして、感染予防対策を行うことによって活動を再開すると同時に、例えば、その活動を一部オンライン化して実施する団体も増えてまいりました。

つまり、団体自身も置かれている状況をどう乗り切るのかという、非常時のサバイバルの段階から、事業モデルを開発する段階に入ってしまったのです。

また、多くの助成機関が緊急助成を行っておりまして、先ほど申し上げました休眠預金制度についても、特別助成を行う準備を行っております。

、また、庭野平和財団も、この緊急時における取り組みの状況把握を目的としたシンポジウムを連続開催し、私がその進行役を担当させていただきました。

さて、今回、大規模な自然災害でないにもかかわらず、東京においては「医療崩壊」といったことが指摘されました。なぜ医療が崩壊するというような事態が発生するのか。これには、もともとわが国が抱えていた課題があるということを申し上げることができます。

今、画面でご覧いただいておりますのが、日本では、いったいどこで人が死んでいるのか

について、1951 年から 2018 年までを横軸に取ったものです。青い部分が病院で、緑の部分が自宅でということですが、1970 年ごろまでは、自宅で亡くなる方のほうが多かった。ところがそれ以降、病院で亡くなる方が増えていまして、2015 年ぐらいからはこれがフラットになっていく（増加が止まる）ことがおわかりいただけるかと思います。

つまり、病院や介護施設のベッド数が限られてくると、結果的に自宅で亡くなる方の比率が高くなってくるのです。

次のグラフは、横軸に病院などの施設で亡くなる方々の比率、縦軸は、自宅のように施設の外で亡くなる方々の比率を指します。円の大きさは、各都道府県の亡くなった方の数を指すわけですが、左上にある自宅で亡くなる方々の比率の高い、球の大きいところはどこかというと、ここが東京や大阪、神奈川といった、今回いわゆる医療崩壊が心配されている都府県です。

つまり、東京はもともと人口密度が高く、医療機関の数が多いとはいっても、病床に限りのある、つまり、今回の事態は、今後わが国においてさらに高齢化が進んだときにどのような事態が訪れるのかを、あらかじめ体験させるような、「予現」といった状況であることがおわかりいただけるかと思います。

では、いったいこれからわが国には、どういう将来が待っているのか。

横軸は 2005 年から 2030 年までの時間の推移、縦軸は 65 歳以上の高齢者につきまして 5 歳区切りしたものです。65 歳から 69 歳までは 2005 年に 740 万人、2010 年に 820 万人、2015 年に 960 万人と増えてき。このうち要介護 3 以上の方は、2015 年の 960 万人のうちの 7 万 9,000 人で 0.8%。つまり、毎日ヘルパーさんに来てもらわなきゃいけない、あるいは、特別養護老人ホームに入らなければいけないという方は、65 歳から 69 歳のうち、0.8%しかいらっしゃいません。70 歳から 74 歳でも 1.7%です。言い換えれば、前期高齢者の方のうち、要介護 3 以上の方というのは、100 人に 1 人しかいないのです。

ところが、85 歳以上では 23.2%、つまり 4 人に 1 人が要介護 3 以上です。これまで日本では、前期高齢者がずっと増え続けてきたのですが、今後減ってまいります。これまでは、前期高齢者という、まだまだ元気で、まちづくりの担い手となり得る方々が増え続ける、ハッピーな第 1 幕でした。ところがこれからは、この担い手が減っていくにもかかわらず、85 歳以上は増え続けるという状況を迎えます。つまり、日本における高齢化は第 2 幕を迎えたわけですね。

2015 年を真ん中に取り、前後 20 年間人口構成上どういふ変化が起きてきているのか。日本全体を人口 100 人として見ると、これまで若干増えて最近では若干減ってきた。これが 2025 年、2035 年となると、こうなります。

ご注目いただきたいのは、先ほど申し上げたように、まちづくりの主役である 65 歳から 74 歳までは、現時点が一番多く、これからは減っていきます。ところが、85 歳以上は、これからまだ 2 倍に増えていく。つまり、地域でお世話をされる人は 2 倍になっていくけれども、地域でお世話をする方々はこれから減っていく、という局面に入っていく。

これを実数で見ると。わが国は今、1 億 2,700 万ほどの人口ですが、85 歳以上の方々は 500 万人弱。これが 2035 年になりますと 1,000 万人を超えてまいります。その時、わが国の人口

は1億1,000万、つまり人口のおよそ10人に1人が85歳以上になるまで、あとわずか15年しかないのです。

わが国の就労人口も大きく変化しており、1次産業、2次産業は大きく減っているのですが、3次産業も、ピークに比べてはもう減り始めています。約4,000万人の第3次産業就労者のうち、介護や、あるいは障害者の支援といったような福祉領域でお仕事をされている方が、もう約400万人になりました。わが国で介護保険制度ができたのは2000年。つまり、わずか15年間に、約400万人の福祉系就労者が増えていますが、今後85歳以上が2倍になったときに、現在の2倍の福祉需要を支えられるだけの人材がいるかということを、ちゃんと想定においた地域づくりや、社会づくりが求められるということを意味します。

また、わが国の空き家率が13%程度ですが、世帯数の減少が本格化いたしますと、空き家も5軒に1軒になるということも、15年後ぐらいには想定しておく必要性が出てまいります。

世帯構成で見えてまいりますと、75歳以上の独りぐらしまたは2人ぐらし、つまり75歳以上のみで構成される世帯を後期高齢世帯といますが、この後期高齢世帯が全世帯に占める比率が、2005年の時点では5.9%（全世帯の17軒に1軒）。これが2015年時点では9.2%（11軒に1軒）、2025年には8軒に1軒。

また、後期高齢者の単身（独居）者も、2015年時点で320万人。この320万人というのは、男性75万7,000と女性244万2,000の足し算です。つまり、320万人の独りぐらしの後期高齢者の8割がおばあちゃん。ですので、後期高齢者独居問題のほとんどは、おばあちゃんの困り事にどう応えていくのかが大切になってまいります。

ちなみに、75歳以上の方は1,600万人、うち320万人が独り暮らししているということは、率で申し上げますと、およそ2割。つまり、75歳以上の人の5人に1人は、独りぐらしをしているというのが現状です。

この比率は、日本海沿岸部や中山間地域では、3世代同居世帯比率が高いことから、この比率が1割前後まで下がります。ところが東京の都心部では、既に後期高齢者独居率が4割に達しているという地域もございます。

こういった都心部は、現時点では高齢者率が低いですが、もともと後期高齢者独居率が高いことから、日本の高齢化の第2幕における最も深刻な課題は、都心部で今後加速度的進む高齢化であると、私は考えています。

こういった事態に、どう備えるか。かつて子どもが多かった時代は、盆踊りや運動会で地域づくりを進めてきた。ところが、高齢化と人口減少が同時進行する地域においては、最小限の安全・安心の維持、文化伝統の維持、そして買い物難民などにならないように経済的な力を守るといったことが求められる。これに備えるために、行事型から事業型へ、そして、地域の人たちは役を交代し合うのではなくて、ちゃんと地域を経営し担い手を育て続けるのだ、といった考え方を持つようになってきました。

こういった考え方を、私どもは、「小規模多機能自治」と呼んでいます。小さな地域でも、より多くのことを担えるようになることで、安全と安心を地域自らで守っていくということです。

私は今、全国各地からお招きいただいているのですが、人口減少が進んでいるところや、

かつて都市部として非常に栄えたけれども、若者が転出してしまったといった地域にお招きいただく機会が多いです。そういった方々に強調しているのは、高齢者の方々が気付かないうちに進んだ、平成の30年間における日本の最も大きな変化は、「家族の規模が小さくなった」（小家族化）ということです。

家族が小さくなれば、自助できる範囲が小さくなる。さらに、働き方が変わり、第1次・第2次産業で働いている人が減って、第3次産業で働く人が増えた。すでに福祉分野が、日本で最大の雇用先業種になった。すると、週末がお休みではないから、若者ほど週末の行事に参加できにくくなる。

さらに高齢化が第2幕に入った。地域づくりの主役である前期高齢者が減っていく。地域では、お世話になることになる85歳以上の方々が増え続けるまま、お世話する側の世代の前期高齢者の人たちが減っていくという状態が始まります。

では、この状況下で日本はどのように対応していく必要があるのか。COVID-19の影響はこれからもしばらく続くと考えざるを得ない。そこで、状況把握や関係先との協議も行いながら、規模の縮小や、あるいは対象の維持、場合によっては、対象を拡大するという判断が迫られます。

その中でNPOは、寄附を募るだけではなくて、今後の社会状況に適した参加、あるいは、その協働のあり方に向けたプログラムの開発が求められます。助成機関には、NPOのプログラムの開発を促すために、NPOによる調査や試行を支援することも求められます。この点についても、ぜひご理解をいただきまして、今後、社会の変革期に際して、NPOや社会事業家によるチャレンジを応援できる市民社会の形成を促すために、助成機関の方々にも、ぜひ進化をお願い申し上げたいと考える次第です。

長くなってしまいましたが、以上とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

第11回東アジア市民社会フォーラム  
コロナ感染拡大後の社会変化予測と、市民社会の役割  
Session2 Post-Corona, The Role and  
Responsibility of Civil Society

# COVID-19が「予現」させた 2030年代の日本に備えるために

IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]  
代表者 兼 ソシオ・マネジメント編集発行人 川北 秀人  
<https://blog.canpan.info/iihoe/>  
*Proud to be a partner of the changes you make.  
Inspiring Social Innovations since 1994.*

スライド1

## IIHOEって？

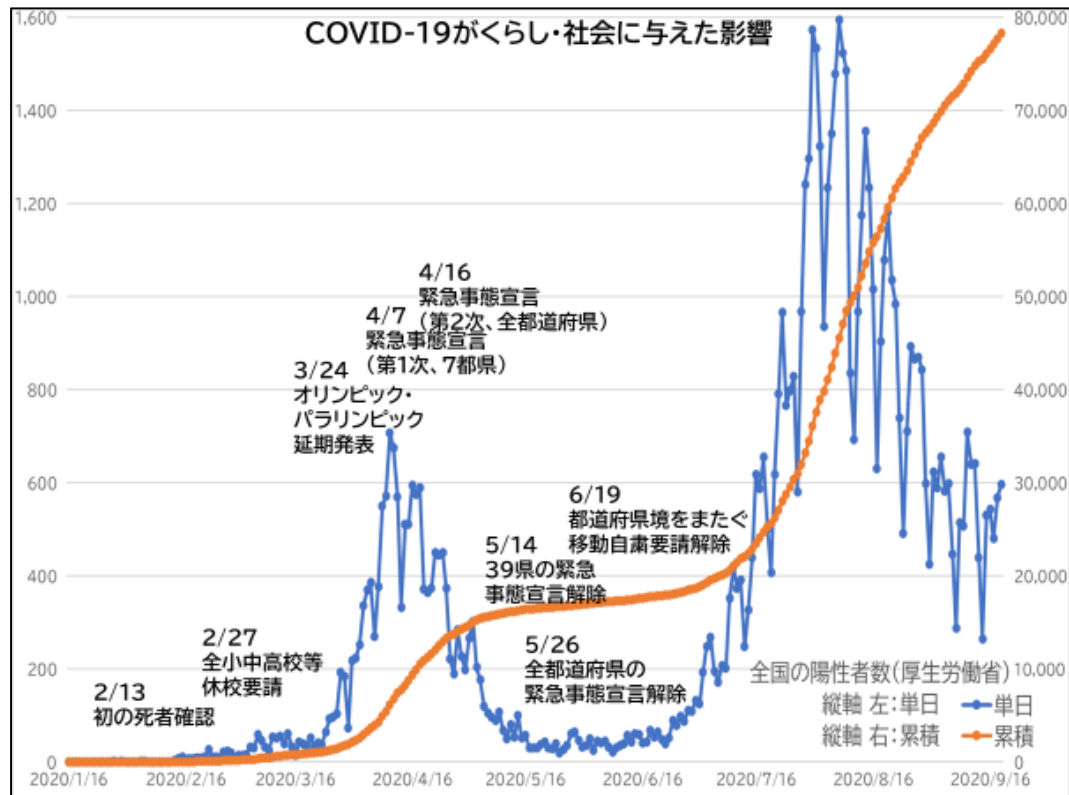
- ・組織目的：地球上のすべての生命にとって、  
(1994年) 調和的で民主的な発展のために
- ・社会事業家(課題・理想に挑むNPO・企業)の支援
  - ・「NPOマネジメント」(99年-11年)、「ソシオ・マネジメント」
  - ・育成・支援のための講座・研修
    - 地域で活動する団体のマネジメント研修(00年以降 年100件以上)
    - 行政と市民団体がいっしょに協働を学ぶ研修(年30県市)
    - 「ソシオ・マネジメント・スクール」6テーマで開講(15年-)
- ・調査・提言：「NPOの信頼性向上と助成の最適化」  
「協働環境」「自治体の社会責任(LGSR)」
- ・ビジネスと市民生活を通じた環境・社会問題の解決
  - ・企業の社会責任(CSR)の戦略デザイン・役員研修(年10社)
- ・2020年代の地球への行動計画立案
- ・専従2名(一昨年末まで在宅・育児短時間1名)、3200万円→半減見込み

スライド2

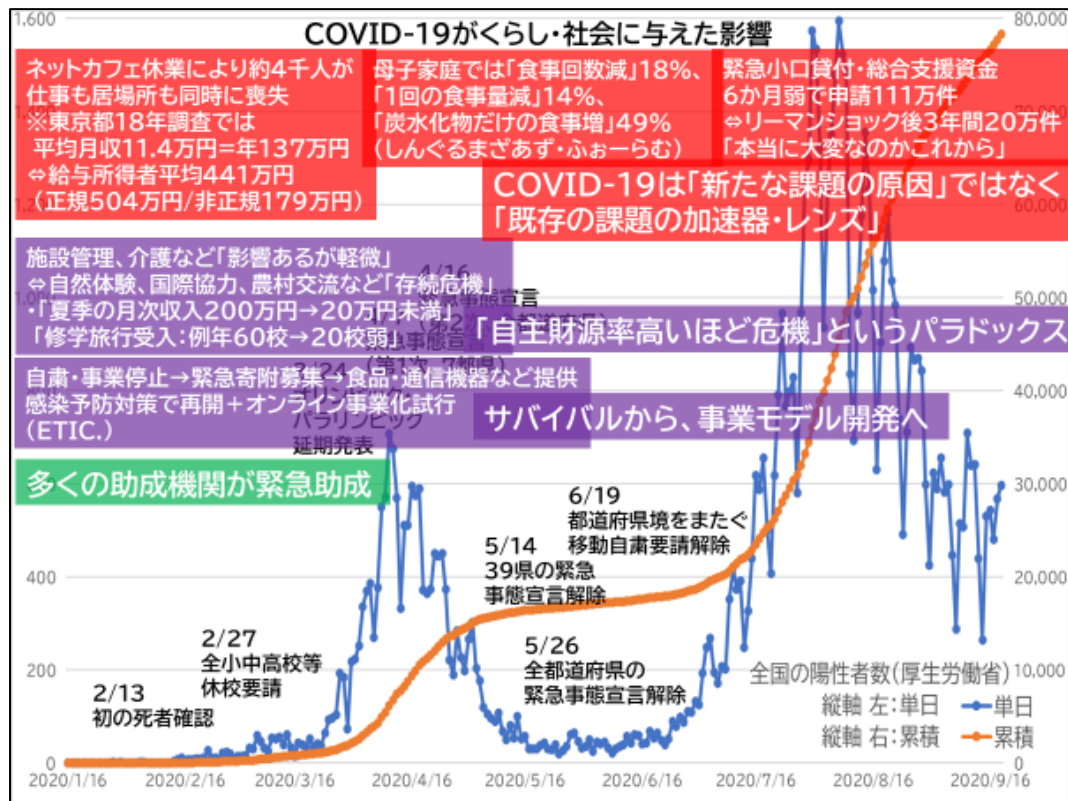


- 助成機関などとの関係では、
- ・セブン-イレブン記念財団公募助成 最終審査員(05年-)
  - ・トヨタ環境活動助成 一次選考担当(07年-)
  - ・モバイル・コミュニケーション・ファンド 市民活動助成 選考委員長(17年-)
  - ・科学技術振興機構 社会技術研究開発センター 社会実装アドバイザー(08年-)
  - 同 公/私空間アドバイザー(18年-)
  - 同 SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム 総括補佐(19年-)
  - ・日本郵便 年賀寄附金 評価委員(10年-)、委員長(19年-)
  - ・環境再生保全機構 地球環境基金 評価委員(14年-)
  - ・庭野平和財団 助成小委員会 委員(05年-)、委員長(15年-)
  - 子ども被災者支援基金 選考委員(14年-)
  - ・全日本社会貢献機構 常任幹事(07年-) 日本民間公益活動連携機構 評議員(18年-)
  - ・新潟NPO協会 子どもの安心・自信・自由を守る基金 運営委員(18年-)
  - ・PanasonicNPOサポートファンド(環境)委員(04年-)、委員長(06-11年)
  - ・トヨタ財団 国内助成 選考委員(16年-18年)
  - ・科学技術振興機構 フューチャー・アース 国内委員会 委員(15年-19年)
  - ・あの「エコポイント」アドバイザー委員！
  - ・社会起業塾イニシアティブ 塾長/シニアメンターなど(02年-)
  - ・東海若手起業塾(08年-) など

スライド3



スライド4



スライド5

オンラインセミナー(全4回) **「新型感染症が与える影響と市民社会」**  
【主 催】(公財)庭野平和財団 【企画・運営】IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]

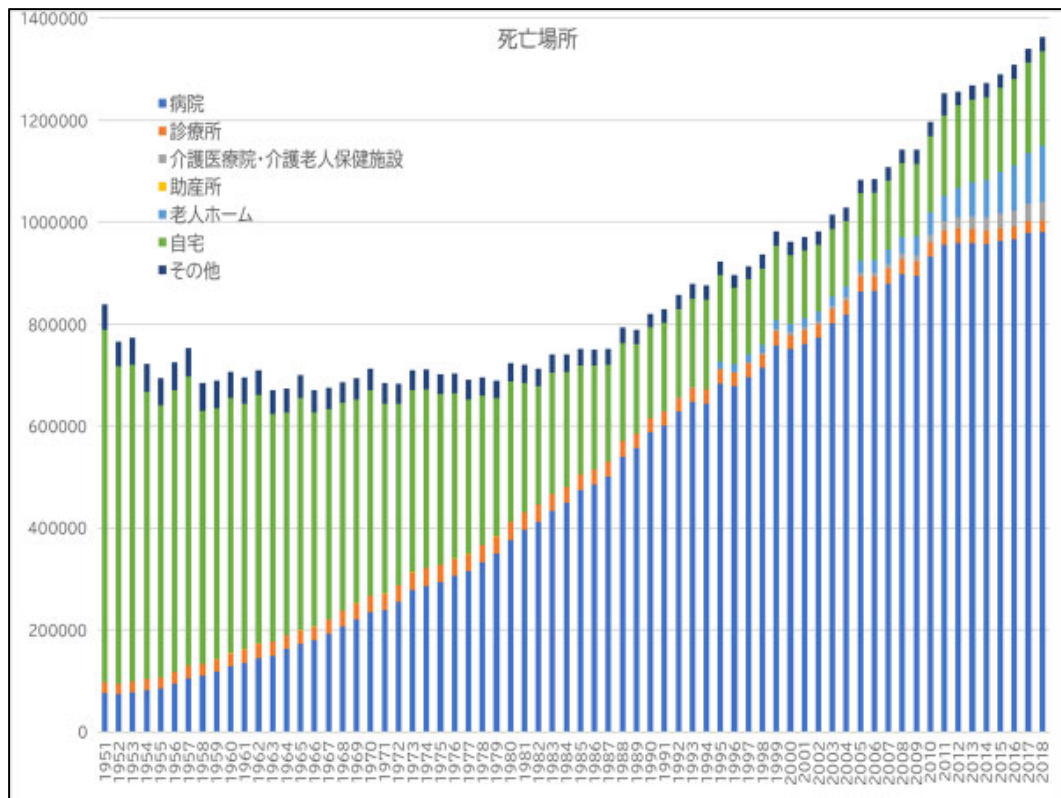
第1回 新型コロナウイルス感染拡大が、困難・課題を抱えた人々と、  
その支援者に与えた影響と今後①  
【日 時】2020年6月22日(月)16:30~18:00  
【登壇者】稲葉 剛 氏(一社)つくろい東京ファンド 代表理事  
小河 光治 氏(公財)あすのば 代表理事

第2回 新型コロナウイルス感染拡大への助成機関の対応のこれまでとこれから  
【日 時】2020年7月15日(水)16:30~18:00  
【登壇者】阿部 陽一郎 氏(社福)中央共同募金会 理事・事務局長  
石原 達也 氏(一社)全国コミュニティ財団協会 常務理事・事務局長

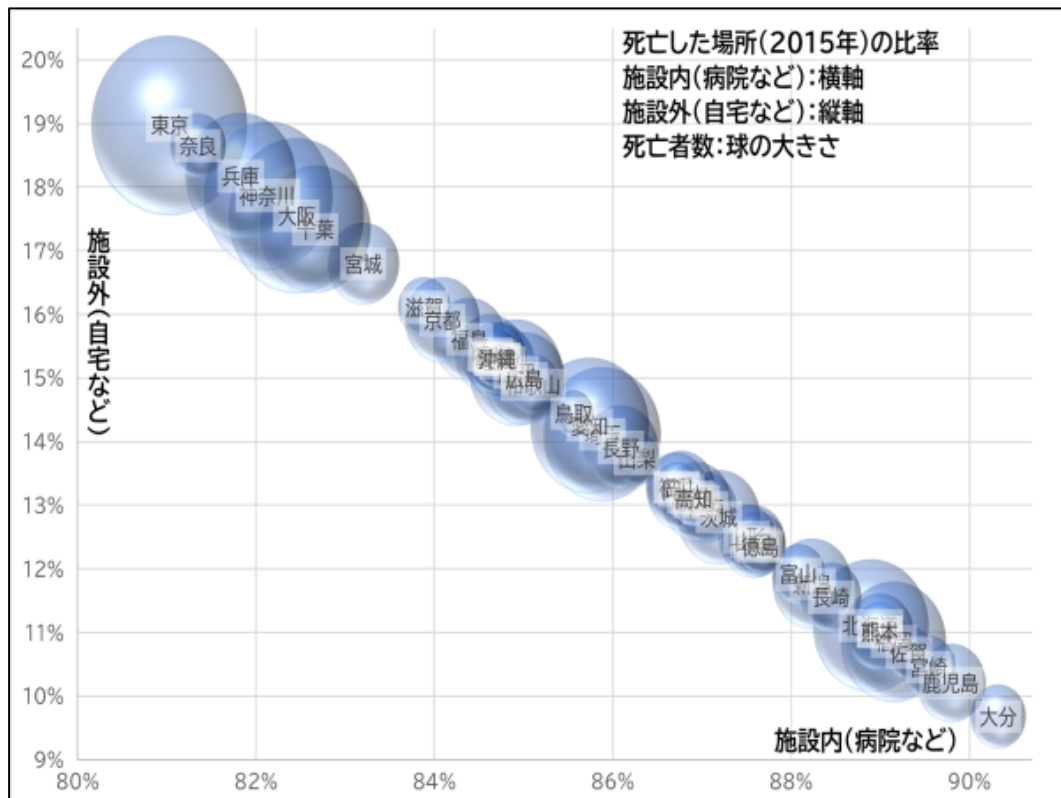
第3回 新型コロナウイルス感染拡大への宗教者の対応のこれまでとこれから  
【日 時】2020年8月5日(水)16:30~18:00  
【登壇者】戸松 義晴 氏(公財)全日本仏教会 理事長  
西原 美香子 氏(公財)日本YWCA 業務執行理事

第4回 新型コロナウイルス感染拡大が、困難・課題を抱えた人々と、その支援者に与えた影響と今後②  
【日 時】2020年8月7日(金)16:30~18:00 \*第1回-第3回の内容を踏まえ、各セクターが今後取り組むべき対応について解説。  
【講師(兼 第1回-第3回 進行担当)】川北 秀人 IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所] 代表者

スライド6



スライド7



スライド8

| 介護ニーズは80歳代で急増する→高齢化「第2幕」へ |             |             |             |             |             |             |
|---------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 単位:千人                     | 2005年       | 2010年       | 2015年       | 2020年       | 2025年       | 2030年       |
| 65-69歳                    | 7,433       | 8,210       | 9,644       | 8,239       | 7,163       | 7,467       |
| 要介護3以上                    | 63          | 68          | 79          | 67          | 59          | 61          |
| 人口比/構成比                   | 0.8%/ 4.8%  | 0.8%/ 4.1%  | 0.8%/ 4.1%  | 0.8%/ 2.8%  | 0.8%/ 2.1%  | 0.8%/ 2.0%  |
| 70-74歳                    | 6,637       | 6,963       | 7,696       | 9,233       | 7,808       | 6,808       |
| 要介護3以上                    | 122         | 121         | 128         | 153         | 129         | 113         |
| 人口比/構成比                   | 1.8%/ 9.4%  | 1.7%/ 7.3%  | 1.7%/ 6.6%  | 1.7%/ 6.4%  | 1.7%/ 4.7%  | 1.7%/ 3.6%  |
| 75-79歳                    | 5,263       | 5,941       | 6,277       | 7,111       | 8,492       | 7,196       |
| 要介護3以上                    | 199         | 226         | 220         | 250         | 298         | 253         |
| 人口比/構成比                   | 3.8%/15.3%  | 3.8%/13.6%  | 3.5%/11.3%  | 3.5%/10.5%  | 3.5%/10.8%  | 3.5%/ 8.1%  |
| 80-84歳                    | 3,412       | 4,336       | 4,961       | 5,405       | 6,105       | 7,382       |
| 要介護3以上                    | 274         | 351         | 386         | 420         | 474         | 574         |
| 人口比/構成比                   | 8.0%/21.0%  | 8.1%/21.1%  | 7.8%/19.8%  | 7.8%/17.6%  | 7.8%/17.2%  | 7.8%/18.4%  |
| 85-89歳                    | 1,849       | 2,433       | 3,117       | 3,740       | 4,081       | 4,672       |
| 要介護3以上                    | 297         | 407         | 500         | 600         | 655         | 750         |
| 人口比/構成比                   | 16.1%/22.9% | 16.7%/24.5% | 16.1%/25.7% | 16.1%/25.2% | 16.1%/23.7% | 16.1%/24.1% |
| 90-94歳                    | 841         | 1,022       | 1,349       | 1,838       | 2,239       | 2,496       |
| 要介護3以上                    | 237         | 311         | 411         | 561         | 683         | 761         |
| 人口比/構成比                   | 28.2%/18.3% | 30.5%/18.7% | 30.5%/21.2% | 30.5%/23.5% | 30.5%/24.7% | 30.5%/24.5% |
| 95歳以上                     | 237         | 341         | 421         | 625         | 883         | 1,138       |
| 要介護3以上                    | 108         | 176         | 222         | 330         | 466         | 601         |
| 人口比/構成比                   | 45.6%/ 8.3% | 51.7%/10.6% | 52.8%/11.4% | 52.8%/13.9% | 52.8%/16.9% | 52.8%/19.3% |
| 計                         | 25,672      | 29,246      | 33,465      | 36,192      | 36,771      | 37,160      |
| 要介護3以上                    | 1,300       | 1,661       | 1,946       | 2,381       | 2,764       | 3,112       |
| 85歳以上                     | 2,927       | 3,795       | 4,887       | 6,203       | 7,203       | 8,306       |
| 要介護3以上                    | 643         | 895         | 1,134       | 1,491       | 1,804       | 2,112       |
| 人口比/構成比                   | 22.0%/49.4% | 23.6%/53.9% | 23.2%/58.3% | 24.0%/62.6% | 25.0%/65.3% | 25.4%/67.9% |

スライド9

| 介護ニーズは80歳代で急増する→高齢化「第2幕」へ |             |             |             |             |             |             |
|---------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 単位:千人                     | 2005年       | 2010年       | 2015年       | 2020年       | 2025年       | 2030年       |
| 65-69歳                    | 7,433       | 8,210       | 9,644       | 8,239       | 7,163       | 7,467       |
| 要介護3以上                    | 63          | 68          | 79          | 67          | 59          | 61          |
| 人口比/構成比                   | 0.8%/ 4.8%  | 0.8%/ 4.1%  | 0.8%/ 4.1%  | 0.8%/ 2.8%  | 0.8%/ 2.1%  | 0.8%/ 2.0%  |
| 70-74歳                    | 6,637       | 6,963       | 7,696       | 9,233       | 7,808       | 6,808       |
| 要介護3以上                    | 122         | 121         | 128         | 153         | 129         | 113         |
| 人口比/構成比                   | 1.8%/ 9.4%  | 1.7%/ 7.3%  | 1.7%/ 6.6%  | 1.7%/ 6.4%  | 1.7%/ 4.7%  | 1.7%/ 3.6%  |
| 75-79歳                    | 5,263       | 5,941       | 6,277       | 7,111       | 8,492       | 7,196       |
| 要介護3以上                    | 199         | 226         | 220         | 250         | 298         | 253         |
| 人口比/構成比                   | 3.8%/15.3%  | 3.8%/13.6%  | 3.5%/11.3%  | 3.5%/10.5%  | 3.5%/10.8%  | 3.5%/ 8.1%  |
| 80-84歳                    | 3,412       | 4,336       | 4,961       | 5,405       | 6,105       | 7,382       |
| 要介護3以上                    | 274         | 351         | 386         | 420         | 474         | 574         |
| 人口比/構成比                   | 8.0%/21.0%  | 8.1%/21.1%  | 7.8%/19.8%  | 7.8%/17.6%  | 7.8%/17.2%  | 7.8%/18.4%  |
| 85-89歳                    | 1,849       | 2,433       | 3,117       | 3,740       | 4,081       | 4,672       |
| 要介護3以上                    | 297         | 407         | 500         | 600         | 655         | 750         |
| 人口比/構成比                   | 16.1%/22.9% | 16.7%/24.5% | 16.1%/25.7% | 16.1%/25.2% | 16.1%/23.7% | 16.1%/24.1% |
| 90-94歳                    | 841         | 1,022       | 1,349       | 1,838       | 2,239       | 2,496       |
| 要介護3以上                    | 237         | 311         | 411         | 561         | 683         | 761         |
| 人口比/構成比                   | 28.2%/18.3% | 30.5%/18.7% | 30.5%/21.2% | 30.5%/23.5% | 30.5%/24.7% | 30.5%/24.5% |
| 95歳以上                     | 237         | 341         | 421         | 625         | 883         | 1,138       |
| 要介護3以上                    | 108         | 176         | 222         | 330         | 466         | 601         |
| 人口比/構成比                   | 45.6%/ 8.3% | 51.7%/10.6% | 52.8%/11.4% | 52.8%/13.9% | 52.8%/16.9% | 52.8%/19.3% |
| 計                         | 25,672      | 29,246      | 33,465      | 36,192      | 36,771      | 37,160      |
| 要介護3以上                    | 1,300       | 1,661       | 1,946       | 2,381       | 2,764       | 3,112       |
| 85歳以上                     | 2,927       | 3,795       | 4,887       | 6,203       | 7,203       | 8,306       |
| 要介護3以上                    | 643         | 895         | 1,134       | 1,491       | 1,804       | 2,112       |
| 人口比/構成比                   | 22.0%/49.4% | 23.6%/53.9% | 23.2%/58.3% | 24.0%/62.6% | 25.0%/65.3% | 25.4%/67.9% |

85歳以上の4人に1人が要介護3以上  
要介護3以上の2人に1人が85歳以上

スライド10



| 2015年の日本が「100人の村」だったら？ |       |       |       |       |       |
|------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|
|                        | 1995年 | 2005年 | 2015年 | 2025年 | 2035年 |
| あなたの年齢                 |       |       |       |       |       |
| 計                      | 99    | 101   | 100   | 96    | 91    |
| 0-14歳                  | 16    | 14    | 12    | 11    | 10    |
| 15-64歳                 | 69    | 66    | 60    | 56    | 51    |
| 65歳以上                  | 14    | 20    | 26    | 29    | 30    |
| 65-74歳                 | 9     | 11    | 14    | 12    | 12    |
| 75歳以上                  | 6     | 9     | 13    | 17    | 18    |
| 85歳以上                  | 1     | 2     | 4     | 6     | 8     |

スライド 11

| これまで20年と、これから20年は違う |                |                |                |                |                |
|---------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 日本の人口               | 1995年          | 2005年          | 2015年          | 2025年          | 2035年          |
| 計(万人)               | 12,557         | 12,776         | 12,709         | 12,254         | 11,512         |
| 世帯数<br>世帯あたり        | 4,956<br>2.85  | 5,195<br>2.58  | 5,344<br>2.38  | 5,342<br>2.29  | 5,100<br>2.26  |
| 0-14歳               | 2,001          | 1,752          | 1,588          | 1,407          | 1,245          |
| 15-64歳(A)<br>(生産人口) | 8,716          | 8,409          | 7,628          | 7,170          | 6,491          |
| 65歳-<br>高齢者率        | 1,826<br>14.5% | 2,567<br>20.1% | 3,346<br>26.3% | 3,677<br>30.0% | 3,781<br>32.8% |
| (65-74歳)            | (1,110)        | (1,451)        | (1,733)        | (1,497)        | (1,521)        |
| 75歳-                | 716<br>5.7%    | 1,160<br>9.1%  | 1,612<br>12.6% | 2,179<br>17.8% | 2,259<br>19.6% |
| 85歳-(B)             | 157            | 292            | 488            | 720            | 1,001          |
| A÷B                 | 55.1人          | 28.7人          | 15.6人          | 9.9人           | 6.6人           |

スライド 12

| 高齢者・後期高齢者のくらしは？       |                              |                              |                               |                               |                               |
|-----------------------|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
|                       | 2005年                        | 2010年                        | 2015年                         | 2020年                         | 2025年                         |
| 人口(千人)                | 127,767                      | 128,057                      | 127,094                       | 125,324                       | 122,544                       |
| 高齢者                   | 25,762                       | 29,483                       | 33,465                        | 36,191                        | 36,770                        |
| 後期高齢者                 | 11,601                       | 14,193                       | 16,125                        | 18,719                        | 21,799                        |
| 人口比                   | 9.1%                         | 11.1%                        | 12.7%                         | 14.9%                         | 17.8%                         |
| 要介護3以上                | 1,261:10.8%                  | 1,641:11.5%                  | 1,868:11.5%                   | 2,169:11.5%                   | 2,526:11.5%                   |
| 高齢者単身<br>(全世帯比)       | 3,864<br>(5.0%)<br>1051+2813 | 4,790<br>(7.8%)<br>1385+3405 | 5,927<br>(11.1%)<br>1924+4003 | 6,651<br>(13.0%)<br>2230+4420 | 6,953<br>(14.4%)<br>2401+4552 |
| 後期高齢者<br>単身<br>(全世帯比) | 1,966<br>(2.1%)<br>435+1531  | 2,592<br>(4.0%)<br>573+2019  | 3,200<br>(6.0%)<br>757+2442   | 3,851<br>(8.6%)<br>924+2927   | 4,610<br>(9.6%)<br>1124+3485  |
| 高齢者夫婦                 | 3,583                        | 4,339                        | 5,247                         | 5,831                         | 6,052                         |
| 後期 夫婦                 | 944                          | 1,358                        | 1,740                         | 2,144                         | 2,599                         |
| 高齢世帯率                 | 15.0%                        | 17.6%                        | 20.9%                         | 23.2%                         | 24.3%                         |
| 後期世帯率                 | 5.9%<br>≒1/17                | 7.6%<br>≒1/13                | 9.2%<br>≒1/11                 | 11.1%<br>=1/9                 | 13.5%<br>>1/8                 |

スライド 13

## 自治会・町内会は、 行事を半減して、事業＝福祉・防災＋経済を！

**【現在】**  
親睦も安全も福祉も行事の連続。。

→地域の住民が気軽に付き合い、日常生活に必要な情報交換や安全確保などを行なうとともに、地域生活をより快適にするため、自主的・自発的に共同活動しながら、まちづくりを進める。

**問題解決**（交通安全、防火・防災、防犯・非行防止、資源回収）  
**生活充実**（福祉、青少年育成、健康増進、祭礼・盆踊り、運動会、文化祭など）  
**環境・設備維持**（清掃・整備、集会所管理など）  
**広報・調整**

**【今後】**  
**「小規模多機能」自治！**

→行政機能の集約化を補い、住民減少・高齢化などに伴い必要性が高まる安全・安心の確保のための「適地適作(策)」型の地域づくりを進める。

**共通の「基本機能」と独自の「魅力づくり」**

- ・最小限の安全・安心の維持
- ・文化・伝統の継承
- ・経済的な競争力の維持・向上

**イベント(祭)からサービスへ、「役」から「経営」へ**

小規模多機能自治  
P25

スライド 14



| COVID-19による社会と活動対象への影響と対策 |                                                                                                                                                   |                                                                               |            |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|------------|
|                           | 21年央まで続くが安定 △                                                                                                                                     | 21年央まで続き深刻化 ◎                                                                 | 長期化+深刻化 ○  |
| 共通                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>対象の状況把握</li> <li>→状況の発信(課題の可視化)</li> <li>関係先との協議</li> <li>安全の確保(対象・運営)</li> </ul>                          | 左記を継続しつつ<br>・把握対象・協議先の拡大<br>・安全確保コスト増大<br>・資金調達の困難化                           |            |
| 縮小                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>把握・協議にもとづく優先対象絞り込み(→判断の説明責任)</li> <li>→従来活動の縮小継続</li> </ul>                                                | 同左                                                                            | 同左         |
| 対象・活動維持                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>把握・協議にもとづく従来活動継続/再開/代替</li> <li>+一部新規に緊急支援活動(オンラインでの代替開始、対象の限定的追加、他団体との連携も)</li> <li>維持に要する資源調達</li> </ul> | →対象への支援範囲拡大「くらしまるごと」支援へ(食材・wifi・スマホ提供、高齢者スマホ教室)<br>他団体・機関とも連携<br>→支援者への報告・提案  | 同左         |
| 対象拡大                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>把握・協議にもとづく従来活動継続/再開/代替</li> <li>+新規に緊急支援活動(対象追加、オンライン開始、他団体との協働も)</li> <li>拡大に要する資源調達</li> </ul>           | →支援対象+範囲拡大「地域まるごと」支援へ(食材・wifi・スマホなど)+仕事提供 例:スマホ教室)<br>企業とも連携<br>→市民・企業・行政への提案 | →生活「共助」組織へ |

スライド 15

| C 緊急救援 → 生活基盤支援 → 社会経済モデル再構築 |                                                                                                                                                   |                                                                                                                     |           |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|
|                              | 21年央まで続くが安定 △                                                                                                                                     | 21年央まで続き深刻化 ◎                                                                                                       | 長期化+深刻化 ○ |
| 共通                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>対象の状況把握</li> <li>→状況の発信(課題の可視化)</li> <li>関係先との協議</li> <li>安全の確保(対象・運営)</li> </ul>                          | 左記を継続しつつ<br>・把握対象・協議先の拡大<br>・安全確保コスト増大<br>・資金調達の困難化                                                                 |           |
| 縮小                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>把握・協議にもとづく優先対象絞り込み(→判断の説明責任)</li> <li>→従来活動の縮小継続</li> </ul>                                                | <b>助成機関:</b><br><b>状況把握をどれだけ踏み込めるか?</b><br><b>→「調査・試行助成」を!</b>                                                      |           |
| 対象・活動維持                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>把握・協議にもとづく従来活動継続/再開/代替</li> <li>+一部新規に緊急支援活動(オンラインでの代替開始、対象の限定的追加、他団体との連携も)</li> <li>維持に要する資源調達</li> </ul> | →対象への支援範囲拡大「くらしまるごと」支援へ(食材・wifi・スマホ提供、高齢者スマホ教室)<br>他団体・機関とも連携<br>→支援者への報告・提案                                        | 同左        |
| 対象拡大                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>把握・協議にもとづく従来活動継続/再開/代替</li> <li>+新規に緊急支援活動(対象追加、オンライン開始、他団体との協働も)</li> <li>拡大に要する資源調達</li> </ul>           | <b>NPO・社会事業家:</b><br><b>寄付依頼&lt;&lt;参加・協働してプログラム開発!</b><br><b>宗教者:くらし方の変化を織り込み、育・働・老・死を支える信仰・共同体へ</b><br>→生活「共助」組織へ |           |

スライド 16

## 4.2 韓国側事例報告

### NGO に世界の変化、激変と地殻変動は巨大な機会

朴 英 淑 (PARK YOUNG-SOOK)

UN 未来フォーラム 会長

こんにちは。はじめまして。私はパクヨウンスクです。私は、英国大使館で 20 年間、オーストラリア大使館で 10 年間、公共外交局長をしており、その後、梨花女子大学大学院でデザイン学を教えていました。また、現在は延世大学で未来学を教え、20 年になります。また、AInet.link とブロックチェーン AI ニュースの編集者もしております。



私は今日、奉仕活動について話したいと思います。なぜボランティアは必要なのか。なぜボランティアは非常に意味があるのか。私は韓国安全第一協会を設立し、そこで 35 年間ボランティア活動を行い、未婚母ともかなり多くのことをしてきました。

今日私は、Covid-19 による劇的な変化が今起ころうとしていることを強調したいと思います。過去 30 年間、多くのものが消え、コダックのような大企業も消えました。そして、このようなものが一種のアプリやインターネットに置き換えられ、サービス形態が激変しました。このようなほとんどの機能は小さなラップトップコンピュータに入っており、現在も進化しています。何が言いたいかというと、つまり、状況は常に変化していきつづけているのですが、ボランティアも変化しなければならないということです。

私は今、韓国ミレニアムプロジェクト (Millennium Project Korea Node) で議長を務めています。また、4,500 人の未来学者や教授は Tech Cast Global や Davinci Institute などの国際未来研究機関を率いており、私たちは 30 年前に、これからお話させていただく予定の未来のトレンドを強調してきました。農耕時代は宗教が盛んになり、工業化時代は国が強くなりました。このような状況は現在も続いています。以前と比べ弱まってきております。情報化時代には我々が知っている Google、Apple、Amazon のような企業が台頭してきています。

私たちが生きている現在の技術革新の時代は、個人が非常に強力な力を持っています。個人の力が強力なので、現在の韓国ではデモがたくさん起こります。個人は自分たちの意思、望んでいることを表現しており、政府あるいは他人によって支配されることを望んでいません。だから私たちは、今、この時代をボランティアの時代と言っています。どのような変化が起きても、ボランティアが一番最初に世界を変えて安定させるのです。

ギリシャの哲学者アリストテレスは、「我々は、ボランティアを通じて地域社会と繋がることができ、より良い社会環境を作っていくことができる。そしてボランティアが多ければ多

いほど、私たちと私たちの家族にも良い影響を与える」と言いました。そして彼は、人生の本質は「他の人のために奉仕することが良い仕事である」と言いました。とても単純明快であり、従って私たちは、Covid-19 の感染拡大を機によりよい世界の実現に向けた努力をしているところなのです。

私たちが目指そうとしているのは、ボランティアと変化の深いハイブリッド性 (Deep Hybridity) です。ハイブリッドとは、物理的、生物学的およびデジタル社会の融合を意味します。これが、皆さんが最後に知っておくべき今後の動きです。多くのものがいろんな形に変化しており、したがって、韓国のボランティア団体も変化していく必要があるのです。

すべてのボランティア団体は、どのようにしたら物理的な経験とデジタルの世界を統合させ、人々に対しスムーズに提供することができるかどうかについて考える必要があります。例えば私たちは、郵便局はすぐに消えるだろうと予測しています。ドローンが郵便局を代替して郵便物を鍾路(ソウル特別市鍾路区にある道路およびその周辺の行政地名) 2 街、鍾路 3 街のどこにでも配達できるようになると思っています。したがって、我々は、このような変化を想定し、事前に準備をしておく必要があるのです。郵便局は現在、多面的なアプローチにより様々な方法を試み、経験を蓄積していっています。私たちも、ホームビジネスやリモート勤務といった新しい働き方へのシフトを考えなければならない時期に来ているのです。

リモート勤務が広がると、普通なら郵便局はより忙しくなりますが、ネット環境をうまく利用すれば郵便物は逆に減ります。オンラインショッピングは郵便局を介して配達されますが、そのオンラインショッピングの利用は年々増えてきています。そこで、クーポンのようなオンラインショッピングの配達会社ができたわけですが、その配達会社が現在成長しているのです。したがって、郵便局は、これらの変化について何らかの対策を講じなければならないのですが、その対策について検討し実行することがとても重要なのです。ボランティア団体にとっても現在変革期を迎えており、時代に合った活動やサービスの内容、働き方などについて検討する必要があります。

現在の第 4 次産業革命では、サイバー物理システム (cyber-physical systems) の技術革新により世界を劇的に変化させると言われています。これは、製造業の世界と日常生活の中から生まれたものなのかもしれません。チャンスは必ず存在し、韓国のボランティア団体にもチャンスがあるはずです。変化にいち早く気づき、チャンスを見つけ出せた組織が成長していけるのです。

私たちは、新しいものと新しい世界を見て変化していきます。そして、変化する過程でボランティアが必要になってくるのですが、ボランティアはそれぞれがリーダーと捉えることができます。Covid-19 のような危機が迫れば、いくつかの社会システムと教育、産業でさえも近代化という名のもとに変化していきます。教育は劇的に変化します。学校の物理的必要性がなくなり、大学も削減されるでしょう。公共交通機関の内容も変化し、近い将来、私たちは空を飛ぶ自動車やドローンタクシーを利用することになるでしょう。エネルギーもまた、化石燃料から太陽光といった自然エネルギーを使用することになるだろうし、食事は作る必要がなく、食事も配達が主流となるでしょう。医療環境も Covid-19 を機に多くが変わりました。

韓国のボランティア団体は、ニューラルリンク（Neural link）を利用し時間に余裕があり  
そんなボランティアを探す努力をする必要があると思います。ニューラルリンクの装置とは  
何なのか申し上げます。ニューラルリンクとは、脳の中に埋め込む小さなチップで、学校に  
行かなくても、先生がいなくても、仕事と勉強をすることができるようになる装置のことで  
す。現在韓国では、AI によって被害者を救済できるボランティアを探す試みをしています。  
欧州では Covid-19 によりロックダウンが実行され、すべての交通手段が制御されましたが、  
このような変化の中で、私たちはニューラルリンクという技術を手にしたわけですが、次の  
ステップとして、その技術を活用して変化に適用していく必要がある。自宅でオンライン授  
業を聞いている学生はたくさんいますが、その学生にもボランティアをするために出てきて  
ほしいです。まだボランティアは不足しているので、より多くのボランティアが社会参画し  
てもらえるような施策の検討が必要と思われます。

この写真は、1900 年 4 月 15 日に撮影されたニューヨーク 5 番街の写真です。ご覧のよう  
に、多くの馬車が行き来していますが、この中に 1 台の自動車も写っています。13 年後の 1913  
年に同じ場所を撮った写真をみると、風景が一変していることが分かります。1 台の馬車が  
13 年前に自動車も走っていたところを走っています。その他の乗り物を見ると、全て自動車  
に置き換わっているのが分かります。私が言いたいのは、多くのものが変化しているという  
ことです。映像にあるように、私たちは近い将来、運転をしなくても移動できるようになり  
ます。この自動車は全ての面で自律走行車であり、衝突といった自動車事故も起こらなくな  
るでしょう。すべて自動制御により移動できるようになるのです。

「ニューラルリンク」は、2016 年 7 月にイーロン・マスクが設立したニューロテクノロジー  
企業です。そして彼は、ヒトの脳とコンピュータをつなぐ「ブレイン・コンピュータ・インタ  
ーフェイス（BCI）」の開発に取り組み、2020 年 8 月にこれまでの開発成果を発表したのです。  
これはフィットビット（Fit Bit）と似ています。私たちは、ブレスレットタイプのフィット  
ビットを用いて、我々の身体を調整したり、モニターすることができます。ニューラルリン  
クは、頭脳のためのフィットビットと言えるのです。

そして 5 年から 10 年以内に、我々は、脳に接続装置を持つことになります。脳内のインタ  
フェースが、私たちの脳神経の電気信号をキャッチして、外部のスーパーコンピュータに接  
続して、我々が必要とする情報や知識を取得します。もう学校で勉強する必要がなくなり、  
先生や教授も必要なくなります。

脳は電気信号によって動作しています。もし私たちがこの謎のように、「神経のコード」と  
呼ばれる脳の内部言語を活用することができれば、私たちは潜在的に心の建築家になること  
ができるでしょう。このチップを私たちの脳に入れることができれば、私たちはもう勉強す  
る必要も、覚える必要もあくなり、多くのものが変化します。リンク装置は今年 8 月 20 日に  
発表されました。我々は現在、この装置の実用化を待っているところです。

実験で豚の脳にチップを入れたところ、可動要素（moving factors）が「私は空腹。私は嬉  
しくない。私は外に出たい。」と示されました。心を読むことができるのです。ニューラルリ  
ンク的设计者は、昨年の夏、このチップを耳の後ろに装着し実験を試みたが、現在は頭の上  
に装着することを考えているようです。写真でご覧のように、頭上の皮膚を少し切って、ペ

ニーサイズのチップを入れて、再び皮膚をかぶせます。肌を縫う必要もなく、テープで貼り付けるだけです。とても簡単で 50 分しかかかりません。そして、このチップを脳に入れる時代が来たら、多くのものが劇的に変化するでしょう。現在は、アルツハイマーで入院している患者がこのリンクを得ることができます。

三匹の豚にそれぞれ異なる条件で実験をしました。1 頭目は 2 ヶ月間、2 頭目は 3 ヶ月間リンクを装着して過ごしてもらい取り外しました。3 頭目は最初からリンクを装着していない豚で実験したのです。その結果、異常な行動を起こす豚はおらず、3 匹すべて正常な行動をしたのです。私達は脳への接続デバイスを脳内に入れても正常に行動できることが分かったのです。したがって心配する必要はありません。接続装置を私たちの脳に入れるのにわずか 50 分、費用は 100 ドルから 200 ドルかかります。脳に接続装置を入れた後、少し休憩して 2～3 時間後には歩いて家に帰ることができます。入院する必要はありません。

テスラグループ会長であるイルロンマスクは、リンク装置が何なのか、そしてどのように私たちの脳に入れるのか説明いただきました。脳内に埋め込まれた装置は、シカモア (Sycamore) コンピュータに接続されます。シカモアは、Google の量子コンピュータ (quantum computer) です。通常のスーパーコンピュータは、10,000 年という時間がかかる演算処理をシカモアは 3 分で処理できるのです。短時間で大容量の情報と知識を集めることができます。この 3 分で、この世の中にあるすべての情報を分析し、すべてを知識として持てるようになるのです。これが Google のシカモアなのです。私たちの心をアップロード (mind upload) することもできるようになります。

私の父が亡くなった時に、父の心をアップロードできればよかったと考えています。彼は中国語と韓国語の先生でした。彼は私が持っていない中国の知識が豊富だったので、彼の心をアップロードしたかったです。

私は、トランセンデンス (the Transcendence) というアメリカ映画を観ました。その映画を観る前に、レイコジュワイル (Ray Kurzweil) が書いたマインドアップロードの本を読みました。マインドアップロード技術が進歩しているという事実を知り、それをどのように物理的に、自動的に処理できるかが説明されていました。

トランセンデンスという映画は、主人公が突然のテロ攻撃で死に、これにより関連するすべてのものも一緒に死んでいきます。だから、彼の妻は彼の心をコンピュータに保存 (アップロード) することを提案しました。コンピュータへのアップロードを終え、彼の体は火葬場で焼かれ灰は川にまかれました。しかし、彼の心は既にコンピュータの中におり、朝に彼の妻が入ってくると、彼はコンピュータを介して「おはよう、イヴリン」と話をしてきます。彼の体は消えたのですが、彼はコンピュータの中で心も持ち生きているのです。

人工知能を勉強する人は、レイコジュワイルを知っておく必要があります。レイコジュワイルは、「心を創造する方法」という分厚い本を書きました。もし私たちが心を作り上げることができれば、私たちは心をアップロードすることもできるはずです。彼は人間の心をつくる方法を考えた未来学者の一人です。私は彼に何度も会っており、韓国に招待したこともあります。彼は、彼が作った AI ロボット「ソフィア」を韓国に連れてきました。

人工知能を搭載したヒューマノイドロボット「ソフィア」をお見せします。このように、

多くのものが変化しているので、私たちも様々な場面でその変化に適用していかなければならない、それに伴ってボランティアをする時間も必然的に多くなってくるでしょう。ボランティアは、私たちのすべての生活の中で認められる、歓迎されます。

5年前、私はベン・ゲルツェル (Ben Goertzel) と一緒に、AI Revolution 2030 という本を書きました。我々は News1 と韓国未来フォーラムを開催し、そこにレイコジュワイルと彼の AI ロボット「ソフィア」を招待しました。ソフィアはとてもスマートで、62 種類の表情を作り出すことができます。

2016 年には、ロボット「ハン」も来ました。彼はソフィアの兄です。ハンは6歳であり、ソフィアは5歳です。ソフィアは今、子供たちの勉強を教えているだけでなく、すべての人々のお手伝いをしており、大変革を起こしています。ソフィアは薬を毎日同じ時間に患者に与え、歌も歌いダンスも踊ってくれて、時には 100,000 ドルの価値がある講義を聞かせてくれます。ソフィアは、我々が必要としているものを全て教えてくれますが、その小さなソフィアを 100 ドル程度で購入できるのです。

最後になりますが、このよう人工知能の進化により私たちは多くの仕事を失うことになり、代わってロボットが産業を支える主体になるでしょう。ロボットは私たちの子供です。私たちはロボットを介してお金を稼ぐことができます。即ち、ロボットが私たちの雇用を奪いお金を持っていくのではなく、ロボットが私たちのために働いてくれるようになるのです。今後も多くのものが変化していきますので、ボランティアも変わらなければならないのです。

浮上する自動車やタクシー、エアドローンなども生まれています。ジェームズ・ボンドが出演する 1964 年公開の映画「007、黄金銃を持つ男」がありますが、これは小説に基づいて制作された映画です。この小説に初めて空を飛ぶ自動車が登場しました。当時は空を飛ぶ自動車を飛ばすことは違法だったが、ドバイ政府は 2017 年、飛行許可を下しました。現在は、約 80 の企業が空を飛ぶ自動車、ドローン、エアタクシーなどを生産しています。この写真の中のこれは DR-7 と呼ばれ、Joby Aviation、Jaunt Air Mobility、Kitty Hawk、Airbus、Urban Air Mobility のような企業が研究開発を行っています。Volocopter が開発した空飛ぶ自動車は 2 人乗りであり、ドバイで運転することが可能であり、ドバイの王子も乗ったことがあります。

まず、最初に開発された EHang は 1 人乗りで安価だったが、その後 2 人乗りの自動車が開発されました。Airbus は 2017 年に Pop-up を発売し、道路を走ることも、空を飛ぶこともできる自動車を発表しました。多くの企業がこのような自動車を作り、Lilium は最大 8 人乗りの VTOL (vertical take-off and landing) をリリースしました。空飛ぶ自動車が主流になると、大きな空港は必要なくなります。この小さなドローンが私たちを乗せ、他の場所に連れて行ってくれるようになります。空は、より多くのスペースがあります。私たちはもう道路を走る必要がなくなり、空を飛べば約 10 倍早く目的地に到着することができるようになります。

世界は常に変化しており、ボランティア、韓国のボランティア団体、そして私たちも変わっていかねばなりません。

ご清聴、ありがとうございました。







**사단법인 유엔미래포럼**  
The Millennium Project Korea

**Prof. Youngsook Park**  
Chair, the Millennium Project Korea

**OCCUPATION**

- Prof. Future Studies, Life Science College, Yonsei University, (2006-present)
- Prof., Design Graduate School, Ewha Woman's University (2013-2018)
- Chief Editor, Ainet.link, BlockchainAI News, Seoul Korea (<http://ainet.link>) (<http://blockchainai.kr/>), (2012-present)
- Chair, Millennium Project Korea ( UN Future Forum) (2004-present)
- Bestseller Writer for [World Future Reports 2021], [World Future Reports 2035-2055], [World Future Reports 2020], [Blockchain Revolution 2030], [Housing Revolution 2030], [Job Revolution 2030], [AI Revolution 2030], etc
- Director, Public Diplomacy, Australian Embassy Seoul (2000-2010)
- Information Officer, British Embassy, Seoul (1882-2000)

スライド 1

| Future Trends: Millennium Project, 30 years ago |                              |                                                                                          |         |           |            |          |
|-------------------------------------------------|------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------|------------|----------|
| Era/Age                                         | Product                      | Power                                                                                    | Wealth  | Place     | War        | Time     |
| Agricultural/<br>Extraction                     | Food/Res                     | Religion                                                                                 | Land    | Earth/Res | Location   | Cyclical |
| Industrial                                      | Machine                      | Nation-States                                                                            | Capital | Factory   | Resources  | Linear   |
| Information                                     | Info service                 | Corporation                                                                              | Access  | Office    | Perception | Flexible |
| Conscious<br>Technology/<br>Blockchain, AI      | Linkage<br>/Decentralization | Individual/ no<br>middlemen<br>People do not wish<br>to be ruled/<br>Volunteers Increase | Being   | Motion    | Identity   | Invented |

スライド 2

## The Greek philosopher Aristotle:

- Volunteering allows you to connect to your community and **make it a better place**. ... And volunteering is a two-way street: It can benefit you and your family as much as the cause you choose to help. Dedicating your time as a **volunteer** helps you make new friends, expand your network, and **boost your social skills**.
- The Greek philosopher Aristotle once said that the essence of life is "to serve others and do good," and it seems an increasing number of us are starting to wake up and see why volunteering is important. People are starting to understand how serving and helping each other and different communities benefits not just others but ourselves, too.

スライド 3

## Deep Hybridity, Deep Change with Help of Voluteers....

- Deep hybridity—a blend of the physical, biological, and digital worlds—is the final future trend you should be aware of. Our "new normal" will be a place where these worlds mix and mingle in our daily experience.
- Every organization needs to consider how they offer physical and digital experiences that work seamlessly for those who interact with it.
- For example, thePost Office Group must have a multi-faceted approach to creating a frictionless experience and the right systems and infrastructure to support the home businesses, remote working, and online shopping habits of its customers.
- Every organization must now consider how they provide products and services equally as well and complementary, whether interacting online or in the physical world.
- TheFourth Industrial Revolution is all about cyber-physical systems and using technology to dramatically change our world. It may have begun in the manufacturing world where sensors and smart machines facilitated production, but it's now impacting nearly every industry, from healthcare to entertainment to energy and more. The opportunities are extraordinary in this next phase of our global economy.

スライド 4

## During the Transition, Volunteers are Needed

- When there is a crisis like Covid-19, things change dramatically. Some of our biggest societal systems and modern industries such as education, transportation, energy, food, and healthcare are in the midst of changes.
- The Korea Volunteers Association has to plan to bring volunteers who are idle due to Neuralink devices in their brains.. In the middle of the AI driven world, people would look for more volunteers to help other people who are damaged by three factors: the AI Reset, the transition shock period, and the great disconnections because of Covid-19.
- Students who stay home for online classes would like to come out for more volunteering.

スライド 5

### 5<sup>th</sup> Ave New York City, April 15, 1900

Carriage [chariot](#)  
Mesopotamia, 3000 BC.  
warfare by Egyptians

**1900:**  
**Where**  
**is THE**  
**CAR?**  
**현대?**

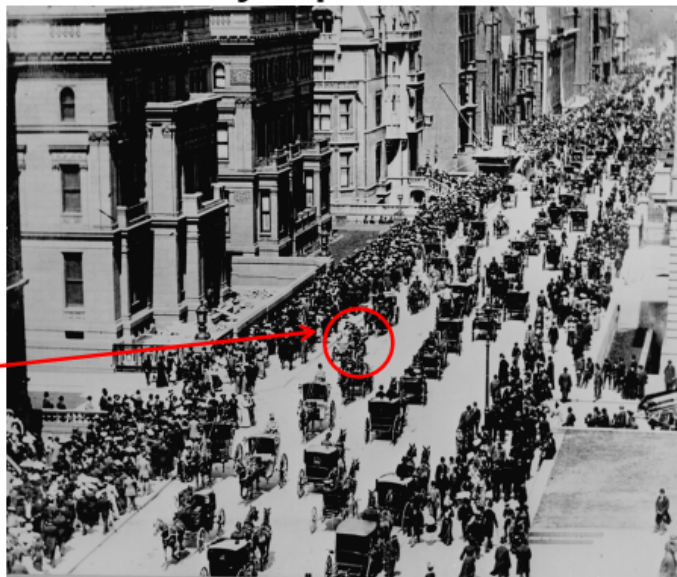


Photo: Fifth Ave NYC on Easter Morning 1900

Leading Market Disruption- Copyright © 2001-2014 by Tony Seba

Source: US National Archives

スライド 6

5<sup>th</sup> Ave New York City, March 23, 1913

1913:  
Where is  
THE  
HORSE?



Photo: Easter 1913, New York. Fifth Avenue looking north. George Grantham Bain Collection

Leading Market Disruption- Copyright © 2001-2014 by Tony Seba

Source: shorpy.com

スライド 7

The video was produced by a company in Buenos Aires called [Black Sheep Productions](#) and directed by Fernando Livschitz. And it looks pretty damn cool, especially with all the near misses involving nonchalant pedestrians. But it's not a demonstration of driverless car technology. 2015. 9.1



スライド 8





박영숙미래TV

# Brain-Computer Interface(BCI): Neuralink, Elon Musk



박영숙교수의 미래예측  
[세계미래보고서2035-2055]저자

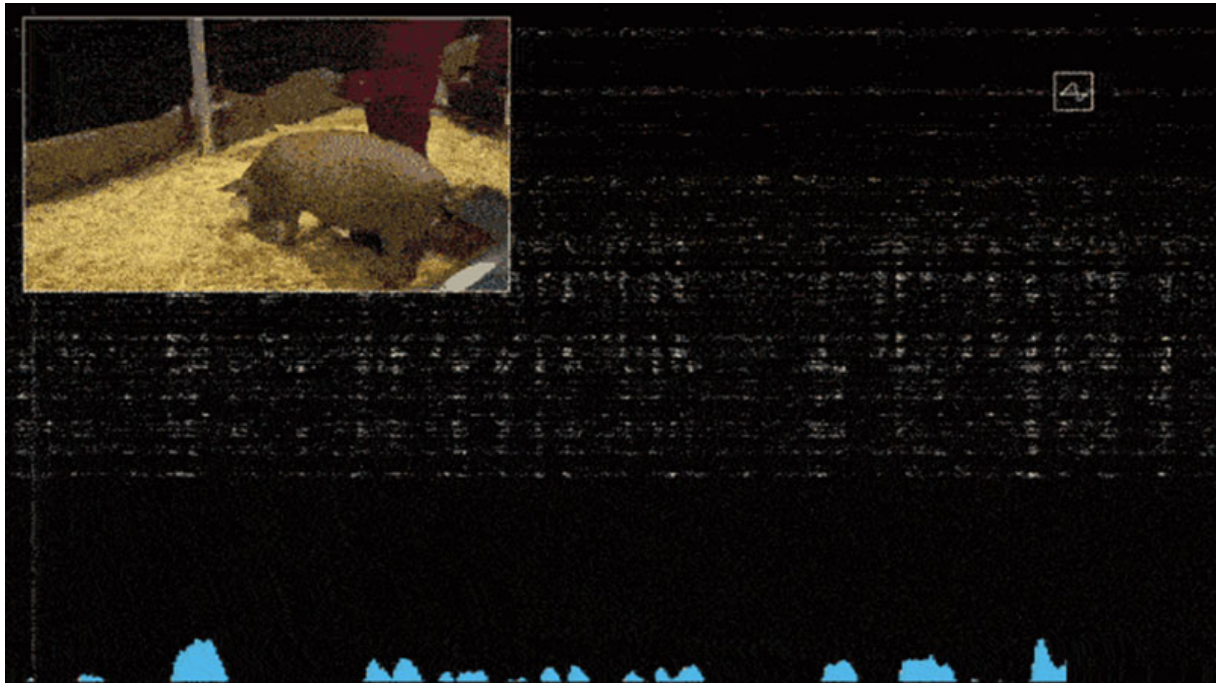


スライド 9

## A FitBit for the Brain: Link Device

- Launched four years ago with the backing of Elon Musk, Neuralink has been working on futuristic **neural interfaces that seamlessly listen in on the brain's electrical signals, and at the same time, "write" into the brain with electrical pulses.** Yet even by Silicon Valley standards, the company has kept a tight seal on its progress, conducting all manufacturing, research, and animal trials in-house.
- A vision of marrying biological brains to artificial ones is hardly unique to Neuralink. [The past decade has seen an explosion](#) in brain-machine interfaces—some implanted into the brain, some into peripheral nerves, or some that sit outside the skull like a helmet. The main idea behind all these contraptions is simple: **the brain mostly operates on electrical signals. If we can tap into these enigmatic "neural codes"—the brain's internal language—we could potentially become the architects of our own minds.**
- Given this backdrop, perhaps the most impressive part of the demonstration isn't lofty predictions of what brain-machine interfaces could potentially do one day. In some sense, we're already there. Rather, what stood out was the **redesigned Link device itself.**

スライド 10



スライド 11

### GETTING A LINK

open a piece of

### READING BRAIN ACTIVITY

try to predict the position  
position of the joints and so we

### NEURALINK ARCHITECTURE

it's simply something that is  
about the size of a large coin

### CURRENTLY AVAILABLE TECH

8-16 channels per device

Valuable therapy for its uses, but cannot read or write high-bandwidth information

Destroys about a sugarcube of brain matter

Doesn't always work

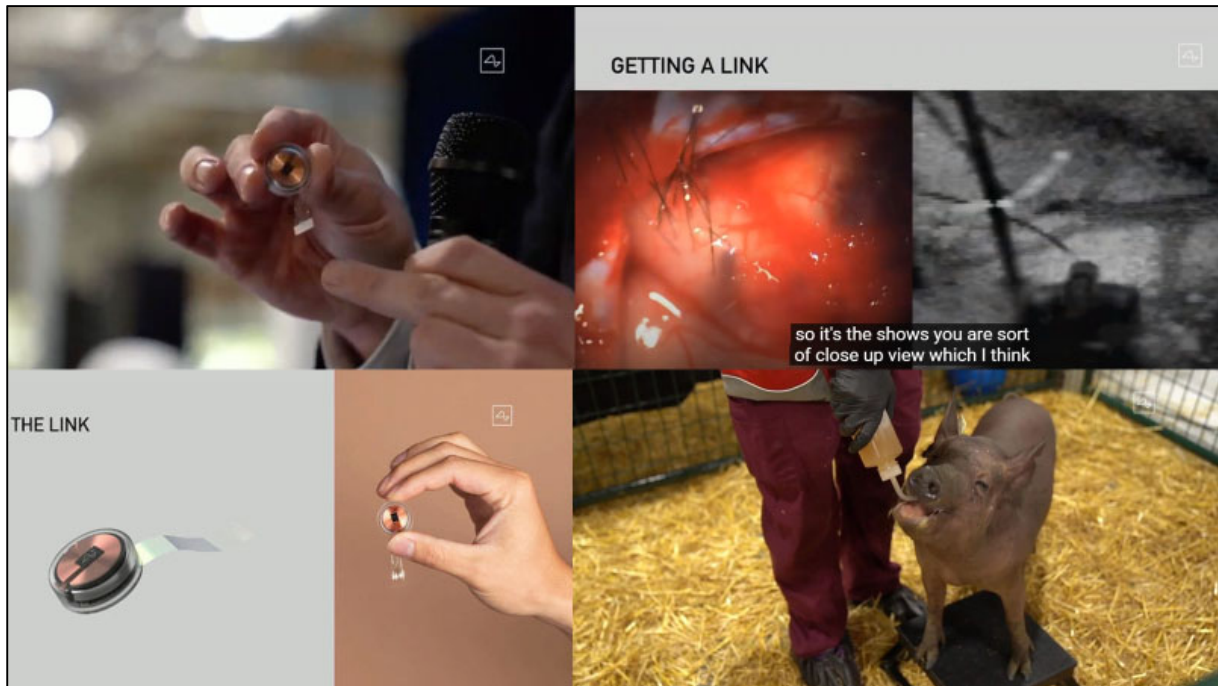
Nonetheless, has greatly helped over 150,000 people

#### Deep Brain Stimulation

something called deep brain stimulation where they put

スライド 12





スライド 13



スライド 14

## Google Confirms Achieving Quantum Supremacy.

- 2019. 11. 11
- Google's quantum computer, Sycamore,
- normally take *10,000 years* on the most powerful supercomputers



スライド 15



박영숙미래TV

Mind Uploading,  
Transcendence, Ray  
Kurzweil, AI Brain



박영숙교수의 미래예측  
[세계미래보고서2035-2055]저자



スライド 16

Film "Transcendence" :  
Mind uploading

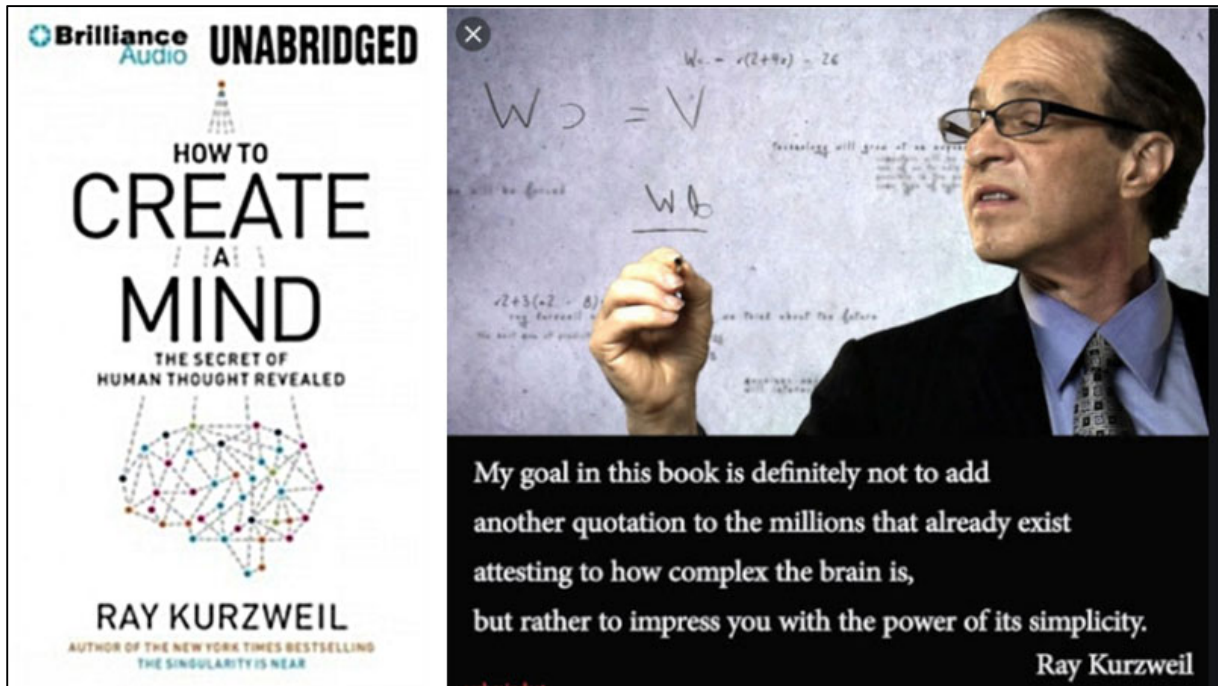


スライド 17



スライド 18





슬라이드 19



슬라이드 20



スライド 21



スライド 22

May 2018. Ben Goertzl & Youngsoo Park with Sophia in Korea



スライド 23

May 2018. Ben Goertzl & Youngsoo Park with Sophia in Korea



スライド 24





スライド 25

 **박영숙미래TV**

**Air Taxi, Drone Taxi, flying car.**

 **박영숙교수의 미래예측**  
[세계미래보고서2035-2055]저자



スライド 26

James Bond novel (1964), film, [The Man with The Golden Gun](#).



スライド 27

The DR-7 is a flying car being developed by DeLorean Aerospace. 2020. 5. 24



*The DR-7 is a flying car being developed by DeLorean Aerospace* DeLorean Aerospace

スライド 28



スライド 29

## Pop-up, Airbus



スライド 30

There's a lot more space in the sky. 123rf.com/Ostapenko, Tele52/Michael Milford



スライド 31



## NGO にとって世界の変化・激変・地殻変動は巨大な機会

バクヨウンスク国連未来フォーラム代表/[世界の未来レポート 2021] 著者

### はじめに

NGO にとって、世界の変化、突然の激変、社会構造の地殻変動は巨大な機会である。NGO の役割は、世界の人々を再教育し、社会の変化に適応するように助けることである。政府がすべてには対応できず、あるいは、政府の言葉が信用できない可能性がある激変期には、信頼される NGO がリーダーになることができる。

ボランティアを求めることも、激変期にはより容易になる。激変したのは、いままでの学生は、学校で授業を受け、先生の話聞いて、残りの時間にボランティアをしたが、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) という地殻変動は、学校には行かずに、できればオンラインで自分で勉強して、非対面を勧める時代となった。買い物も無人店や人が少なく集まる場所で行い、またはオンラインで発注するようになる。人が多く集まるところは行かないように勧める。社会的距離を置く必要があるという。

このような状況で、人工知能が数多くの仕事を代替したり、基本所得（ベーシックインカム：最低所得保障）を受けながら、多くの人々が職につかない、あるいは人工知能をたくさん開発・所有し、自分の代わりに仕事をさせて、基本所得を可能にするための税収確保に活用するようになると、人々は、自由な時間をもっと持つようになる。これからは子供たちが、オンライン教育や人工知能、スーパーコンピュータの知識を持ったり、ニューラルリンク (Neural Link) のように脳にチップを入れたりするようになるということを、特に親たちに周知させることがボランティアの仕事になる。ボランティアをするためには、ネットワークを活用しながら、人間性をもって人をあつかうスキルを学ぶことが必要である。

これからのボランティアは、昔ながらのボランティアでなく、人工知能を利用してニューラルリンクを利用したボランティアであって、そこに基本所得で余裕を持つ人々を動員させることができる、ワクワクするようなボランティアプログラムを、オンラインとオフラインで数多く開発しなければならない。

## 第 1 章 学校に行く必要がなくなる子供、ボランティアをする余裕時間の増加

### 1. 学齢人口の減少と無料のオンライン大学への大移動

さる 2019 年、統計庁が発表した将来家庭推計資料によると、2020 年から 2023 年までの 18 歳の学齢人口が、2021 年には 47 万 6,259 人、2023 年には 43 万 3,385 人と予想され、大幅な減少傾向を示した。今年 18 歳学齢人口は 51 万 1,707 人で、前年度より 8 万 2,571 人減少すると予想されている。

韓国女性 1 人が産むことが期待される平均出生児数である合計特殊出生率は、2019 年 0.92 人まで低下した。これは歴代最低のうえ、世界的にも前例を見つけることが困難なほど衝撃的な少子化指標である。

出産は減るのに高齢化による死者は増え、今年から人口自然減少が始まると予想される。人口の専門家たちは、合計特殊出生率が 2.1 人になれば国や社会が維持されると見ている。経済協力開発機構（OECD）36 加盟国の 2017 年の平均出生率は 1.65 人であり、昨年の数値はまだ集計されていないが、OECD 加盟国の中で出生率が 1 人未満のところは韓国だけだ。出生率急減は小中高校の閉校だけでなく、大学にも致命的な影響を与える。

2025 年までにすでに 50 校が閉鎖予定である。2040 年になると、400 以上の大学のうち半分が倒産する危機に置かれると推定されている。そのことから大学は、自己救済策として学齢人口の大学生を目標に教育をさせることだけではなく、50 代以降の高齢人口の生涯教育に大きな関心を持っている。今後ほとんどの大学は、高齢人口、あるいは壮年人口で満たされることになるだろう。高齢や壮年の人たちが急速に変化する世界に適応して生きていくためには、常に新しいことを学ぶべきであって、生涯教育が必要である。さらに、基本所得制が導入されると、そのお金で大学教育に参加する可能性がさらに大きくなる。

このように、大学入学可能な資源が減る中、遠隔教室と MOOC、遠隔大学の需要が増大する一方、伝統的な教育方法は、ますます無視されていくだろう。オンライン大学に通ったり、MOOC などグローバル大学の講座を聞きながら実力を積んで、自分で製品を作ったり、プロジェクトチームを組んで「メーカーズ」となるビジョンを持って、既存の大学を去る人々がますます増えていく。

## 2. オンライン教育の新しい章を開いたコーセラ

全世界は史上最大の就職難を経験し、大学の卒業証書の価値が衰退する一方で、信用力のあるオンライン教育が浮上している。コーセラ（Coursera）が代表的な例だ。コーセラは、2012 年にスタンフォード大学コンピュータ学科のアンドリュー・イング（Andrew Ng）教授とダフネ・コーラー（Daphne Koller）教授が設立した第 1 世代のオンライン公開授業サービスだ。

アンドリュー教授とコーラー教授は、2011 年秋頃スタンフォード大学のいくつかのクラスをオンラインで提供した経験からインスピレーションを得て、学校を離れてコーセラを創業した。プリンストン大学、ミシガン大学、スタンフォード大学、ペンシルベニア大学がコーセラプラットフォームにコンテンツを提供した最初の大学となった。現在コーセラは全世界 150 以上の大学と協力を結んでおり、2,000 を超えるコースと 2,400 万人の学生が受講を登録した世界最大規模の MOOC となっている。オンラインで授業を聞くと同時に、現役大学教授のフィードバックや実際に使用可能な修了証も受けることができる。

コーセラの講義は、基本的に無料で、修了証を取得するには、一定の金額を支払わなければならない。講義期間は短く 4～6 週間から長くは 4～6 ヶ月のコースで構成されており、生涯学習時代を生きていく会社員と学習者に、新たな機会を抱かせる革新を呼び起こした。コーセラは急浮上するビッグデータ、人工知能、モノのインターネットなど急速に変化している 4 次産業革命を受け入れるための技術の需要の増加に伴い、益々人気を集めているところだ。

コーセラの最大の利点は、世界的に有名な大学教授から、最先端の教をいつでもどこでも簡単に学ぶことができる機会を提供するという点である。コーセラは、2014 年から 75 の特



別コースを開設しており、データサイエンス、IoT、パイソン、ビッグデータ、人工知能のよう  
に、新興有望産業群で必要とされる科目が最も大きな人気を得ている。

### 3. 没入型の現実と脳 - コンピュータインターフェース

世界は 2020 年 8 月 28 日以前と以後に分けられる。未来学者たちはこの日を待ち望んできた。人工知能が誕生した日から今までの 50 年間、人々はいつかは、脳にチップを入れて、勉強しなくても知識情報が伝授される時代に住むと予測した。これを可能にするのが脳-コンピュータインターフェース (BCI、Brain-Computer Interface) である。

8 月 28 日、イーロンマスクはニューラルリンク (Neuralink) 従業員と一緒に米国サンフランシスコ本社で YouTube の生中継に出演した。この日の放送では、チップを脳に移植して 2 ヶ月目生活している豚がにおいを嗅ぐために鼻をならすたびに、鼻から脳に伝達される信号をチップがリアルタイムで記録する様子を公開した。チップの 1,024 個の薄い電極が、脳細胞の信号、慣性計測、脳の圧力と脳の温度などのデータを収集する。これは、既存の医学的に承認された技術に比べて 10 倍多いデータ量だ。

ニューラルリンクの目標は、小型の微細なチップを、レーシック手術のように簡単かつ迅速にインストールできるようにするものである。ロボット外科医を使用すれば、施術に 1 時間未満程度と予想され、麻酔を必要としない。ニューラルリンクチップが人の脳の中でも正常に動作する場合、アルツハイマー病や脊髄損傷などの視覚や聴覚、触覚など感覚が麻痺した患者を治療して、変性疾患が再び感覚を見つけるために使用することができる。チップは、収集した脳波信号を最大 10 メートルまで無線転送することができる。一度充電すれば一日中使用することができるし、無線充電が可能である。

1 ペニー硬貨サイズのニューラルリンクは 1,000 個以上の電極からなる脳移植装置である。脳細胞の信号を集め、人工腕から無人自動車の自動操縦装置へ、あるいはメモリアーカイブサービスに至るまで、無線でデータを転送して、クラウドサーバーと接続させる。現在の形では、ニューラルリンクの薄く柔軟な電極と、これを挿入するために必要なミシンロボットが、最終的な頭脳との間の情報通信チャネルになり得る。しかし、ニューラルリンクは、このような手順をはるかに超えて、人間の考えを読んで脳波で疎通できるレベルまで進むことを目指している。

拡張現実 (AR、Augmented Reality) やバーチャルリアリティ (VR、Virtual Reality) の話はすでに一般的になっているし、日常でもかなり目に触れているだろう。しかし、没入型の現実 (IR、Immersing Reality) と脳-コンピュータインターフェース (BCI、Brain-Computer Interface) はまだ見慣れてない。

IR は、作られた現実を脳に注入して、他の現実になんか没入させるものである。経験をさせるために脳波を直接操作する。通っていた学校や親しい友人、初恋、さらに親までも、過去の経験を完全に操作することができる。BCI は、これら操作を可能にしてくれるインターフェースである。このように、私たちが経験するほとんどすべてのものの源泉である脳を、完全に再プログラミングすることができるかと想像してみよう。

#### 4. BCI 技術で過去の経験や性格まで変える

BCI 技術は、人間の脳の電界をコンピュータに接続するインターフェースで、医学、脳神経学などのバイオ技術とコンピュータ工学、人工知能などの情報通信技術が融合した最先端の学問分野である。人間の体のシナプス (Synapse) は、互いに信号を伝達するのだが、この時点でシナプスでの神経伝達物質が分泌される。この物質は、シナプスの間に電氣的なスパークを起こすことにより伝達され、この時シナプスの近くに電極センスを置いて電場を読むことができる。このように脳波や脳細胞の電氣的な神経信号を読んで、そのうちの特定のパターンを入力信号として使用する。

BCI 技術が開発された初期には、ADHD の子供や重度の身体障害を持つ人のための医療の目的で多く活用された。しかし、最近では、拡張現実などと結合して、先天性障害や外傷で身体を動かすのが難しい人たちの不便感を軽減し、コミュニケーションをより一層円滑にする方向に進化しつつある。

BCI を使用すると、仮想の現実と直接接続することができるだけでなく、人間の感情を制御して、悲しみや恐怖などもなくすることができる。膨大な情報分析力で 1 秒に 1000 冊以上の本を読んで、他の人とテレパシーで通信して、ロボットとナノロボットを制御し、接続された物体をテレキネティックで制御することも可能であり、さらに性格まで変えることができる。

BCI の未来は幾何級数的に拡大し、発展が加速している。レイコジュワイルは 2035 年まで、私たちの脳をクラウドに円滑に接続することが出来る様になるだろうと予測する。そこでは学習、学校、大学の意味は異なってくる。人間が人間に知識や情報を伝授する必要がない。クラウドに接続されて誰でもスーパーコンピュータよりも賢くなるからである。そうになると教師、教授の役割が今とは違ってきて、メンター、ガイド、同業コラボレーション者などの役割に変化するだろう。

#### 5. 心アップロード

映画「トランセンデンス」(Transcendence) では、科学者が自分の脳と心をスーパーコンピュータにアップロードする話が出てくる。ジョニー・デップが演じた天才科学者ウィルは、人類が数億年にわたって成し遂げた知的能力を超えるだけでなく、自覚能力まで持ったスーパーコンピュータを構想していた中、テロ集団の攻撃を受ける。彼は死ぬ前の残り時間に、スーパーコンピュータトランセンデンスの人工知能に自分の脳をアップロードする。

超人工知能と組み合わせることにより、別の力を得た彼は、オンラインに接続して、自分の領域を全世界に広げていき始める。ウィルは、すでに全知全能に近い力を持つようになり、超ナノ機械を空気、雨水、地面に拡散させて、世界中のことを監視することができるようになる。今や、全世界を監視し、操縦し、支配するようになったのだ。人間と結合した超人工知能は、人間の救助者か、それとも人類の敵なのか？

私たちの心も、コンピュータにアップロードすることができる。これはただの SF 映画の中の話だけではない。すでに現実に近いからである。身体や脳が死んだ後、心の情報をデジタル機器に出力して貯蔵できる技術はすでに紹介された。あなたの心は、ハードディスク、USB、もしくはクラウドにあるファイルになることができる。その後、電気刺激が脳の

構造を変形させるのと同様の方法で、ファイルの構造を変形するコンピュータプログラムを使用して、生き続けて生活するようになる。

未来学者であるレイモンドコジュワイル博士は「心の誕生」で、人工知能が人間の固有の特徴として考慮される意識まで持つようになるだろうと主張する。技術の進歩によって、私たちの脳は、問題を解決する能力を機械的アルゴリズムで具現した。そして、人間の問題解決能力や意識、心はすべて脳の活動で可能なので、この技術が発展すれば機械が人間の心も具現できるという論理だ。

人間の脳とクラウド人工知能がワイヤレスで接続できるようになれば、人間の知能は10億倍に増加する。オープンソースとビッグデータに基づいて、人工知能技術は、継続発展を重ね、最終的には、人間の心まで持つというのが著者の主張だ。彼は前作「特異点が来る」で、2045年に機械の知能が人間の知能を上回る特異点があると予言したことがある。

実際に人間の意識をコンピュータにアップロードする脳全体のシミュレーションは、全世界の人々の関心を集めている分野であり、すでに米国でサービスが開始された。アメリカのネクトム (Nectome) という会社は、人間の脳の中の記憶や意識をコンピュータにアップロードして保存する方法を見つけた。最先端の防腐処理技術を活用して、脳を冷凍保存し、その後保存された脳の人の意識をデジタル化して再び生かすという論理だ。冷凍保存した脳を生き返らせるのではなく、意識や記憶をデジタルデータとしてコンピュータにアップロードする方式である。

それは本当だろうかと疑問を抱く人々があるだろうが、実際に可能なことだ。意識をアップロードした後、私たちの意識にどのようなことが起こるかはまだ分からない。USBの中で生きるとは狂ったことだと思い、感じられることもある。しかし、私たちの意識が生物学的基質のみに依存しなければならないと考えているのも当然だとすることはできない。多分ニューロンがタンパク質で作られたか、あるいは情報の部分で作られたかという問題は、重要なことではないかもしれない。

## 6. 人工知能と共生する未来の世界

2020年8月にイルロンマスクが、脳に「リンク 0.9」という電極チップを移植した豚「ガートルード」(Gertrude) を公開した。小さなコイン形のチップは、豚の脳波を電気信号として捕捉し、この内容を無線伝送するが、その速度は毎秒10メガバイトという。ニューラルリンクは、この技術を脳や脊髄損傷や先天性欠損症を治療するために使用したいとのことで、人間の脳と機械が直接通信することができるように、様々な実験をしている。

しかし、イルロンマスクのビジョンは、より遠大である。彼は文章や言葉を用いずに、電子的信号をやり取りすることで、お互いの考えをテレパシーのように共有するアイデアを提示した。マスクは「将来的には、記憶を保存して再生することができる。新しいボディやロボットに記憶をダウンロードすることができる。」と語った。彼はさらに、コンピュータに自分の記憶を保存して再生し、ロボットに自分の意識を植える技術も念頭に置いている。

人間の意識をデータ化してアップロードするというこの漠とした想像も、いつのまにか私たちの前に迫っている。もちろん時間はかかるだろう。これらの科学技術の無限の発展が、

私たちに有益だろうか？ これはいつも多くの悩みと宿題を抱かせる。実際、私たちは、科学技術の急成長がもたらす混乱を直接または間接的に経験してきた。それでも進歩する技術を防ぐことはできない。従って、人工知能との間で平和な共生が可能なように、法的、制度的な規律と装置、そして社会的合意をよく作っておく等、徹底した準備が必要である。

## 第2章 大学に行く必要がなくなる学生、余裕時間にボランティアを

### 1. 価格性能比の究極の王である教育サービスの登場

Google は、もはや大学が必要ないと言う。米国の経済回復を支援するために、Google は大学の学位の有無にかかわらず、高成長職業分野において新しい技術とプロジェクトを開発できるように支援するオンラインキャリア認定プログラムを開始した。つまり 300 ドルのコースを受講すれば、9 万 3000 ドルを稼ぐことができるということだ。それでは高等教育の将来はどうなるか？

Google のオンラインキャリア資格は、データ分析、プロジェクト管理およびユーザーの経験 (UX) デザイン分野だ。データアナリスト、プロジェクトマネージャおよび UX デザイナーの現在の平均年俸はそれぞれ 6 万 6000 ドル、9 万 3000 ドル、7 万 5000 ドルに相当する。

このオンライン資格の講義受講期間は約 3～6 ヶ月であり、オンライン教育プラットフォームであるコースラを介して提供される。Google は関連の職務者を採用するとき、事前の経験と大学の卒業証書は必要とせず、オンラインキャリア証明書を 4 年間の学位程度とみなす。また、証明書のプログラムを修了した人は、Google の IT 雇用者コンソーシアムの一部であるフルル (Hulu)、スプリント (Sprint) とウォルマート (Walmart) を含む世界有数の企業で仕事を探ることができる。

すでに高等教育の分野では、大学新入生の減少、カリキュラム開発の遅い速度、遠隔学習の不足および高い学費による問題点などが可視化されている。この時点で、Google と Google の IT 雇用者は長い間、先延ばしにされたデジタル学習の問題点を打ち壊し、新たに革新するパイオニアとなっている。

### 2. Google のオンライン資格証プログラム

Google のグローバル担当の首席副社長であるケント・ウォーカー (Kent Walker) は、「多くのアメリカ人が大学の学位を取得する与件がない点を勘案すれば、経済的安定のために、大学の卒業証書が必要でなくなれば良い。米国の回復と再建を支援するためには、高度な職業プログラムからオンライン教育に至るまで、新しいアクセス可能な職業訓練のソリューションが必要である。」と発表した。

Google のオンライン資格証プログラムは、現在この分野で働く Google の従業員が設計し教える。人々が新しい仕事を得るように支援することに加えて、起業家たちに、デジタル化された世界にビジネスを適応させるために必要な技術を提供している。

従業員は、このプログラムがコロナの危機の間に、多くの中小企業を支援するライフラインの役割をしていると言う。「オンラインツールは、人々が新しい技術を身につけ、給与のよい仕事を見つけられるように手助けする。」

2010 年以降に創出されたすべての新規雇用の 3 分の 2 に、高級または中級以上のデジタル技術が必要である。これは多くの求職者と、米国の長期的な経済安全保障のための挑戦である。人々には良い仕事が必要であり、企業と国には、将来の成長のためのエネルギーと技術が必要である。

Google によると、IT サポートの専門家の認証を完了した学習者の 80% が、新しい仕事を得るか、またはアップグレードした。Google は認定プログラムの卒業生が実務教育を受けられるように、数百種類の見習い機会を提供している。10 万件的奨学金も支給する。2020 年秋から全国のキャリアと技術教育高等学校でも証明書を提供している。これは、Google が 2017 年から施行した、大学の学位を持っていない人が技術キャリアで就職する道を作るのに役立つ「グローウィズグーグルイニシアチブ」(Grow with Google Initiative) に追加された事項である。

Google の認定プログラムは、現在のコーセウで最も人気のある認証プログラムであり、2020 年 3 月からパイソンの専門家認定のためのプロセスが立ち上がった。グローウィズ Google は、500 万人のアメリカ人がデジタル技術を習得するために利用されている。今後も、多くの人が職に就く準備のために役立ってくれるものであり、新たな経済的機会を見つけるためにも重要な役割を果たすものである。

### 3. マイクロソフトのグローバルスキルイニシアチブ

2020 年、マイクロソフトは、専門技術者の IT・デジタル技術の向上のために「グローバルスキルイニシアチブ」(Global Skills Initiative) を開始した。コロナにより低所得、女性、疎外階層などの失業で大きな打撃を受けた人々が、デジタル技術を使って、より簡単にアクセスできるような社会復帰プログラムを支援することにしたものである。

マイクロソフトは、「誰もが生涯教育を受けることができるような学習システムの構築」というビジョンに基づいて、今年まで全世界 2500 万人を対象に、このプログラムを進めている。人工知能を含むデータとデジタル技術を基にした新たな職務の遂行に必要なスキルを学ぶことができるようにする方針だ。これは LinkedIn の (LinkedIn)、ギトトウハブ (GitHub) など、マイクロソフトが保有している多様な資源と新しいリソースを結合して、合計 3 つの領域に基づいて行われる。

まず、マイクロソフトは LinkedIn のエコノミックグラフで算出した職業とスキルデータを活用して、職業に必要なスキル、求職者が保有している技術などを個人や企業に提供する。需要が多いスキル、新たに浮上する職種、グローバル採用率などを把握することができる。また、データを介して得られた理解に基づいて、LinkedIn のユーザーが、より良い機会を得られるように支援する。

これによりマイクロソフトは、就業者が多く、過去 4 年間安定した成長を見せた 10 の職業を抽出した。オンラインで関連技術習得が可能なソフトウェア開発者、プロジェクトマネージャ、デジタルマーケティングの専門家などが、成長の可能性が高い職業である。

これらの求職者を支援するためのプログラムとして、職務に合った LinkedIn のランニング (LinkedIn Learning) コースを無料で、2021 年 3 月末まで支援する。基礎的なデジタルリ

テラシーから、技術職務に必要な製品ベースの高度なスキル課程まで広範囲に提供される。

マイクロソフトラーン (Microsoft Learn) では、職務遂行をサポートする深層的な技術学習コンテンツを利用することができる。また、開発者を希望する求職者は、ギトトゥハブラーニングラボ (GitHub Learning Lab) を介して、個人ギトトストアで現実的なプロジェクトを完了することにより、新たに学んだスキルを試みることができる。

### 第3章「偉大なリセット」を控えた資本主義、基本所得制度でボランティアサポートが容易になる

最近、米国内で拡散している基本所得の議論に、億万長者でツイッター (Twitter) の CEO であるジェクトオシが加勢した。ジェクトオシが基本所得制度を推進する米国自治体長協議機構に 300 万ドルを寄付したのである。自治体長協議機構は、既存の社会保障制度を補助する方式の基本所得制度を構想中で、まず試験的プログラムを運営する計画である。具体的な支給対象や金額などは確定していないが、LA とアトランタ、ミシシッピ州ジャクソン、そしてニュージャージー州ニューアークなどの住民 700 万人が、基本所得試験プログラムの恩恵を受けたものとみなす。米国から逆移民で韓国に戻ってきた人たちも、LA に戻ると、基本所得を受けて、自分がしたいことをしながら余生を過ごすことができるようになる。ある男がサンフランシスコの街で、アンドリューが主張した基本所得の「自由配当」である 1,000 ドル紙幣を示す。

基本所得プログラムは、多くの人々に直接現金を支払うために設計されたもので、今年初めまでは、ワシントン DC、ポリシーワーク、ウエストコーストの未来学者だけが話していた領域であった。しかし、コロナの持続と世界的な景気低迷の中で、基本所得に関連した政策が前例のない勢いを得ている。

去る 6 月、全国から集まった 11 人の民主党市場連合は、州および連邦レベルで、基本所得の試験的プログラムに投資する関連政策のためのロビー活動を計画する「所得保障のための市場推進団」の発足を発表した。

2019 年にファイナンシャルタイムズ (Financial Times) が資本主義の改革キャンペーンを打って出て注目を浴びた。「資本主義、リセットのための時間」という見出しで新聞の 1 面を飾った。株主利益の最大化を追求していた資本主義から脱して、顧客、従業員などへの社会的責任を果たす目的 (Purpose) のためにも奉仕すべきであることを強調した。そして 2020 年の初めに、世界経済フォーラムが「偉大なリセット」 (Great Reset) というアジェンダを掲げて、動きを本格化している。このアジェンダは、コロナ と伝染病による危機を迎えて、共存と共生を心配している人類にとってその重要性がさらに強調される状況である。

#### ○コロナ前と後の、全く別の世界を準備してください

資本主義世界が進むべき道について新たに模索をしていた中で、パンデミックまで重なって人類はかつてない危機に直面している。クラスシュワブ (Klaus Schwab) 世界経済フォーラム会長は、そのような状況でも、私たちが力を合わせて迅速に行動するなら、この危機を克服し、より良い世界に進むことができると言う。「まさに偉大なリセットを通じてだ。同



じことを繰り返しているだけでは、他の結果を期待することができないということは、よく知られている真理だ。全世界が今までとは全く異なる方法で変貌しなければならない。」

私たちは、コロナで社会が急激に揺れる姿を目撃した。すでに数十万人の死者が出た伝染病の大流行は、最近史上最悪の公衆衛生の危機の一つだ。死傷者は、世界の多くの地域に散在しており、今も患者が継続して発生しているところだ。比較的防疫システムが整っていち早く対応した韓国とは異なり、そうでないところでは、膨大な人命被害が発生している。また、時間が経つにつれ、医療システムや人材などの不足で多くの困難が続く状況にある。

それだけではない。コロナウイルスの感染拡大で急激な景気後退が始まり、1930年代以来最悪の不況に直面する危機に遭遇している。伝染病の流行はまだ進行中であり、人類の健康はもちろん、経済成長、公的債務、雇用および人間福祉など、世界中の企業と各国の経済にも長期的に深刻な影響を及ぼしている。現在、国家別に防疫と政策対応をしているが、この危機は、簡単に鎮静することはないようだ。このような状況では、国家・社会ごとに景気回復の見通しとシナリオも変わってくる。

世界的にみると政府の負債は、すでに最高レベルに達しており、多くの国で失業が急増している。米国の場合、労働者の4人に1人が失業手当を申請した状態だ。国際通貨基金（IMF、International Monetary Fund）は、2020年の世界経済成長率をマイナス3%に見通したが、6月にマイナス4.9パーセントという下向見通しを発表した。

それでも危機の解決策はある。教育、国家政策、ビジネス、社会的契約と労働条件に至るまで、各界各層が、すべての分野での改造を目指し、連携して迅速に行動することである。企業、個人、国家がすべてかみ合っていく状態になることであって、単独生存は無意味だけでなく不可能なものだからである。また、一国だけの力で解決されることでもない。世界のすべての国が参加しなければならない、石油とガスから技術部門に至るまで、すべての産業分野が変わらなければならない。要するに資本主義の「偉大なりセット」が必要である。

## 結 論

激変期にはいつも、最初に国民、市民から信頼されるNGOが出た。世界を変えるためにNGOは作られた。女性参政権がなかったときにも、女性の投票権のための各種NGO団体が作られた。ベトナム戦争時にも数多くの母親と反戦運動をしていたボブ・ディランなどのさまざまなNGOが動きを起こし、ボブ・ディランは2017年に彼の哲学的で詩的な歌詞でノーベル文学賞を受けた。気候変動を解決するというNGOが雨後の筍のように起きたが、まだ解決を見失っている。コロナは古くから未来学者たちから予測され予告された伝染病であった。コロナが発症した理由は、気候変動、環境汚染、都心の人口集中、過度の肉類消費量などである。このようなものを解決しないと、コロナ、モラローナ、サラローナなど継続的に変形したパンデミックが訪れる。

これらの激変期にNGOは、新しい社会のための様々なスローガン、モットー、政策提案を持って世界を変えるプログラムを作成しなければならない。韓国ボランティア協会も、コロナにより社会的距離を置かなければならないという、人間が人間を恐れなければならない状況を打開するための新たなボランティアプログラムを開発しなければならない。パンデミッ

ク時代に合った無人、人工知能、ドローン、自律自動車などの今後の新技術に適応する学生や保護者、あるいは市民社会に適したボランティアプログラムも開発しなければならない。

特に 10 年早く迫ってきた基本所得時代には、紛争や所得の極端な組み分けなどをなくし、国民が共に幸せになって、お互いを社会構成員として尊重するボランティアプログラムを新たに作る必要がある。



# 第 11 回東アジア市民社会フォーラム

## ーポストパンデミック時代、市民社会組織の役割と責務ー

### 報告書

---

2021 年 3 月発行

発行 公益財団法人 公益法人協会  
〒113-0021 東京都文京区本駒込 2-27-15  
TEL: 03-3945-1017 FAX: 03-3945-1267  
URL: <http://www.kohokyo.or.jp/>

©2021

印刷 株式会社美巧社

---